

国立大学入試改善調査研究報告書  
関係資料

昭和 52 年 3 月

国立大学協会  
入試改善調査委員会

## 資 料

1. 国立学校設置法及び国立養護教諭養成所設置法の一部を改正する法律（抜すい）	207
2. 国立学校設置法規則の1部を改正する省令（抜すい）	207
3. 大学入試センターの機構（昭和52年度）	211
4. 昭和52年度大学入試センター予算	212
5. 「国立大学入試改善調査研究報告書（昭和50年3月）」についてのアンケート（照会）	213
6. 国立大学共通第一次試験について（報告）	216
7. 国立大学共通第一次試験構想説明会の開催について（依頼）	218
8. 国立大学共通第一次試験実施に関する意見の学内集約について（依頼）	220
9. 各大学における第二次試験のあり方等に関する調査について（依頼）	222
10. 公立大学の国立大学共通第一次試験成績資料の提供方依頼について（公立大学協会）	232
11. 各大学における第二次試験のあり方等に関する検討について（通知）	233
12. 国立大学共通第一次試験に関するアンケート調査（依頼）	235
13. 共通第一次試験実施に係る受験者収容可能数調査について（依頼）	237
14. 昭和51年度国立大学共通第一次試験の実地研究についてのお願い	239
15. 受験申込書	241
16. 受験申込者名簿	242
17. 受 験 票	243
18. 受験者の心得	244
19. 監督者要領	247
20. 試験調査表	252
21. 実地研究実施についての注意事項	253
22. 受験者に対するアンケート調査票	259
23. 試験実施大学報告書作成について（依頼）	260
24. 大学入学者選抜方法の改善について（大学入試改善会議）	263
25. 国立大学入学者選抜期日の一元化について	270
26. 全国共通第一次試験に関するまとめ	272
27. 国立大学入試期一本化に関する参考資料	278
28. 大学進学状況	286
29. 高等教育の規模等の推移	287
30. 高等教育の計画的整備について（高等教育懇談会，昭和51年3月）	288

31. 昭和52年度大学入学者選抜実施要項について（通知）	303
32. 進学適性検査・能研テストの実施経過について	323
33. 高等学校学習指導要領抜粋	326
34. 米国、英国における大学入学者選抜方式と統一テスト実施機関の概要について	345
35. 科目別度数分布図	354
36. 科目別正答率一覧	369
37. 解答別件数表	370
38. 選択科目状況表	371
39. 昭和50年度国立大学共通第一次試験（実地研究）と昭和51年度大学入学試験との成績の 相関図	378
40. 米国におけるテスト結果の一覧	383
41. 米国大学テスト協会（ACT）の共通入試テストの申込用紙	387

---

## 1. 国立学校設置法及び国立養護教諭養成所設置法の一部を改正する法律（抜すい）

（国立学校設置法の一部改正）（52. 5. 2）

第1条 国立学校設置法（昭和24年法律第150号）の一部を次のように改正する。

第3章の3の次に次の1章を加える。

### 第3章の4 大学入試センター

（大学入試センター）

第9条の5 国立大学の入学者の選抜に関し、共通第一次学力試験の問題の作成及び採点その他一括して処理することが適当な業務を行うとともに、大学の入学者の選抜方法の改善に関する調査研究を行う機関として、大学入試センターを置く。

2 大学入試センターは、国立大学以外の大学の要請に応じて、当該大学の入学者の選抜に関する業務の実施に協力することができる。

3 大学入試センターは、東京都に置く。

4 第1項の共通第一次学力試験に関し必要な事項は、文部省令で定める。

### 附 則

（施行期日）

1 この法律は、公布の日から施行する。

（教育公務員特例法の一部改正）

4 教育公務員特例法（昭和24年法律第1号）の一部を次のように改正する。

第22条中「第3章の3に規定する機関の長及び」を「第3章の3及び第3章の4に規定する機関の長（同法第9条の4第2項に規定する研究所の長を含む。）並びに」に、「もっぱら」を「専ら」に改める。

## 2. 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令及び大学入試センター組織運営規則（抜すい）

国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令（52. 5. 2）

### 第5章 大学入試センター

（大学入試センター）

第47条 大学入試センターに置かれる職の種類並びに大学入試センターの組織及び運営の細目については、大学入試センター組織運営規則（昭和52年文部省令第20号）の定めるところによる。

(共通第一次学力試験)

第48条 国立学校設置法第9条の5第1項の共通第一次学力試験は、各国立大学が大学入試センターと協力して、国立大学に入学を志願する者の高等学校の段階における一般的かつ基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的として、同一の期日に同一の試験問題により、共同して実施するものとする。

大学入試センター組織運営規則(省令20号52. 5. 2)

(職員の種類)

第1条 大学入試センター(以下「センター」という。)に、次の職員を置く。

- 一 所長
- 二 教授
- 三 助教授
- 四 事務職員
- 五 技術職員

- 2 所長は、センターの業務を掌理する。
- 3 教授は、研究に従事する。
- 4 助教授は、教授の職務を助ける。
- 5 事務職員は、庶務、会計等の事務に従事する。
- 6 技術職員は、技術に関する職務に従事する。

(内部組織)

第2条 センターに、次の二部を置く。

- 一 管理・事業部
- 二 研究部

(管理・事業部)

第3条 管理・事業部においては、庶務、会計及び施設等並びに共通第一次学力試験の実施等に関する事務を処理する。

- 2 管理・事業部に、その所掌事務を分掌させるため、文部大臣が別に定めるところにより、課を置く。
- 3 管理・事業部及び課に、それぞれ部長及び課長を置き、事務職員又は技術職員をもって充てる。

- 4 部長は、所長の命を受け、部の事務を掌理する。
- 5 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理する。

(研究部)

第4条 研究部においては、大学の入学者の選抜方法の改善に関する調査研究を行う。

- 2 研究部に、次の三研究部を置く。
  - 一 情報処理研究部門
  - 二 追跡研究部門
  - 三 評価研究部門
- 3 研究部に部長を置き、教授をもって充てる。
- 4 部長は、所長の命を受け、部の事務を掌理する。

(評議員)

第5条 センターに評議員15人以内を置く。

- 2 評議員は、センターの事業計画その他の管理運営に関する重要事項について、所長に助言する。
- 3 評議員は、国立大学の学長その他の学識経験のある者のうちから、所長の推薦を受けて、文部大臣が任命する。
- 4 評議員は、非常勤とする。
- 5 評議員の任期その他評議員に関し必要な事項は、別に文部大臣が定める。

(運営協議員)

第6条 センターに運営協議員21人以内を置く。

- 2 運営協議員は、共通第一次学力試験の実施計画に関する事項その他のセンターの運営に関する事項で所長が必要と認めるものについて、所長の諮問に応じる。
- 3 運営協議員は、センターの教授及び助教授並びに国立大学の学長及び教員その他の学識経験のある者のうちから、所長の推薦を受けて、文部大臣が任命する。
- 4 運営協議員は、非常勤とする。
- 5 運営協議員の任期その他運営協議員に関し必要な事項は、別に文部大臣が定める。

(専門委員)

第7条 センターに、別に定める定数の範囲内で、専門委員を置く。

- 2 専門委員は、所長の定めるところにより、共通第一次学力試験に関し、実施方法の検討、試験問題の作成その他の専門的事項を処理する。

- 3 専門委員は、センターの教授及び助教授並びに国立大学の教員のうちから、所長が任命する。
- 4 専門委員は、非常勤とする。
- 5 専門委員の任期その他専門委員に関し必要な事項は、別に所長が定める。

#### 附 則

この省令は、公布の日から施行する。

教育公務員特例法施行令第3条の2の規定に基づく大学入試センターの所長等の選考の手続に関する省令（省令22号52. 5. 2）

（趣旨）

第1条 大学入試センター（以下「センター」という。）の長及びその職員のうち専ら研究に従事する者に関する教育公務員特例法施行令（昭和24年政令第6号）第3条の2において準用する教育公務員特例法（昭和24年法律第1号）の第4条第1項の選考の手続については、この省令の定めるところによる。

（所長の選考の手続）

第2条 センターの所長の採用の選考は、大学入試センター組織運営規則（昭和52年文部省令第20号。以下「規則」という。）第5条第1項に規定する評議員で構成する会議が推薦（当該推薦に当たっては、規則第6条第1項に規定する運営協議員（以下「運営協議員」という。）で構成する会議の意見を聴くものとする。）をした者について行うものとする。

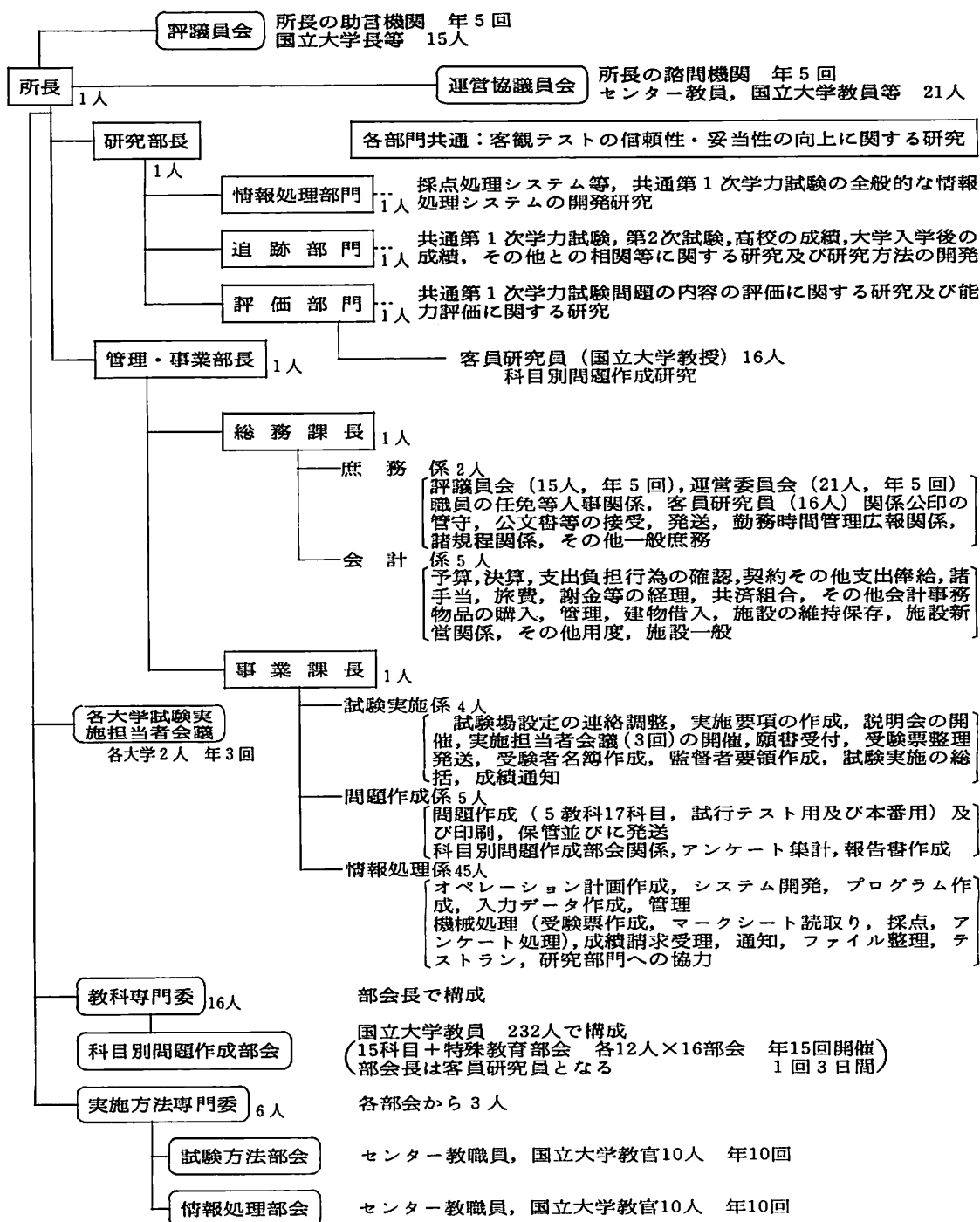
（教授及び助教授の選考の手続）

第3条 センターの教授及び助教授の採用及び昇任の選考は、センターの所長が推薦（当該推薦に当たっては、運営協議員で構成する会議の議を経るものとする。）をした者について行うものとする。

#### 附 則

この省令は、公布の日から施行する。

3. 大学入試センターの機構 (昭和52年度)





4. 昭和52年度大学入試センター予算

区 分	金 額	備 考
1. 管理運営等経費	千円 470,021	1. 定員 28人 (教官4人, その他24人) 95,125 2. 電子計算機等経費 277,957 (電子計算機, マークリーダー (2台, 米国製) の導入) 3. その他 96,939 (運営事務費, 客員研究員経費, 設備費, 建物借上経費)
2. 試行テストの実施	385,868	(8万人対象, 国立80大学実施) 1. 試験問題, 解答用紙, 実施要項等の印刷, 輸送経費 171,397 2. 試験実施経費 214,471 (委員会, 試験監督, 一斉連絡経費, 試験場経費等)
3. 本試験の実施準備	261,030	1. 試験問題印刷 256,335 2. 広報 4,695
4. 共通的事項	176,122	1. 試験問題作成 137,808 2. その他 38,314 (説明会, 問題警備, 報告書等)
計	1,293,041	

5. 「国立大学入試改善調査研究報告書」についてのアンケート（照会）

国入試改第1号

昭和51年4月5日

各 国 立 大 学 長 殿

国立大学協会

入試改善調査委員会

委員長 岡 本 道 雄

国立大学協会では、昭和48年以来、国立大学共通第一次試験についての調査検討を重ねてまいりましたが、昭和48、49、50年度の3か年度において、入試改善調査委員会および附属各専門委員会を設置して鋭意調査研究を行ってまいりました。その結果を、昨年おとどけいたしました「国立大学入試改善調査研究報告書」(昭和50年3月)と今回おとどけする「国立大学入試改善調査研究報告書」(昭和51年3月)として、とりまとめました。特に本年の報告書では、昨年報告書の中で問題とされていたいくつかの点を研究し、その一部を解決してまいりました。

しかし、この報告書で述べているとおり、将来、これを実施するとした場合においては、現在でもなおかなり検討すべき問題が残されております。そのため、昭和51年度においても従来の委員会を存置してさらに調査研究を継続することにしており、あわせて全国立大学の意見を集約し、国立大学協会としての意見をとりまとめることとしております。

このため本年もさらに報告書(昭和51年3月)についてのアンケート調査をお願いいたすこととなりました。なお、報告書およびアンケートに関する説明会を5月中旬頃に開催することとしております。

つきましては、報告書をご参照のうえ、貴学のご意見をご回答いただきたく、きたる6月10日(木)までにご回答(30部)をご送付くださるようお願い申し上げます。

### 国立大学入試改善調査研究報告書に関するアンケートについて（依頼）

「国立大学入試改善調査研究報告書」(昭和50年3月)においてまとめました結果に関しては、すでに昨年9月30日にご提出いただいたアンケートにおいて各国立大学のご意見をご報告いただきました。その結果、現在研究中の国立大学共通第一次試験は大学側からみた場合従来より適切な入学者選抜が可能であり、また、受験生側からみた場合も「一発勝負」の従来の欠点をより緩和することができるという意見が、全国立大学の65～70%であるとしてとりまとめられました。

さらに、そのアンケートでは、共通第一次試験の入学者選抜にあたっての利用方法、各大学で独自に行われる第二次試験のあり方、第一次・第二次試験の成績の入学者選抜に当たっての組み合わせ方、出題の内容、共通第一次試験の時期などいくつかの点についてもご意見をいただきました。

また、一方高等学校その他各方面からも多くの意見を聞きつつ検討を続けてまいりましたが、これらの結果は、今回おとどけする「国立大学入試改善調査研究報告書」(昭和51年3月)としてとりまとめました。

さらにまた国立大学協会が、昭和49年・50年度にわたって実施した実地研究の結果については、特に出題の内容などについて、高等学校側からも相当の評価を得ており、共通第一次試験の実施が高等学校の教育の正常化および国立大学の入学試験の改善に資するものと期待されております。

もちろん、未解決の問題点もいくつか残されており、それらの解決についてもさらに検討を続ける予定であります。今までの検討結果および今後の方針に関し、アンケート調査をさせて頂きたいと思っておりますので、お手数ながら昭和50年3月の報告書と昭和51年3月の報告書の内容を併せて検討のうえご回答いただきたくお願い申し上げます。

#### 質 問 調 査 項 目

大学名 ( )

できるだけ貴大学としての一本化したご意見をまとめていただければ幸いです。項目によっては学部ごとのご意見でも結構です。

問1) 入試センターの管理運営のあり方については、昭和50年3月報告書(P. 20)および昭和51年3月報告書(P. 21)に述べられてありますが、さらにお気づきの点があればご意見をお示し

ください。

問2) 実地時期の再検討の結果について下記の欄にご回答ください。(51年3月報告書P. 23参照)

	可	否	理	由
A 案				
B 案				
C 案				
D 案				
E 案				
F 案				
G 案				

「可否」欄は { 1. 実施可能。  
2. 無理はあろうが、何とか実施可能と見込まれる。  
3. 実施可能とは思われない。

に従って数字でお答えください。

上記以外のご意見がありましたらお示してください。

問3) 昭和51年3月報告書に記した「第二次試験のガイドラインについて」(P. 26)に関連してご意見があればお示してください。

問4) 共通第一次試験の実地研究について出題数が多過ぎはしないかとの意見もあります。51年3月報告書をご検討のうえ、問題の難易のほか時間に対する配分量の関係などについてご意見があればお聞かせください。

問5) 共通第一次試験実施にあたっては、入試センターの組織・機構、各大学における入試事務組織の整備・充実、居住地受験の具体的処理、事故処理問題、身体障害者問題等今後具体的に調査研究すべきことが残されておりますが、これらの問題が適切に処理できた場合、共通第一次試験方式は大学入試問題の改善に資すると考えられますが、ご意見をお示してください。

なお、その他検討すべきお気付のことがあればお示してください。

6. 国立大学共通第一次試験について（報告）

国入改第65号

昭和51年8月20日

各国立大学長 殿

国立大学協会

入試改善調査委員会

委員長 岡本道雄

去る6月開催の第58回総会において、各位のご賛同を得て、「国立大学共通第一次試験に関する意見」が承認され、当協会としては、引続いて国立大学共通第一次試験を実施するについての種々の問題を文部省とも協議し、検討することになりました。

これらの種々の問題のうち、国立大学共通第一次試験に関する昭和52年度概算要求の内容については、第58回総会后、文部省と数回にわたり連絡協議会を開催し検討しましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

追って詳細は来る11月開催の第59回総会の際にご報告いたします。

記

1 国立大学協会と文部省との連絡協議会

(1) 日時 第1回6月25日、第2回7月8日、第3回7月29日

(2) 参会者

(国大協側) 林会長、岡本入試改善調査委員長、相磯、加藤両副委員長、若槻第2、飯島第6  
両常置委員長、湊国立大学入試改善調査施設長

(文部省側) 木田事務次官、井内官房長、佐野大学局長、吉田審議官、阿部大学課長

(3) 連絡協議内容

(ア) 国立大学協会の検討結果及び総会の意見について

(イ) 今後の連絡協議日程について

(ウ) 昭和52年度概算要求の内容について

(エ) その他

## 2 国立大学共通第一次試験に係る昭和52年度概算要求の概要

### 別紙の通り

なお、文部省との連絡協議の内容及び概算要求の内容については、去る7月26日及び8月19日開催の理事会に報告し、了承を得ました。またその他の検討課題については、入試改善調査委員会において、それぞれ検討中でありますので申添えます。

### 別紙

#### 国立大学共通第一次試験に係る昭和52年度概算要求の概要

##### 1 大学入試センター（仮称）の設置

- (1) 性格：国立大学共同利用機関
- (2) 機構・所要人員：管理部（2課）、事業部（2課）、研究部（5部門）の3部制、128人（うち教官23人）を52～54年度の3カ年計画で完成
- (3) 施設：当面、東京教育大学の施設を利用（東京教育大学農学部跡地の一部に新営を予定）
- (4) 設備：大型電算機、光学マークシート読取機（外国製機種）、その他事業用設備を導入整備
- (5) 昭和52年度の事業
  - (ア) 試行テストの実施、高校3年生等10万人を対象とし、全国立大学を試験場にして実施
  - (イ) 本試験の実施準備、試験問題の作成、印刷、保管等
- (6) 昭和52年度の概算要求額 約31億円

（内訳）

  - ① 大学入試センター（仮称）の管理運営及び事業の実施に要する経費 23億円
  - ② ①に係る52年度国庫債務負担行為53年度歳出化額 4億円
  - ③ 施設整備費 4億円

##### 2 各大学の実施体制の整備

入学主幹等の配置計画に基づき、所要人員を52～54年度の3カ年計画で整備

7. 国立大学共通第一次試験構想説明会の開催について（依頼）

国入改第77号の2

昭和51年10月1日

各都道府県教育委員会

教 育 長 殿

国立大学協会

入試改善調査委員会

委員長 岡 本 道 雄

国立大学協会においては、国立大学の入試改善を目的として昭和48年以来調査研究を続けてまいりましたが、本年6月の総会において「共通第一次試験は国立大学の入試改善に資する」との意見が出されました。しかしなお、残された種々の問題について鋭意検討中であります。

このたび、下記により国立大学共通第一次試験構想説明会を開催し、別添資料をもとに説明を行いますとともに、高等学校関係者のご意見を伺いたいと存じます。

ついては趣旨ご了承のうえ、貴管内より関係者の参会についてお取計らいくださるようご依頼いたします。

なお、資料は貴管内公立高等学校相当分をお送りいたしますので、配布方重ねてお願い申し上げます。

追って、私立高等学校関係については都道府県知事あてご依頼いたしましたので念の為申し添えます。

国立大学共通第一次試験構想説明会日程及び説明者

地区	日時	会場	説明者
九州	10月23日(土) 14時～17時	九州大学工学部本館大講義室 福岡市東区箱崎6-10-1	入試改善調査委員会関係委員 岡本 道雄 (京都大学長) 具島兼三郎 (長崎大学長) 湊 秀雄 (東京大学教授)
北海道	10月29日(金) 9時～12時	石狩会館 札幌市中央区北4条西5丁目1	加藤陸奥雄 (東北大学長) 松本 秋雄 (北見工業大学長) 湊 秀雄 (東京大学教授)
中部・北陸	11月6日(土) 14時～17時	名古屋大学豊田講堂 名古屋市千種区不老町	岡本 道雄 (京都大学長) 湊 秀雄 (東京大学教授) 丸井 文男 (名古屋大学教授)
東北	11月9日(火) 9時～12時	宮城県労働福祉会館 仙台市上杉1-5-13	加藤陸奥雄 (東北大学長) 湊 秀雄 (東京大学教授) 帷子 康雄 (弘前大学教授)
関東甲信越	11月11日(木) 14時～17時	オリンピック記念青少年総合センター 渋谷区代々木神園町	加藤陸奥雄 (東北大学長) 湊 秀雄 (東京大学教授) 清水留三郎 (東京大学教授)
中国・四国	11月12日(金) 14時～17時	広島大学教育学部大講義室 広島市東千田町1-1-89	飯島 宗一 (広島大学長) 湊 秀雄 (東京大学教授) 上垣内孝彦 (広島大学教授)
近畿	11月13日(土) 14時～17時	大阪大学講堂 大阪市北区中之島	若槻 哲雄 (大阪大学長) 三上 美樹 (三重大学長) 湊 秀雄 (東京大学教授)

(注) 収容数に余裕があれば、報道関係者の傍聴は差支えない。



8. 国立大学共通第一次試験実施に関する意見の学内集約について（依頼）

国入改第76号

昭和51年10月1日

各 国 立 大 学 長 殿

国立大学協会

入試改善調査委員会

委員長 岡 本 道 雄

このことについては、さる6月開催の第58回総会において、「大学入試改善に関する意見」の御賛同を得ましたが、その際に、国立大学共通第一次試験を実施することについては、種々重要な問題が残されているので、これらの問題について今後文部省とも協議し、慎重に検討することとなりました。

さらに、これらの検討の経過を各大学に御報告申し上げ、各大学におかれては、共通第一次試験実施に関する学内意見を集約し、きたる11月開催の第59回総会において、大学としての意向を表明され、これにより共通第一次試験実施に関する当協会の方針を決定することが了承されました。

残された種々の問題については、6月総会后、入試改善調査委員会及び実施方法等調査専門委員会等を開催し、検討を行うとともに、昭和52年度概算要求に係わる重要な問題については、当協会関係者と文部省幹部とが直接に連絡協議し、事務的、技術的問題については、国立大学入試改善調査施設が文部省と具体的協議を行い、いずれも、上記の委員会ならびに理事会に、その内容を報告し、御承認をいただけてきました。

これらの問題の検討は、アンケート調査の回答に付された意見及び要望事項の主なもの、国立大学入試事務担当者の意見、高等学校側の意見、私立大学の意見等を勘案しながら、「国立大学入試改善調査研究報告書」(昭49～51)の趣旨に即し、具体的に行いましたが、その結果を別添のとおり「国立大学入試改善調査研究における残された問題の検討について」にとりまとめましたので、他の参考資料とともに御報告申し上げます。

すでに「国立大学共通第一次試験は昭和54年春から実施が決定された」かのような報道がありますが、もとより、当協会は国立大学の入試改善の見地から、諸問題を十分に検討し、共通第一次試験の実施に関する方針を決定するものであります。しかしながら、高等学校側の関係者は言うに及ばず、社会全般からも、共通第一次試験の実施に関する11月総会の方針決定が、我が国の教育の全般の正常化に係わる重要な問題として、注目されているのも事実であります。

これらの社会情勢の中にあつて、当協会としては、きたる11月総会において、共通第一次試験の実施に関する方針を決定する社会的責務を負わされている形となっておりますので、別添の資料を参考にして、学内において十分に協議をつくされ、11月総会における方針決定にあたり、大学としての御意向を表明されるよう、重ねてお願い申し上げます。

なお、文部省は、当協会での残された問題の検討ならびに連絡協議等の結果をふまえて、国立大学共通第一次試験に関する昭和52年度概算要求を大蔵省に提出いたしました。

この概算要求の概要及び当協会と文部省との連絡協議の概要につきましては、すでに8月20日付け国入改第65号「国立大学共通第一次試験について」で御報告いたしました。

#### 別添資料

- 1 国立大学入試改善調査研究における残された問題の検討について
- 2 国立大学共通第一次試験に係る昭和52年度概算要求の概要
- 3 国立大学共通第一次試験に関する調査研究等の経緯
- 4 国立大学共通第一次試験の概要について

9. 各大学における第二次試験のあり方等に関する調査について（依頼）

国入改第93号

昭和51年12月3日

各 国 立 大 学 長 殿

国立大学協会

入試改善調査委員会

委員長 岡 本 道 雄

すでに御存知のように、当協会第59回総会において「国立大学共通第一次試験実施による大学入学者選抜方法の改善は、国立大学共通第一次試験に係る所要の諸施策が行われ、残された諸問題が解決される見通しを得るに至ったので、入学者選抜期日の一元化とともに、昭和54年度大学入学者選抜から実施可能である」との判断に達しました。

この意見を承認するにあたって、この大学入学者選抜方法の改善の成否は、共通第一次試験の趣旨と方法に対応しつつ、各大学がその学部・学科の特性に応じて自主的に行う第二次試験のあり方にかかっているとの観点から、第二次試験のあり方をめぐり熱心な協議が行われました。その結果、第二次試験のあり方と共通第一次試験の成績の利用については、各大学がその学部・学科等の特性に応じて早急に自主的に決定すべきものであるが、全国的に同系同種の学部・学科等の間で、それぞれ特色を有しているとはいえ、いちじるしく差異を生ずるような事態は好ましくないとの意見が多く、各大学における第二次試験のあり方等の検討の過程、又は一応の結果等を当委員会が連絡調査し、各大学にその結果を提供して、検討の参考資料にするとともに各大学相互間の意見交換を促進することになりました。

つきましては、これらのことから、各大学における第二次試験のあり方等の検討状況について、別紙の「調査実施要項」により、調査票を作成し、昭和52年3月31日までに回答くださるようお願いいたします。

なお、第二次試験の実施教科・科目等及びその実施方法等は、各大学・学部が早急に自主的に決定すべきものでありますが、その検討にあたっては、

- ① 出題にあたっては共通第一次試験に課せられていない科目に限ることが望ましい。  
同一科目の出題を行う場合には記述力、考察力、表現力等のテストを論文形式で行うなどの配慮が必要である。
- ② 入試全般の観点から、大学側と受験生側がともに負担増にならないよう、できるだけ科目数、出題量を少なくすることが望ましい。
- ③ 可能であれば面接等とあわせて口頭による試問をも加える。又、特定大学では面接等を行い、第二次試験は実技検査のみで十分な場合も考えられる。
- ④ 共通第一次試験の成績と第二次試験（必要に応じて行われる実技検査を含む。）の成績とを適正に総合して、学力検査の成績とし、必要に応じて行われる面接、小論文の結果及び調査書等とともに判定の資料とする。
- ⑤ 共通第一次試験による予備選抜は原則として行わない。入学志願者が極度に多く、そのために十分綿密な第二次試験が行い得ない大学において、止むを得ず予備選抜を行う場合でも、入学定員の少くとも3倍程度の数は第二次試験を受験できるよう配慮する。

等を示した、国立大学入試改善調査研究報告書の「第二次試験のガイドライン」を参照のうえ、その趣旨に十分留意されるようお願いいたします。

おって、文部省との連絡協議の結果によりますと、文部省は上記の総会の決定に基づき、高等学校関係者の要望等を勘案して、昭和54年度大学入学者選抜から国立大学における共通第一次試験実施による入学者選抜方法の改善の実現に関し、「大学入学者選抜方法の改善に関する会議（文部省）」に諮り、

- ① 昭和52年度政府予算案決定後（昭和52年1月頃）に国立大学における共通第一次試験の実施を予告することを予定
- ② 昭和52年度予算成立後（昭和52年4月頃）に昭和54年度国立大学における入学者選抜の実施要項を公表する予定
- ③ 昭和52年6～7月末に、各大学が昭和54年度大学入学者選抜における第二次試験の実施教科・科目等及びその実施方法、面接、小論文、実技検査等の有無とその内容、予備選抜の有無とその方法等を公表することを期待

などの予告等を行う意向を持っております。

〔参考〕 第二次試験の科目数に関し、大学入試改善会議では、最低必要な1～2科目に限るのが望ましいという意見が大勢を占め、全国高校長協会、全国普通科高校長協会等は1～2科目に限るべきだと強く要望している。なお、3教科3科目が適当であるとの個人的意見が国立大学教官の中に多いといわれている。他面、一般的な意見として、1科目にしぼるべきだと強い主張がある。

## 各大学における第二次試験のあり方等に関する調査実施要項

国立大学協会

入試改善調査委員会

### 1 調査の趣旨

各大学・学部における第二次試験のあり方及び共通第一次試験の利用方法について、検討の過程及び一応の結果を調査し、同系同種の大学・学部ごとにとりまとめ、その結果を大学名を省略して、各大学に配布し、参考資料とするとともに、各大学間の意見交換を促進し、各大学における第二次試験のあり方の検討を援助しようとするものである。

なお、必要があれば本調査を再度実施する。

### 2 調査票の提出期限

昭和52年3月31日（必着）

調査事項によっては、検討中で記入できない場合はその事項欄に「検討中」と記入する。

### 3 調査事項

- (1) 学力検査の教科・科目等について
- (2) 学力検査以外の選抜方法について
- (3) 代替科目について
- (4) 共通第一次試験の成績の利用法について
- (5) 合格者決定にあたっての第2志望等の取扱いについて
- (6) 予備選抜について

### 4 調査票の処理

昭和52年4月下旬までに、同系同種の大学・学部ごとに集計整理し、各大学に配布する。

## 5 調査票の提出先及び問合せ先

国立大学入試改善調査施設

〒153 東京都目黒区駒場 2-19-1

TEL 東京03-465-3948～9

### 調査票記入に当たっての共通の留意事項

- (1) 各表の記入は、特に指定のないかぎり学部を単位として記入して下さい。なお、学部以外の区分により入学者選抜を行った場合で、これを学部単位に直して記入することが困難なときは、当該選抜単位（文類、理類等）を学部準じて取扱って下さい。
- (2) 該当欄に○印を記入する欄において、幾つかの学部が全く同様の状況であった場合は、一括して一欄に記入し、これに該当する学部数を「学部数」欄に記入するとともに、その学部名を「学部」欄に列記して下さい。また同一大学内の全学部が全く同様の状況であった場合には「学部名」欄に学部名に代えて「全学」と記入し、「学部数」の欄には全学部数を記入して下さい。（同一学部内で学科又は課程等により状況が相違した場合には、上記に準じて区分して記入して下さい。）
- (3) 記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加して記入して下さい。

大学

1. 学力検査の教科・科目等について

(1) 昭和52年度入学者選抜において

区分 番号	学部 数	学部 名	国語			社会				数 学				理 科						外 国 語					備 考					
			出題科目			科目 選択数	選 択 科 目				出 題 科 目				科目 選択数	選 択 科 目						選 択 科 目								
			現・ 国	古 I 甲	古 I 乙		倫 社	政 経	日 本 史	世 界 史	地 理 A	地 理 B	数 学 一 般	数 学 I		数 学 II A	数 学 II B	数 学 III	物 理 I	物 理 II	化 学 I	化 学 II	生 物 I	生 物 II		地 学 I	地 学 II	基 礎 理 科	英 語 A	英 語 B
1																														
2																														
3																														
4																														

(2) 共通第一次試験実施時の第二次試験において

区分 番号	学部 数	学部 名	国語			社会				数 学				理 科						外 国 語					備 考					
			出題科目			科目 選択数	選 択 科 目				出 題 科 目				科目 選択数	選 択 科 目						選 択 科 目								
			現・ 国	古 I 甲	古 I 乙		倫 社	政 経	日 本 史	世 界 史	地 理 A	地 理 B	数 学 一 般	数 学 I		数 学 II A	数 学 II B	数 学 III	物 理 I	物 理 II	化 学 I	化 学 II	生 物 I	生 物 II		地 学 I	地 学 II	基 礎 理 科	英 語 A	英 語 B
1																														
3																														
4																														

- (注) 1. 該当科目の欄に○印を記して下さい。 3. 理科の科目選択方法については、備考欄に記入して下さい。  
 2. 「科目選択数」の欄には、何科目選択させるか数を記入して下さい。 (例) [物理 I・II][化学 I・II][ ]…の中から2個選択。

2. 学力検査以外の選抜方法について

(1) 昭和52年度入学者選抜において

区分番号	学部数	学部名	面接		実 技				小 論 文			備 考			
			課さない	課す	課す場合		課さない	課す	課す場合		課さない		課す	課す場合	
					時間	内 容			時間	内 容				時間	字数
1															
2															
3															
4															
5															
6															

(2) 共通第一次試験実施時の第二次試験において

区分番号	学部数	学部名	面接		実 技				小 論 文			備 考			
			課さない	課す	課す場合		課さない	課す	課す場合		課さない		課す	課す場合	
					時間	内 容			時間	内 容				時間	字数
1															
2															
3															
4															
5															
6															

- (注) 1. 「課さない」、「課す」の欄に○印を記して下さい。  
 2. 「課す場合」は、1人当りの所要時間および内容等をできるだけ記入して下さい。





4. 共通第一次試験の成績の利用法について

区分番号	学部数	学部名	学力検査の成績の判定にあたって、共通第一次試験と第二次試験の成績をどのような方法で利用することを検討されておりますか。具体的に記入してください。
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

大学

5. 合格者決定にあたって第2志望等（第2志望・第3志望・第4志望……）の取扱いについて

(1) 昭和52年度の入学者選抜において

区分番号	学部数	学部名	行わない	行 う	行 う 場 合		
					イ、同学部又は 同学群内において	ロ、異なる学部 又は学群等の間で	ハ、そ の 他
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							

大学

(2) 共通第一次試験実施時

区分番号	学部数	学部名	行わない	行 う	行 う 場 合		
					イ、同学部又は 同学群内において	ロ、異なる学部 又は学群等の間で	ハ、そ の 他
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							

- (注) 1. 「行わない」「行う」「行う場合イ、ロ」に○印を記して下さい。  
 2. その他の例があれば具体的に記入して下さい。

6. 予備選抜について

(1) 昭和52年度入学者選抜において

区分番号	学部数	学部名	行わない	行う	行 う 場 合							備 考		
					基 準		方 法			発 表 時 期	発 表 方 法			
					定員の倍率	その他	第一次学力検査	調査書による	第一次学力検査と調査書併用	その他	第2次学力検査までの日数		掲 示	本通人宛知
1														
2														
3														
4														
5														

(2) 共通第一次試験実施時

区分番号	学部数	学部名	行わない	行う	行 う 場 合						備 考		
					基 準		方 法			発 表 時 期		発 表 方 法	
					定員の3倍以上	その他	共通第一次試験の成績による	共通第一次試験と調査書との併用	その他	第二次試験実施までの日数		掲 示	本通人宛知
1													
2													
3													
4													
5													

- (注) 1. 「行わない」、「行う」の欄に○印を記して下さい。  
 2. 行う場合には具体的に記入して下さい。

調査票記入担当者	所 属 名	連絡先電話番号
----------	-------	---------

10. 公立大学の国立大学共通第一次試験成績資料の提供方依頼について

公大協第54号

昭和51年12月7日

国立大学協会

会長 林 健太郎 殿

公立大学協会

会長 森 川 晃 卿

さきに国立大学協会において決定されました国立大学共通第一次試験について、公立大学はその重要性に鑑み、進行状況を見守るとともに、種々検討をつづけているところでありますが、本日の公立大学協会臨時総会で公立大学としても国立大学共通第一次試験の資料を利用したいという方向を協会として決定いたしました。

ついては、昭和54年度の公立大学入学志願者からその資料の提供をお願いいたしたく、申し入れます。なお、この件について文部大臣にも同趣旨の御依頼をいたしましたので申し添えます。

## 11. 各大学における第二次試験のあり方等に関する検討について（通知）

国入改第38号

昭和52年4月26日

各国立大学長 殿

国立大学協会入試改善調査委員会

委員長 岡 本 道 雄

### 各大学における第二次試験のあり方等に関する検討について（通知）

先の第59回総会の決定により、各大学における第二次試験のあり方等の検討経過について連絡調査を行うため、標記に関する調査をお願いしましたところ、調査対象の82大学すべてから回答をいただき、ありがとうございました。早速、提出されました回答を、同系同種の学部等ごとにとりまとめ、若干の集計整理を行いましたので、別添のとおり送付します。

各大学がその学部・学科等の目的、性格、その他の特性に応じて、入学志願者の適性・能力を検査する第二次試験のあり方については、国会における大学入試センターの設置等のための国立学校設置法改正案（昭和52年4月22日可決成立）の審議の過程でも、これに関する関心は非常に高く、又全国高等学校長協会の要望等、各関係方面からの意見も多く、社会的な注目を集めておりますことは、すでに御承知のことと思います。

去る4月13日開催の入試改善調査委員会及び理事会において、これらの社会的な関心を考慮しつつ、標記の調査のとりまとめを検討しましたが、第二次の学力検査の教科・科目の数、予備選抜（二段階選抜）の実施等に関し、若干の問題があるように思われるので、各大学に対して「第二次試験のガイドライン」の趣旨を十分生かして再検討されるよう要請することになりました。

つきましては、共通第一次学力試験の実施による大学入学者選抜方法の改善の成否は、各大学が自主的に決定する第二次試験のあり方にかかっているという観点から、各大学におかれては、「各大学における第二次試験のあり方等に関する調査について」の依頼文（昭和51年12月3日付、国入改第93号…別紙1）を再度参照され、別添の調査結果のとりまとめを参考にされるとともに、「第二次試験のガイドライン」の趣旨に十分留意されて、今後の「第二次試験のあり方」の検討を促進されるよう重ね

てお願いいたします。

特に、各大学が必要に応じて行う第二次の学力検査で課する教科・科目の数は、各大学が自主的に決定する事項ですが、共通第一次学力試験が入学志願者の高等学校における基礎的な学習の達成の程度を評価するため、主として必修科目5教科6～7科目を通算約10時間にわたって課することとしていること及び各大学が行う第二次の学力検査の教科・科目が、主として高等学校の選択科目から課され、共通第一次学力試験の成績と第二次学力検査の成績とを合理的に総合して学力検査の成績とすることなどに十分留意され、入学志願者に対して過重な負担を強制することのないよう、又高等学校教育の正常な発展に障害とならないよう、必要な最少限の数にとどめることに格段の配慮をお願いします。

又、各大学における予備選抜の実施については、多元的な資料によって入学者を判定しようとする今回の改善措置の趣旨に即し、「第二次試験のガイドライン」に示すように予備選抜は原則として実施しないものであること及びその実施は止むを得ざる例外的措置であることならびに入学者選抜期日が一元化されることに十分留意され、大学が自主的に決定する事項ではありますが、安易に予備選抜の実施を決定することのないよう格別の配慮をお願いします。

なお、第二次募集方式については、新たに提起されたものでありますが、その国大協における協議結果<sup>(注)</sup>(「最近における共通第一次学力試験の検討経過について」昭和52年4月26日付、国入改第37号)を参照され、特別の選抜方法の一つとしてその実施についても検討されるようお願いいたします。

おって、国立大学共通第一次学力試験の実施に伴う昭和54年度以降の国立大学入学者選抜方法については、5月末または6月初に、その要項が公表される予定であります。各大学が行う第二次試験の実施教科・科目の内容及びその方法ならびに特別の選抜方法については、7月末までに公表することとなっておりますので念のため申し添えます。

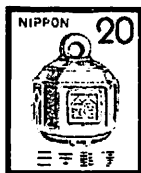
(注) 「最近における共通第一次学力試験に関する検討経過について」は昭和52年4月26日付、国入改第37号で各国立大学長宛送付済 (V-3項参照)

12. 国立大学共通第一次試験に関するアンケート調査（依頼）

共通第一次試験の受験者数を予測するため、全国の高等学校宛下記内容のアンケート調査を行った。

郵便往復はがき

昭和51年11月30日



返信

153-□□

国立大学入試改善  
調査施設行

目黒区駒場二一九一  
東京教育大学農学部構内

各高等学校長殿

国立大学協会・入試改善調査委員会  
委員長 岡本道雄

国立大学共通第一次試験に関するアンケート調査（依頼）

国立大学共通第一次試験の実施計画の資料とするため、別紙のとおりアンケート調査を行ないますので、下記記載要領のとおりご記入願ひ、12月25日までにご回答頂ければ幸いです。

〔記載要領〕 都・道・府・県コード 学校コード

学校基本調査番号…本年度基本調査の番号 03:9:6:7:8

- 学校名……〇〇県立と、末尾の高等学校の表示は不要。
- 所在地……〇〇シ 〇〇マチ 15-1 と記入のこと。
- 課程……全日制は1、定時制は2、通信制は3と記入。
- 学 科……普通科は1、その他(工・商・農等)は2(2学科以上あれば合計で記入のこと)、盲・ろう・養護学校の高等部は3と記入のこと。

- 大学志願者……大学を志願した者の実数。
- 国立大学志願者数……上記の内、国立大学の志願者実数。(数字を記入する際、52名の場合 0:0:5:2 と書くこと)。
- 開設科目……表示してある科目を開設している場合、その下の番号を○で囲んで下さい。
- 最寄りの国立大学……貴校に近く、交通の便のよい大学をお知らせ下さい。離島などの場合、その大学が試験場となったとき、宿泊を要するときは2を○で囲んで下さい。

◎記入上、不明の点がございましたら  
東京03-465-3949 国立大学入試改善調査施設へお問い合わせ下さい。

郵便番号	学校基本調査番号	設置者別		
		国立	公立	私立
.....	.....	1	2	3

いずれかを○でかこむこと

学校名はカタカナで記入し、濁点・半濁点は1字分とること。  
都道府県立と高等学校の表示はしないこと。

学 校 名	.....
-------	-------

都道府県は省略し、郡・市・区・町・村の間は1字分あけること。例えば  
3丁目6番12号の表示は 3-6-12 のように記入すること。

所 在 地	.....
-------	-------



郵便往復はがき

			-		
--	--	--	---	--	--



往 信

# 高等学校長殿

--	--	--	--	--

普通科は1  
その他は2  
部・ろう・養護は3

数字の記入は、例えば52は4桁欄では0052、  
3桁欄では052と記入すること。

全日制は1 定時制は2 通信制は3	課 程	学 科	卒業 者数	大学志願者数		国立大学志願者数	
				大 学	短 大	大 学	短 大
昭和51年3月時	51卒						
	3月者						
昭和50年3月時	50卒		/				
	3月以前者						
昭和50年3月時	50卒						
	3月者						
昭和50年3月時	49卒		/				
	3月以前者						

卒業予 定者	課 程	学 科	52年 3月		53年 3月		54年 3月			貴校からの最寄りの国立 大学(漢字記入)		
											大 学	
開設科 目	(○でかこむ) 該当番号を	数学一般	英語 A	英語以外の外国語							上記大学が受験場となっ た場合、宿泊を要するか 必要なし 必要とする	
		基礎理科										
1	2	3		独 語	仏 語	中 国 語	語	語	語	7	1	2

いずれかを○でかこむこと

13. 共通第一次試験実施に係る受験者収容可能数調査について（依頼）

国入改第98号

昭和52年1月4日

各国立大学

入試担当課長殿

国立大学入試改善調査施設

総主幹 田保橋 彬

当施設におきましては、共通第一次試験実施に係る諸準備を行っておりますが、その一環として各国立大学における当該試験の受験者収容可能数を把握し、試験場設定の際の参考資料としたいので、下記により調査し、別紙様式により昭和52年1月31日までにご回答ください。

記

1. 調査の対象となる施設

(1) 学内の学部・研究所・付属学校等であって、共通第一次試験の試験室として使用しうるもの。

(通常の入試の際に使用していないものも含む)

(2) 調査表は地区・団地毎に別葉で記入すること。

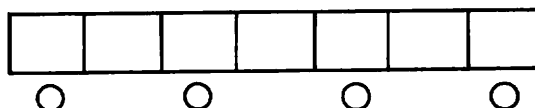
次の室は除外すること。

2. の基準で算出し、収容可能数が30名以下の室、著しい遠隔地で、試験場として使用することが困難な研究所等。

2. 試験室としての受験者収容可能数算定の基準

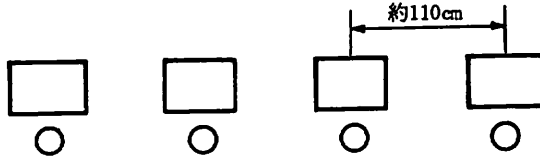
(1) 長机の場合、受験者の座席を1つおきとする。

(例)



(2) 個人机の場合、受験者の座席の中心から中心まで約110cmとする。

(例)



国立大学入試改善調査施設  
〒153 東京都目黒区駒場2-19-1  
東京教育大学農学部構内  
TEL 03-465-3049

◎追って、参考資料として保存したいので、ご回答の際、昭和52年度貴学学部学生募集要領を同封して下さい。

(別紙様式)

大学

地区  
団地

共通第一次試験に係る受験者収容可能数調査について (回答)

受験者を収容しうる 教室等の大きさ(A)	室 数 (B)	小 計 (A) × (B)	備 考
人収容			
合	計	名	

#### 14. 昭和51年度国立大学共通第一次試験の実地研究についてのお願い

昭和51年6月1日

国立大学協会

入試改善調査委員会

大学入試制度の根本的な改革は本質的には教育制度そのものの改革と相俟ってはじめて解決されるものではありません。一方入試の改善は今日現実の問題として社会からも強く要望されているところであります。また最近、高等学校では自らの持つ教育の本旨を生かす目的で、そのカリキュラムに大幅な選択制を取入れておられますが大学入試が従来のままではせっかくの改善の趣旨も生かされないと思います。

国立大学協会では昭和46年以来入試調査特別委員会を設け、かねてよりの懸案であった入試制度の問題点の検討を行ってきましたが、共通第一次試験を行うことが多少とも高校教育の正常化、受験生に対する客観的判定、出題の適正化および一発勝負の防止などに役立つであろうという期待を持つに至りました。

共通第一次試験は受験生の高校における学習の達成度を評価することを主眼とする基礎的な学力試験とし、この他に各大学で行うそれぞれの大学・学部・学科等への適性をみる第二次試験と組合せられる性質のものであります。共通第一次試験においては毎年全国立大学が衆知を集めて出題できるため、従来ややもすると指摘されることのあった受験生を苦しめるだけの「無理な問題」がなくなることが期待され、従ってより適正な問題が作成できるものと思われれます。

また受験生の立場からしますと従来のような一発勝負ではなく共通第一次試験による基礎的な学力試験と各大学独自に行われる選抜との二本建てになり、従来より、より明確に大学における自己の教育適正が評価されることとなると考えられます。

上記の趣旨に基づき昭和48年に入試改善調査委員会を発足させ、爾来鋭意検討を続けますとともに、この委員会の計画のもとに昭和49、50年度は全国7地区において試験問題実地研究を実施しました。これの実施に当っては関係各方面から多大のご協力をいただき深く感謝いたしております。

これまでの調査研究の結果については、すでにご承知のとおり年度毎に「国立大学入試改善調査研究報告書」をまとめ、関係各方面に配布してご意見を伺っているところでありますが、昭和51年度に

おいては、これらのご意見をもとにして、さらに専門的技術的問題や再検討を必要とする問題の調査研究を行うこととしており、また試験問題実地研究も、前年度に引き続き別紙実施要項により実施することにいたしました。

つきましては、別紙実施要項をご高覧の上、これの実施に対して格段のご協力を得たくお願い申し上げます。

15. 受験申込書

昭和51年度国立大学共通第一次試験実地研究受験申込書

国立大学協会入試改善調査委員会

(記入上の注意)  
 ①同一事項が「漢字等で記入する欄」と「カタカナ等で記入する欄」との2カ所に設けてあるので、いずれも正しく、ていねいに記入すること。  
 ②太線でかこんでいる部分は高校側が記入するので受験者は記入しないこと。

漢字等で記入する欄					カタカナ等で記入する欄(コンピューター用)	
都道府県	立	高等学校	高校名	①	← 左右2ヶ所とも高校側で記入すること。	
			高校整理番号	②		
		男女	姓名	③	姓と名の間は1字分あけること。(記入例) ナカダケンタロウ	④ 男女 1:2 ← いずれかの数字を0でかむこと。
		昭和 年 月 日生	生年月日	⑤	(記入例) 33年3月29日生れは → 3 3 0 3 2 9	
		いずれかを○でかむ →	数学一般	⑥	選択する 1 ← 数字を○でかむこと	
		いずれかを○でかむ →	基礎理科	⑦	選択する 1 ← 数字を○でかむこと	
		〒	郵便番号	⑧		
都道府県		市郡	現住所	⑨	都道府県名は記入しないこと。 地番とアルファベット以外はカタカナで記入すること。 区市郡、町村、区町名等の間は1字分あけること。 濁点は1字分とること。	(記入例) → ムサシノシ キチシ ヨウシ ミナミチヨウ 3-3-14 サクラタ ンチ A-6 ミヤカワ ガス オ サマカタ
区		町村				
		様方				

高等学校へのお願： 太線でかこんでいる高校コードは文部省の学校基本調査に用いている学校番号を記入してください。また高校整理番号は受験申込者について一連番号を付してください。その場合の記入は001、002、003、……012のようにしてください。

16. 受験申込者名簿

高校名		高校コード					
所在地	〒						
電話	市外局番 局番 番 - ( ) -						

整理番号	姓 名 (カタカナで姓と名の間は1字あけて記入してください)	性 別	備 考
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	5
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	10
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	15
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	
		男 1 女 2	20

注 意

1. 受験申込者名簿は各人から提出された受験申込書から正しく転記願います。
2. 整理番号欄には各人の受験申込書に付した整理番号と同一のものであるかどうかの確認を願います。
3. 高校コードの記入は文部省の学校基本調査に用いている学校番号を記入願います。
4. 性別は該当する数字を○でかこんでください。

17. 受 験 票

昭和51年度 国立大学共通第一次試験実地研究  
国立大学協会

受 験 票

受 験 番 号	03290
---------	-------

0 6 1 - 0 1	
ホツカイト <sup>ウ</sup> サツホ <sup>ロシ</sup> シロイシク ホツト <sup>ウリ</sup> 17チヨウメ ミナミ 1001 フルカワ タカヨシ サマカタ	
カシキ ナオミ	様

試験実施委員会	ホツカイト <sup>ウ</sup> タ <sup>イ</sup> カ <sup>ク</sup>		
試 験 場	ホツカイト <sup>ウ</sup> タ <sup>イ</sup> カ <sup>ク</sup>		
試験場コード	011-1		
出 身 高 校	サツホ <sup>ロ</sup> ケイ <sup>イ</sup>		
高校コード	01-5516	整理番号	012

注意事項

1. 当日はこの受験票を必ず持参すること。
2. 当日はHB鉛筆と消しゴムを持参すること。
3. 解答を誤ってマークした場合は消しゴムでいねいに消すこと。
4. 数学一般・基礎理科を選択した場合は、該当欄に\*が記入してあるので確かめること。

数 学 一 般	
---------	--

基 礎 理 科	
---------	--



### 18. 受験者の心得

#### 1 試験期日・試験教科

10月10日（日曜日）、10月11日（月曜日）

国語・社会・数学・理科・外国語の5教科について試験を行います。

#### 2 試験場………試験場については、同封の受験票および「試験場一覧」を参照してください。

#### 3 試験日時

事 項	10月10日（日）			10月11日（月）	
	国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
○試験室入室	9：00	12：20	14：55	9：00	12：05
○問題冊子、解答用紙の配付、受験の説明	9：15	12：25	15：00	9：05	12：10
○試験開始	9：30	12：30	15：10	9：15	12：15
○社会、理科の選択しない科目の解答用紙回収			16：10	10：15	
○時間内退出の許可	10：30	13：30	選択しない解答用紙回収後		許可しない
○英語の聴解力テスト					13：30
○試験終了	11：30	14：30	17：10	11：15	13：55
○アンケート調査	(昼食)	(休憩)		(昼食)	14：00

4 受験者は9時までに試験場に到着して、監督者の指示をうけるようにしてください。

5 受験票は試験当日必ず携帯してください。万一受験票を携帯しない場合は、監督者に申し出てその指示をうけてください。また受験に必要なもの以外は持参してはいけません。

6 試験室においては、受験票に表示してある受験番号と同一であることを確認の上自分の受験番号の席についてください。ただし、机上の受験番号は末尾のアルファベットを省略してあります。

7 試験室にはいったからは、試験の開始前にも、参考書類を見てはいけません。

8 受験中は受験票を常に机上に置いてください。

9 解答には必ずHBの黒色鉛筆（または黒色シャープペンシル）を使用してください。色鉛筆・ペン・ボールペンなどは使用できません。解答を誤ってマークした場合は、消しゴムでいねいに消してください。

10 鉛筆削り用具は使用してもかまいませんが、下敷、定規、コンパス、筆箱などは机の上に置いては

いけません。

- 11 時間中の退室は、監督者の指示をうけてください。
- 12 問題冊子は、監督者から試験開始の指示があるまで、絶対に開いてはいけません。
- 13 配付される解答用紙の左上には、あらかじめ受験番号を印刷してあるので、受験票に表示してある自分の受験番号と同一であるかどうかを必ず確認してください。
- 14 社会・理科（基礎理科を除く）はいずれも2科目を試験室において選択し解答してください。
- 15 数学一般、基礎理科については、あらかじめ選択科目として届け出た者のみが解答することになっています。試験室において変更することはできません。
- 16 英語の試験においては、13時30分から聴解力テストを行いますからあらかじめ承知おきください。
- 17 問題冊子の注意事項をよく読んでください。監督者の「やめ」の合図と同時に鉛筆をおき監督者の指示にしたがってください。また監督者の指示があるまで、退室してはいけません。
- 18 解答用紙は絶対に室外に持ち出してはいませんが、問題冊子は持ち帰ってください。
- 19 試験室においては、すべて監督者の指示にしたがってください。

注意 1 問い合わせは高等学校を通じ各試験場大学の試験実施委員会に申し出てください。

2 昼食は各自で用意してください。

3 英語の試験終了後、アンケート調査を行いますのでご協力ください。

### 試 験 場 一 覧

実施大学	試験場	試験場最寄りの下車駅	試験室案内の掲示場所
北海道大学	法学部	地下鉄南北線「北12条」	文系講義棟入口
北海道教育大学	函館分校	市電「新世橋」または「宮前町」	学生通用口
室蘭工業大学	室蘭工業大	東室蘭駅から道南バス「室蘭工大前」	正門
小樽商科大学	小樽商科大	小樽駅からバス（最上線）「朝日通」	正門
帯広畜産大学	帯広畜産大	帯広駅からバス（畜大農場行）「畜大正門前」	正門
旭川医科大学	旭川医科大	旭川駅から軌道バス（東神楽線）零号停留所	学生玄関
北見工業大学	北見工業大	北見駅から市バス「工大前」	正面
弘前大学	人文学部	弘前駅からバス（松原線）「弘前大前」	人文学部玄関
岩手大学	工学部	盛岡駅からバス（黒石野線）「岩手工事事務所前」	工学部正門
東北大学	農学部	仙台駅から市バス「農学部前」	農学部講義棟入口
秋田大学	教育学部	秋田駅から市バス「秋田大前」	正門、教育学部受付前
山形大学	教養部	山形駅からバス「山大前」	正門掲示板

実施大学	試験場	試験場最寄りの下車駅	試験室案内の掲示場所
福島大学	教育学部	福島駅からバス「福大前」	教育学部正門
茨城大学	教養部	水戸駅からバス「茨大前」	正門
宇都宮大学	教養部	宇都宮駅からバス「宇大前」	正門
群馬大学	教養部	前橋駅から東武バス「自動車教習所前」	正門
千葉大学	教育学部	国電総武線西千葉駅北口	正門及び南門
東京大学	法学部	地下鉄丸の内線「本郷三丁目」	正門掲示板
一橋大学	国立本校	国立駅南口	正門
新潟大学	人文学部	新潟駅からバス「新大正門前」	正門
富山大学	経済学部	市電又はバス「大学前」	正門
金沢大学	教養部	金沢駅からバス「兼六園下」	石川門
福井大学	教育学部	市バス「福井大学前」	正門
山梨大学	工学部	甲府駅北口からバス「大学前」	正門
信州大学	理学部	松本駅からバス「信大前」	正門入口
岐阜大学	教育学部	バス（長良岐大行・おぶさ行）「長良岐大前」	教育学部玄関
静岡大学	教養部	新静岡センターからバス「静大前」	教養部掲示板
名古屋大学	経済学部	名古屋駅からバス「名大前」又は地下鉄「本山」	玄関
三重大学	教育学部	近鉄「江戸橋駅」徒歩15分	正門
滋賀大学	経済学部	彦根駅から近江バス「栄町」	正門
	教育学部	石山駅から京阪バス「滋賀大前」	
京都大学	法, 経学部	市電又は市バス「東一条」	正門
大阪大学	医学部	梅田阪神百貨店前から市バス(55, 75)「田蓑橋」 又は地下鉄四ッ橋線「肥後橋」	医学部玄関
	歯学部		歯学部玄関
神戸大学	経営学部	市バス(鶴甲団地行)「神戸大前」	正門
奈良教育大学	教育学部	奈良駅から市内循環バス「高畑町」	正門及び学内掲示場
和歌山大学	経済学部	和歌山駅から「和歌山バス車庫前」	正門
鳥取大学	教養部	鳥取駅からバス「大学前」	正門
岡山大学	教育学部	岡山駅から市バス「岡山東門」	教育学部玄関前
広島大学	教育学部	広島駅から電車, バス(宇品行)で「広大前」	教育学部玄関
山口大学	教養部	小郡駅から市バス(山口行)「湯田温泉」徒歩30分	正門
香川大学	教育学部	高松駅から市内バス西通線西廻り「大学前」	正門
愛媛大学	理学部	松山駅から市電「日赤病院前」	理学部講義棟入口
高知大学	文理学部	朝倉駅から徒歩5分 電車・バス「大学前」	正門
九州大学	文科系学部	博多駅から電車(貝塚行)「九大中門」	中門
長崎大学	教養部	長崎駅から電車「長崎大前」	正門
熊本大学	工学部	交通センターから市バス「熊本大前」	工学部正門
宮崎大学	教育学部	宮崎駅からバス「橋通3丁目」にて乗換え「花殿町」	正門
鹿児島大学	教養部	西鹿児島駅から市バス「法文学部前」	教養部掲示板
琉球大学	教養部	銀バス「琉大入口」	正門守衛室前

(注) 試験場への道順は一例を示したものであり、各自の経路はあらかじめ調べておくこと。

19. 昭和51年度国立大学共通第一次試験実地研究

監督者要領

実施方法等調査専門委員会

- ① 試験実施にあたっては、以下の事項にしたがって進行する。
- ② 英語の聴解力テストに際し、テープレコーダーを操作する職員が配置されていない場合は、その操作をあらかじめ習得する。

試験実施時刻表

	10月10日(日)			10月11日(月)	
	国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
監督者入室	8:50	12:20	14:55	8:50	12:05
受験者入室	9:00	12:20	14:55	9:00	12:05
解答用紙 配付枚数	1	1 ※	6	4 ※	1
問題冊子 } 配付 解答用紙 }	9:15	12:25	15:00	9:05	12:10
試験時間	9:30~11:30	12:30~14:30	15:10~17:10	9:15~11:15	12:15~13:55
	120分	120分	120分	120分	100分
遅刻限度	10:00	13:00	15:40	9:45	12:45
欠席調査	10:00	13:00	15:40	9:45	12:45
選択しない 解答用紙	回収	回収枚数	16:10	10:15	
			4	2	
時間内退室許可	10:30	13:30	選択しない解答用紙回収後	許可しない	
残り時間通告	11:20	14:20	17:00	11:05	
終了合図	11:30	14:30	17:10	11:15	13:55

※ 数学および理科の解答用紙配布については3項の(3)、(4)参照のこと。

1 監督者入室

各教科の試験開始前に試験本部から試験問題等を受領する。

	10月10日（日）			10月11日（月）	
	国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
監督者入室	8：50	12：20	14：55	8：50	12：05
受験者入室	9：00	12：20	14：55	9：00	12：05

## 2 受験者入室

監督責任者は受験者を着席させ、次の注意を与える。

- ア 受験票の受験番号と同じ席につくこと（ただし、机の上の受験番号は末尾のアルファベットを省略してある旨、知らせる）。
- イ 机の上に受験票を置くこと。
- ウ 机の上には受験票のほか鉛筆（HB）・ナイフ・消しゴム以外を置かないこと。
- エ 解答には必ずHBの黒色鉛筆を使用し、色鉛筆・ペン・ボールペンなどは使用しないこと。
- オ 合図があるまで問題冊子を開かないこと。

## 3 問題冊子・解答用紙の配付

	国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
解答用紙 配付枚数	1	1 ※	6	4 ※	1
問題冊子 } 配布 解答用紙 }	9：15	12：25	15：00	9：05	12：10

※ 数学および理科の解答用紙配付については(3)、(4)参照

- (1) 解答用紙にはあらかじめ受験番号を印刷してあるので、受験票と照合して配付する。
- (2) 解答用紙に異常があったときは予備のものと交換する。このときは試験調査表の備考欄に「予」と記入し、解答用紙袋の所定欄に受験番号を記入する。なお不用になった解答用紙は×印を付し、問題冊子袋に納める。
- (3) **【数学の解答用紙配付上の注意】** 数学は数学一般と数学Ⅰのいずれかを選択することになっているが、数学一般は事前に届け出た者に限っており、選択者の有無は試験調査表の科目欄に＊印で表示してある。
- (4) **【理科の解答用紙配付上の注意】** 理科5科目のうち基礎理科は事前に届け出た者に限っており

選択者の有無は試験調査表の科目欄に＊印で表示してある。

(5) 問題冊子および解答用紙配付後に次の注意を与える。

ア 問題冊子の表紙にある注意事項を読むこと。

ただし、最初の試験（国語 9：15～）のみ、監督者が読みあげる。

イ 解答用紙の左上の所定欄に氏名（カタカナ）を、中央部の所定欄には受験番号を記入する。

また右上の所定欄には受験番号を正しくマークすること。

ウ **【社会のみの注意】** 配付した 6 科目 6 枚の解答用紙のうち 2 科目を選択すること。ただし、地理 A と地理 B を 2 科目として選択しないこと、また試験開始 60 分後に選択しない科目の解答用紙を回収する。

エ **【理科のみの注意】** 基礎理科選択者は 1 科目で解答用紙 1 枚でよいが、その他の者は基礎理科以外の 4 科目 4 枚の解答用紙のうち 2 科目を選択すること。また試験開始 60 分後に選択しない科目の解答用紙を回収する。

#### 4 試験時間・時間内退室許可時刻・残り時間の通告

試験時間等をあらかじめ知らせる。なお、時間内退室のさいは、答案を直接提出させる。

	国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
試 験 時 間	9：30～11：30	12：30～14：30	15：10～17：10	9：15～11：15	12：15～13：55
	120分	120分	120分	120分	100分
時間内退室許可	10：30	13：30	選択しない解答用紙回収後		許可しない
残り時間通告	11：20	14：20	17：00	11：05	

〔英語のみの注意〕 13時30分から15分間聴解力テストを行う旨、あらかじめ通告する。

#### 5 試験開始合図

(1) 振鈴等の合図によって開始するが試験本部の指示がない限り、試験問題についてはいっさい説明しない。

(2) **【数学の試験開始合図後に注意を与える】**

数学一般、数学Ⅰのそれぞれの問題の冒頭に解答上の特別な注意があるので読むこと。

## 6 遅刻限度

国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
10：00	13：00	15：40	9：45	12：45

試験開始後30分を経過した場合は原則として入室を許可しない。ただし、特別な事情があったときは、試験本部と連絡をとって処置する。

## 7 欠席調査

国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
10：00	13：00	15：40	9：45	12：45

欠席者を調査し、試験調査表に打出してある受験番号を○で囲みその合計を末尾に記入する。欠席者の解答用紙は回収して問題冊子袋に納める。

## 8 選択しない科目の解答用紙の回収（社会・理科のみ）

	国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
回 収			16：10	10：15	
回 収 枚 数			4	2	

選択しない科目の解答用紙を回収し、その枚数を確認した上、問題冊子袋に納める。

（注：試験室の構造上、試験時間中に回収することが困難な場合は終了後でよい）

## 9 時間内退室許可

国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
10：30	13：30	選択しない解答用紙回収後		許可しない

時間内に退室を許可した場合は、受験者本人に答案を直接提出させ、監督者は答案の受験番号と氏名および右上の受験番号マーク欄が正しく記入されているかを確認した上、試験調査表の該当科

目欄に○印を付す。ただし、社会・理科の場合は8項の処理後に退室を認める。また、英語については聴解力テストの関係上、時間内退出を認めない。

## 10 残り時間通告

国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
11 : 20	14 : 20	17 : 00	11 : 05	

残り時間が10分であることを知らせる。ただし、英語は聴解力テストの関係から知らせない。

## 11 試験終了の合図

国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
11 : 30	14 : 30	17 : 10	11 : 15	13 : 55

(1) 振鈴等の合図によってやめさせるが、次の注意を与える。

ア 許可するまでは退出しないこと。

イ 受験番号および氏名の記入を確認し、とくに答案の右上にマークした受験番号が正しいか確認すること。

(2) 監督者は答案を科目毎の番号順に取りそろえ、試験調査表の科目欄に○印を付し、その合計を末尾に記入するとともに、解答用紙袋の所定欄に記入する。回収した答案が過不足ないことを確認したら受験者の退室を許可してよい。ただし、英語の試験を除く。

(3) 【英語の試験終了後のアンケート調査】今回の実地研究についてのアンケート調査を行うので答案回収後にアンケート調査票を配付し、記入させてから退室させる。

(4) 予備解答用紙を使用した場合、その答案を最上部にし、答案は折れないように解答用紙袋に納め、試験本部に引渡す。





## 21. 実地研究実施についての注意事項

### I 試験問題等の発送・返送について

#### 1 試験問題等の送付

- (1) 9月24・25日に各大学向け日通品川支店から発送します。
- (2) 荷姿はM7コンテナ（主として解答用紙用）  
M4コンテナ（主として問題冊子用） } となっています。
- (3) この中には試験問題冊子、解答用紙およびそれぞれの分封用封筒、アンケート調査票、英語聞きとりテスト用のテープが入っています。
- (4) 貴大学最寄りの日通支店長経由で定められた責任者が、貴大学の「試験実施委員会事務担当委員」を荷受人としてお届けします。9月28日頃までには到着する予定です。
- (5) 当方で封印したものを確認のうえ、上記荷受人の「印」で受領して下さい。
- (6) 荷物が到着次第国立大学入試改善調査施設まで電話でお知らせください。
- (7) なお、内容確認のうえ「試験問題・解答用紙配布数内訳」の控に受領印を押して当施設まで郵送して下さい。

#### 2 答案等の返送

- (1) 返送していただく内容は
  - イ 答案及びアンケート調査票返送明細書
  - ロ 答案（解答マークシート）
  - ハ 試験調査表
  - ニ アンケート調査票
  - ホ 英語聞きとりテストの予備テープ1本
- (2) M4コンテナ1個に格納して下さい。(その他のコンテナは答案返送の際日通が引取ります。)
- (3) 答案の取扱い
  - イ 試験終了後、科目ごとに答案と試験調査表を照合して下さい。その際、「予備」解答用紙を使用した場合には解答用紙袋に、その受験番号を記入すると同時に、その答案を最上部に重ねることになっていますので、確認して下さい。(監督者要領11—(4))
  - ロ 照合した答案は解答用紙袋に入れたまま、一括してダンボール箱に収めて下さい。

- (4) アンケート調査票は回収後、答案と識別しやすいよう、貴学の封筒に入れ、答案と共にダンボール箱に収めて下さい。
- (5) 試験調査表は、貴学の封筒に入れ、アンケート調査票を入れたダンボールの中に収めて下さい。
- (6) 答案及びアンケート調査票返送明細書、答案、試験調査表、テープ、アンケート調査票を M4 コンテナに格納し、パッキングで固定して下さい。
- (7) 10月12日（水）午後2時頃、配送した日通の責任者が引取りにまいります。試験実施委員会事務担当委員立合いのうえ封印して引渡して下さい。（封印用品は問題冊子のコンテナに同封してあります。）
- (8) 輸送料は往復とも一括して当施設が負担し、契約済みです。

## II 配付物について

### 1 試験室割当表

- (1) 試験室ごとに割当てた受験生の数、先頭（FROM）の受験番号と末尾（TO）の受験番号を例挙します。
- (2) 試験室の表示は各大学で報告のあった教室名に代え、01, 02, 03, ……と表示してあります。

### 2 受験者名簿

- (1) 受験番号、受付番号、氏名、高校名を表示し、試験室ごとに別葉になっています。
- (2) スウ…は数学一般、キソ…は基礎理科の意味です。これらの科目の選択者には\*印を付してあります。
- (3) 受付番号は、高校コード・整理番号の連結コードです。
- (4) 受験者を50音順に配列し、これに受験番号を振付けています。

### 3 試験問題

- (1) 国語・数学・社会・理科・英記の5分冊となっています。配付数は「試験問題・解答用紙配付内訳」によって確認して下さい。

国語・英語は200部単位、数学・理科は100部単位、社会は50部単位で包装してあります。ただし端数は別封包です。

- (2) 「試験室割当表」に従って教科別、試験室別に予備（各室3部）を含めて問題冊子袋に分封して下さい。
- (3) 英語聴解力テスト用のテープについては録音してある説明を聞きながら音量調節など必要な

準備をお願いします。

(試験問題・テープは別途送付)

#### 4 解答用紙

- (1) 折り曲げたりしないよう取扱いに注意して下さい。
- (2) 科目毎に色刷りしてあり、配布数は「試験問題・解答用紙配付数内訳」によって確認して下さい。
- (3) 解答用紙には試験場コード(4桁)と受験番号(5桁)が印刷してあります。ただし、予備解答用紙には3桁の試験場コードのみ印刷してあります。また数学一般と基礎理科は、これらの選択者の分のみ受験番号を印刷してありますので、「試験室割当表」に従って科目別、試験室別に予備を含め解答用紙袋に分封して下さい。
- (4) 数学Ⅰおよび理科4科目(物理・化学・生物・地学)の解答用紙には、数学一般選択者、基礎理科選択者の分も含めて印刷されています。数学一般・基礎理科選択者は他の科目を受験できないことになっているので、これら選択者の他の科目の解答用紙を「試験調査表」によって除外してください。
- (5) 試験室当りの予備の解答用紙の数は、国語、数学(数学一般を除く)、英語については各3枚あて、社会、理科(基礎理科を除く)については各2枚あて、数学一般、基礎理科については、その科目選択者のいる試験室にのみ用意し、5名以内は1枚、6名以上は2枚とします。
- (6) 折れたり曲ったり汚れた解答用紙があったときは「予備」と交換して下さい。(「監督者要領」3.(2)参照)

(別途送付)

#### 5 アンケート調査票

- (1) 折り曲げたりしないよう取扱いに注意して下さい。
- (2) 配布数は受験者数に加え、予備として10%ほど送ります。
- (3) 英語の試験終了後に使用するので、予め試験室別に分封し、試験問題とともに試験監督者に渡して下さい。

(別途送付)

#### 6 試験調査表

- (1) 教科別、試験室別に別業になっています。
- (2) この表は、解答用紙の分封、受験者への解答用紙の配付、欠席者調査、選択科目の表示、答案回収のチェック等に用いるものです。各試験室の監督者に渡して下さい。(「監督者要領」3、

7, 9, 11参照)

(3) 試験本部は、試験了後、回収された答案の確認に用いて下さい。

## 7. 監督者要領

試験本部用20部、試験監督者用として受験者50名につき4部とします。

## 8 受験者心得

受験者には、受験票とともに送付してありますが、試験本部用を20部とします。

## 9 受験票の予備

(1) 試験本部の再発行用として20枚 (㊟と表示してあります。)

(2) 受験票を携帯しない者に対し、身分証明書等によって確認し、「受験者名簿」と照合の上再発行して下さい。

(3) 再発行の際は、受験番号・氏名・試験場コード・高校コード・整理番号(受付番号)・選択科目欄を記入して下さい。受験者の住所・試験実施委員会名・試験場名の記入は要しません。

## 10 受験番号票

(1) 試験前日までに試験室割当表にしたがって机に貼ってください。

(2) 受験番号の末尾のアルファベットは省略してください。

## 11 問題冊子袋(黒刷り)

(1) 試験問題の冊子を「試験室割当表」に従って、教科別に予備を含めて分封して下さい。

(2) 1袋当りの封入可能数は、横2段入れの場合、国語・英語は200部、数学は100部、社会・理科は50部程度となっておりますが、この基準での2倍の数の袋を送付します。

(3) 問題冊子袋下欄には数学一般及び基礎理科選択者の受験番号が印刷してありますが、記入を要しません。

(別途送付)

## 12 解答用紙袋(赤刷り)

(1) 解答用紙を「試験室割当表」「試験調査表」に従って分封して下さい。解答用紙袋の科目欄に封入する解答用紙の科目名を○印で囲んで下さい。

(2) 1袋当りの封入可能数は100～120枚です。

(別途送付)

## 13 答案及びアンケート調査票返送明細書

答案は解答用紙袋に収めて返送願うことになっておりますが、その際、科目毎の袋数を「答案

及びアンケート調査票返送明細書」に記入して下さい。

注1：全試験終了後、参加高校に配付する試験問題は、参加校数を同封しますが、解答用紙はその分を用意してありませんので、欠席者分の解答用紙を各高校1枚あて（科目は問いません）配付して下さい。

注2：報道関係者から試験問題等の入手希望があった場合は、当日の試験終了後渡すようにして下さい。

### Ⅲ 一般的事項

#### 1 掲示について

掲示は、次のことを準備して下さい。

- (1) 試験場表示
- (2) 試験室案内（万一、受験票を携帯しない者は試験本部に申し出る旨の掲示をして下さい）
- (3) その他必要な掲示

#### 2 問題訂正について

- (1) 問題の誤りが事前に判明し、時間的に余裕がある場合は訂正文を速達書留で送付し、電話連絡します。
- (2) 時間的余裕のない場合、試験実施中に問題の訂正の必要が生じた時には電話で指示します。
- (3) 各試験室に対する問題訂正の指示は下記の書式に従って下さい。

昭和 年 月 日

試験監督者 殿

試験実施委員会委員長

( ) 問題訂正

下記のとおり黒板に書いて訂正して下さい

記

22. 受験者に対するアンケート調査票

# アンケート調査

記入上の注意  
 ○自分で解答した科目について、該当箇所をぬりつぶすこと。  
 ○英語に関しては聴解力テスト以外の内容について答えること。

## I 各科目について

項目	科目	問題の文章はわかりやすいか			問題はむずかしいか			解答の時間			解答用紙のデザイン			解答用紙の色		
		難しい	普通	易しい	難しい	普通	易しい	長い	普通	短い	良い	普通	悪い	見やすい	普通	見にくい
	国語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
数学	数学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	数学一般	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社会	日本史	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	世界史	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地理 A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地理 B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	政治・経済	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	倫理・社会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
理科	物理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	化学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	生物	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	基礎理科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	英語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## II 感想記入欄(気づいたことを記入して下さい)



23. 試験実施大学報告書作成について（依頼）

国入改第91号

昭和51年12月3日

各大学試験実施委員会

委員長 殿

実施方法等調査専門委員会

委員長 加藤 陸奥雄

このたびの実地研究につきましては多大のご協力をいただきありがとうございました。

さて、本年度の報告書作成にあたり、各大学の試験実施委員会の報告を別紙項目によりご回答いただき、項目別に要約して掲載いたしたいので、きたる12月25日（土）までにご回答くださるようお願いいたします。

回答返送先

国立大学入試改善調査施設

〒153 東京都目黒区駒場2丁目19番1号

TEL 03-465-3948～9

（別紙）

大学名 \_\_\_\_\_

◎ 下記のことについて、項目別にお気付きの点を記入の上ご回答願います。

1 本年度の実地研究について

(1) 「受験者心得」の内容について

--

(2) 「問題冊子」及び「解答用紙」の輸送について

--

(3) 「問題冊子」の印刷、紙質、活字の大きさ等について

(4) 「解答用紙」の大きさ、色等について

(5) 「試験時間」の長・短及び休憩時間等について

(6) 「連絡体制」について

(7) 「監督者要領の内容」について

(8) 「試験調査表」について

(9) 「聴解力テスト」の設備上の可否について

(10) 「社会・理科」の解答用紙は試験場において、未選択分を回収廃棄する方式をとっているのですが、共通の様式に改めるよう検討していますが、配付・回収上どうお考えですか。

(11) 予め解答用紙に受験番号を印刷することは技術的にも問題があると思われるがこれについてどうお考えですか。

2 その他（お気付きの点をご記入願います。）

--

## 24. 大学入学者選抜方法の改善について

### —報 告—

昭和46年12月9日 大学入学者選抜方法の改善に関する会議

大学入学者選抜方法の改善に関する会議（以下「改善会議」という。）は、大学入学者選抜の問題がわが国の学校教育全般に重大な影響を及ぼしている現状にかんがみ、昨年7月以来、従来の漸進的改善の成果をふまえつつ長期的展望に立った大学入学者選抜方法の改善について検討を続けてきた。昨年12月には、最終的な結論を得る前に広く関係各方面の意見を求めることとし、それまでの検討結果を整理して「中間発表」として公表した。

その後引き続き中間発表を基礎として、これに対する関係各方面の貴重な意見をじゅうぶんに参考としつつ慎重に審議を重ねてきた。寄せられた多くの意見には考え方にかなりの幅があり、そのすべてを報告に取り入れることは困難であった。しかしながら、意見の趣旨はじゅうぶん尊重し、共通の方向を見いだすことにできるかぎり努力し、ここに最終報告をとりまとめたものである。

大学入学者選抜にかかる問題は、単に選抜方法のあり方のみ起因するものではなく、国公私立にわたる大学のあり方や社会的風潮などを背景とするきわめて複雑な問題である。したがって、本報告において提案した方策のみによって、わが国の大学入学者の選抜にかかる諸問題が一挙に解決されるものではない。選抜方法の改善とともに、大学の教育・研究の質的向上を図り、それぞれ特色のある大学教育が行なわれるようにするなど、総合的な努力を積み重ねていくことが肝要である。

本改善会議は、政府が本報告に基づき、大学入学者選抜方法の改善を積極的に推進するよう強く要望するとともに、大学入学者選抜に関係するすべての人々が緊密に協力しつつ、それぞれの立場で改善の努力を払われることを念願するものである。

### I. 大学入学者選抜の意義

大学入学者の選抜は、基本的には、入学志願者の高等学校における学習成果の測定評価を通じて、大学教育に必要な基礎的能力・適性と志望する大学・学部の目的、特色、専門分野等に応じて重視される能力・適性の程度を判定し、入学定員を考慮しつつ、当該大学・学部の教育により適する者を入学させるために実施されるものである。

同時にそれは、高等学校卒業者をその能力・適性に応じて大学に進学させ、各人の個性に即してその能力・適性のより適切な伸長を期するための教育的業務であり、高等学校教育と大学教育とを関連

づける重要な役割を果たすものである。

したがって、大学入学者の選抜は、単に大学の立場だけで考えられるべきものではない。高等学校教育の正常な発展を助長するようじゅうぶん配慮されるとともに、選抜の方法およびその結果が公正かつ妥当なものとして、志願者はもとより社会一般の信頼を受けるように実施されなければならない。

## II. 大学入学者選抜の問題点

わが国における大学入学者選抜の現状には多くの問題があり、大学教育はもとより高等学校以下の教育にまで重大な影響を及ぼしている。

それらの諸問題は、単に選抜の方法の不備によるばかりではなく、少数の特定大学・学部を志向する社会的風潮や、近年における大学進学希望者の増加などを背景として、きわめて複雑な形となって現われているが、それらのうち主なものをあげれば次のとおりである。

### 1. 特定の大学・学部集中する激しい入学競争について

近年、わが国においても、大学への進学希望者は年々増加している。

これに対応して、大学の拡充と多様化も漸次表現されてきたが、志願者が必ずしも自己の能力・適性に即することなく、少数の特定の大学や学部過度に集中する傾向がいぜんとして見受けられる。その結果、いわゆる入試地獄とも称されるような激しい入学競争がいまなお展開されている。

これはまず、わが国の社会に根強く残っているいわゆる有名校偏重ともいべき風潮によるところが大きいと考えられる。

また、大学の伝統や質的充実度の相違等によって、社会一般の各大学に対する評価に差異があること、大学が教員の人事交流の面、単位の相互認定の面等において閉鎖的であることなどもその原因の一つとなっている。

これらの事情を背景として、高等学校においては、生徒あるいはその父母の特定大学・学部への強い進学希望もあって、教師の進路指導は必ずしもじゅうぶんな成果をあげていないのが実情である。

このようにして、大学全体の収容力は、志願者に比してそれほど不足していないにもかかわらず大量の不合格者を生ずることとなり、毎年十数万人にのぼる青年がいわゆる浪人生活を送っているのが現状である。これらの浪人の存在が、競争をさらに激化させる結果となっており、多数の青年が、やたら有為な時期を基礎的能力の涵養よりも、受験技術の練磨のために費やし、それが社会的にも慣習化していることは重大な問題といわなければならない。

### 2. 学力検査偏重の選抜について

わが国の大学入学者選抜は、大学自らが行なう学力検査の結果のみを重視して行なわれている場合が多い。これは学力検査の得点順に合格者を決定でき、選抜が容易であること、高等学校長から提出される調査書が必ずしもじゅうぶん信頼されておらず、またそれがじゅうぶんに活用されていないこと、さらに選抜期間が比較的短いことなどの事情によるものと思われる。

国立教育研究所、能力発研究所やいくつかの大学における調査研究によれば、学力検査の結果よりも高等学校在学中の成績のほうが、さらに学力検査のみあるいは調査書のみというような単一の資料によるよりも、これらを含めた各種の資料を多角的、総合的に用いるほうが大学における学業成績をよりよく予測できるという報告が出されている。

大学が行なう学力検査の結果は、志願者の学習面での努力の成果を示す重要な資料の一つではあるが、その得点順のみを重視した選抜は、偶然性に左右されるおそれもあり、真に選抜目的を満たしうべき妥当なものといえるかどうか問題である。

### 3. 高等学校教育等への影響について

大学が行なう学力検査の内容については、近年改善のあとがみられるとはいえ、往々にして高等学校学習指導要領に掲げる各教科・科目の目標や内容を逸脱した問題、あるいは単なる記憶や断片的知識のみを求める問題等がなお見受けられ、これが高等学校の教育をゆがめる一つの原因となっている。

また、高等学校における学力検査に関係のある特定の教科・科目のみが重視される結果、全人的な教育が妨げられがちであり、激しい入学競争による精神的な重圧感とあいまって、生徒の心身の発達に重大な影響を及ぼしている。

大学においても、入学後に留年者や転退学者が増加し、あるいは精神衛生上問題のある学生が増加する傾向がみられることは、まことに憂慮すべき問題といわなければならない。

さらに、中学校以下の教育にも知育偏重の弊をもたらしていることも看過し得ない問題である。

## Ⅲ. 大学入学者選抜方法の改善方策

### 1. 改善の方向

大学入学者の選抜は、その本来の意義をじゅうぶん認識し、妥当性を高め、現状の弊害をできる限り除去することを旨として行なわれなければならない。本改善会議は、これまでも調査書の活用の促進や学力検査問題の改善などを中心に漸進的な改善方策を提案してきたが、問題の重要性にかんがみ、この際共通学力検査の新たな実施の検討も含めて、今後の大学入学者選抜方法改善の方向ととるべき諸方策を明らかにし、その推進を図ることが必要と考える。

大学入学者の選抜は、出身高等学校長から提出される調査書、全国的規模で行なわれる共通学力検査の結果、大学が行なう学力検査、実技検査、面接、小論文等の結果および健康診断の結果を多角的に活用することによって、志願者の能力・適性を総合的に判定するという方法が最も望ましいと考えられる。

各大学が実施する具体的な方法については、大学入学者選抜の本来の意義がそこなわれないかぎり必ずしも同一である必要はなく、最もふさわしい人材が得られるよう適切な方法がくふうされてよい。

しかし、一般的に言えば、調査書と共通学力検査の結果により、主として大学教育に必要とされる基礎的な能力・適性の程度を、また大学が行なう学力検査等の結果により、主として大学・学部の目的、特色、専門分野等に応じて重視される能力・適性の程度を、それぞれ判定するようにすることが適切であろう。

各種の選抜資料は、それぞれ異なる長所と短所を備えており、利用の仕方や果たすべき役割にも相違がある。したがって、大学は、これらの資料の特性をじゅうぶんに理解し、当該大学の選抜目的に照らして最も有効かつ適切に活用するよう配慮することが必要である。

また、大学における選抜方法の改善とともに、高等学校においては、その教育目標に応じて生徒の学習成果を公正に評価し、この評価に基づいて生徒の能力・適性に応ずる適切な進路指導を行なうことが必要である。

なお、改善の目標が実現されるようにするためには、大学、高等学校ともに、それぞれ必要な組織の整備を図り、またこの組織を通じて両者の協力関係をいっそう緊密にすることが望ましい。

## 2. 改善の方策

### (1) 調査書の活用について

調査書は、志願者の高等学校在学中の学習成績ならびに性格および行動の特徴など、学力検査だけでは判断しがたい能力・適性を示す総合的な資料であり、入学者選抜のための基礎資料として多角的に活用されるべきものである。

調査書の活用の仕方にはさまざまな方法があるが、一般的には、学力検査の結果等他の資料とともに総合的に利用する方法、出身学校長の推薦に基づき学力検査を免除して合否を判定するいわゆる推薦入学の場合の基礎資料として利用する方法、学力検査等を綿密に行なう目的で受験者数を限定するために第一次選抜を実施する場合の基礎資料として利用する方法などが考えられる。

このように、調査書が入学者選抜の基礎資料の一つとして広く利用されるようにするためには、調査書の記載内容の客観性をじゅうぶんに確保し、信頼度をより高めるよう、様式、内容や記載の基準

の改善を図るとともに、作成手続きについても整備する必要がある。

特に、調査書の作成および利用の便を考慮し、従来文章表現を要していた項目については、可能なかぎり記号または段階化し、あるいは選択肢を設けることなどを検討する必要がある。また、調査書に志願者の将来の能力の伸びの予測に役立つ内容を盛り込むことも検討すべきであろう。

さらに、大学における調査書活用の便に資するため、調査書の具体的な利用方法等に関する解説資料の作成を考慮することが望ましい。

## (2) 共通学力検査の実施について

大学が入学者の選抜を行なうにあたっては、大学教育に必要とされる基礎的な能力・適性の程度と、個々の大学の目的、特色、専門分野等に応じて重視される能力・適性の程度を、それぞれ判定するための資料を得る必要があることは、さきに述べたとおりである。

このうち、特に大学教育に必要とされる基礎的な能力・適性の程度の判定については、各大学が個々に学力検査を実施するよりも、大学側と高等学校側とが緊密に協力して、志願者の高等学校における学習成果を適切に測定評価する全国的規模の共通学力検査を実施し、その結果を利用するほうがより望ましい結果を得ることができると考えられる。

この方式により、大学および高等学校の関係者の衆知を集めたすぐれた問題を作成することが可能となり、大学に対して志願者の有する能力・適性の程度を示す信頼度の高い資料を提供できるばかりではなく、高等学校における教育の正常な発展に大きく寄与することができよう。

また、大学は、さらに必要に応じて当該大学・学部の目的、特色、専門分野等に応じた学力検査、実技検査、面接、小論文等を課する余裕をも得ることができ、これらの異なる視点からの各種の選抜資料を多角的に活用することによって、従来よりもいっそう妥当な選抜を行なうことができるようになるであろう。

共通学力検査の結果の利用方法については、他の資料と合わせて合否の総合判定のための資料として利用する方法、第一次選抜のための資料の一つとして利用する方法、調査書における学力評価基準の差異を補正するための資料として利用する方法等が考えられるが、どのような利用方法をとるかにについては、各大学が他の選抜資料の取り扱いとの関連をじゅうぶんに考慮して適切に決定することが望ましい。

共通学力検査は、高等学校学習指導要領に準拠しつつ、基礎的理解力と応用的能力をじゅうぶんに検出できるようなものであることが望ましく、高等学校第三学年の生徒（定時制および通信制の課程にあっては、これに相当する学年の生徒）および卒業生（高等学校卒業者と同等以上の学力があると



認められる者を含む。)を対象として実施されることが妥当であろう。

共通学力検査は、大学側と高等学校側との緊密な協力を基礎とすべきであるが、実施機関の形態、実施方法、実施の手順、国の援助のあり方等の具体的な実施方策については、大学、高等学校の関係者および関係諸団体とじゅうぶん協議し、意見の調整を図りつつ早急に準備を進めることが望ましい。

なお、この共通学力検査と現在行なわれている大学入学資格検定との関係や、進学適性を判定するための検査のあり方などについても、今後の課題として研究を進める必要がある。

### (3) 大学が行なう学力検査等の改善について

大学・学部の目的、特色、専門分野等にふさわしい人材を選抜するためには、大学においても、当該大学・学部において特に重視される能力・適性の程度をさらに綿密に判定することを主な目的として、学力検査、実技検査、面接、小論文その他特別の検査を実施する必要がある。

このような目的をもって大学が行なう学力検査等は、検査目標を明確にし、調査書や共通学力検査だけではふじゅうぶんな面、たとえば、創造的思考力、表現力等の検査や実技検査に重点を置くなど、出題の形式、内容にもじゅうぶんのくふうを加え、合理的な方法により実施されることが必要である。

また、学力検査の出題教材・科目の種類については、共通学力検査との関連をじゅうぶん考慮して、大学が特に必要と認める教科・科目にとどめるよう配慮することが望ましい。

### (4) 大学における入学者選抜事務処理体制の整備について

大学における入学者選抜に関する業務は、従来から、多くの大学では主として年度後半にかかる季節的なものとして取り扱われている。

しかしながら、大学がより妥当な選抜を実施していくためには、高等学校等を通じ、進学希望者に対して大学・学部の概要、教育研究上の特色などについてじゅうぶんな広報活動を行ない、また、選抜結果について追跡調査を行ない、その妥当性を常に吟味し、選抜方法の改善に努めることが必要である。さらに、これらの追跡調査に関連して、大学における教育評価の方法に関する調査研究を行なうことも必要であろう。

このような入学者選抜に関する業務を、教員と密接に協力しつつ適切に遂行するためには、大学に入学者選抜関係事務を専門的に処理する組織（仮称「入学事務部」）を常設し、専門的知識と関係領域の学問に造詣の深い専門職員を配慮する必要がある。

この組織の責任者は、当該大学の入学者選抜に関する基本的針決定に参画し、同時に入学者選抜実施の権限と責任を付与されることが望ましい。

入学事務部を中心とする入学者等についての追跡調査の結果は、当該大学の選抜方法の改善充実に

役立つことはもとより、大学教育の効果測定にも資することができる。さらに、これらの結果を随時高等学校に還元することにより、高等学校の進路指導の参考に供することもできよう。

なお、政府は、入学者選抜に関する専門的な知識を有する職員の研修、養成等について特に配慮する必要がある。

#### (5) 高等学校における進路指導の充実について

大学入学者選抜にかかる諸問題の改善を期するためには、選抜方法の改善とならんで高等学校における進路指導の充実が大きな役割を果たすものと考えられる。

高等学校の現状を見ると、生徒の能力・適性よりも、志望大学の志願倍率の傾向や学力検査実施教科・科目数等による入学の難易度に基づく指導がなされていることもあり、必ずしも適切かつじゅうぶんな進路指導が行なわれているとはいえない。

この際、大学における入学事務部の設置に対応して、高等学校に主として進路指導を担当する専門的能力を有する教員を配置し、この両者の密接な協力のもとに進路指導が行なわれるようにすることが望ましい。

これにより、各人の個性に即した能力・適性のより適切な伸長と、いわゆる浪人の減少を期待することができよう。

また、近年増加の傾向にあるといわれる大学入学後の留年、転学、転学部等による混乱を減少させるうえにも役立つであろう。

### 3. その他改善を要する事項

本改善会議は、上記の改善方策に合わせ、高等学校の職業教育を主とする学科の卒業者の大学進学の問題、国立大学一期・二期制度の問題および国公立大学入学者選抜期間の問題についても検討したので、ここに付記する。

#### (1) 高等学校の職業教育を主とする学科の卒業者の大学進学について

高等学校の職業教育を主とする学科の卒業者の大学進学については、普通教育を主とする学科の卒業者に比してきわめて困難な状況にあるが、これらの学科の卒業者についても、その能力・適性に応じて大学に進学する機会が実質的にも確保されなければならない。

そのためには、当面普通教育に関する科目に代えて専門教育に関する科目で受験させる、いわゆる代替科目制度の拡充とその活用をいっそう推進するとともに、適当な大学において、高等学校の職業教育を主とする学科における教育の成果を基礎とする教育過程の開設を図ることについて検討する必要がある。

なお、2—(2)に提案した共通学力検査が実施された場合の職業教育を主とする学科の卒業者の取り扱いについては、さらに検討する必要がある。

(2) 国立大学一期・二期制度について

国立大学一期・二期制度については、志願者の国立大学受験の機会を一回に限定しないという趣旨をじゅうぶんに尊重しつつ、共通学力検査の実施等の選抜方法改善との関連、国立大学協会における審議状況等をもにらみあわせながら、今後なお慎重に検討する必要がある。

(3) 大学入学者の選抜期間について

現行の大学入学者選抜の期間については、高等学校教育の完成が入学者選抜によって妨げられることのないよう、比較的短い期間とされている。

大学が、各種の選抜資料を綿密に検討し、より妥当な選抜を行なうようにするためには、じゅうぶんな時間的余裕をもつことが望ましく、入学者選抜の期間および期日の問題についても、高等学校教育との関連を考慮しつつ、今後慎重に検討する必要がある。

25. 国立大学入学者選抜期日の一元化について

昭和50年3月26日 大学入学者選抜方法の改善に関する会議

本改善会議は、国立大学入学者選抜期日の一元化について、関係各方面の意見を十分考慮しながら慎重に検討を進めてきた結果、次のとおり意見をとりまとめるにいたったので、報告する。

1. 国立大学の入学者選抜は、新制大学発足以来1期校と2期校に分かれて実施されており、本改善会議も国立大学への受験の機会を複数にできるという長所を評価してきたところである。しかしながら、1期校と2期校の区分が20数年の長期にわたってほとんど固定されたまま現在にいたっているため種々問題を生じており、国立大学の大多数も1期・2期制の一元化を求め又はそれを支持するにいたっている。

私立大学の比重の増大等に伴い、志望校の選択について受験生の意識が変化してきたこと、1期校と2期校とで専門分野に大きな差があるため必ずしも受験生の志望を適切に生かすことになっていないこと、更に1期校と2期校に重複して合格する者があることが国立大学において相当数の欠員を生じ、また地元入学者を減少させる要因となっていることなどを考慮すると、国立大学側の意向に反して1期・2期制を継続することは必ずしも適当とは言い難い。

この際、入学者選抜方法の改善を総合的に推進していく中で、国立大学入学者選抜期日を一元化することも一つの適切な方策と考えられよう。

2. しかしながら、国公私立大学を受験する人員のうち約20%（約15万人）の者が1期校と2期校を併願していると推定されており、国立大学の入学者選抜期日の一元化がこれらの受験生、家族及び一般社会に及ぼす影響はかなり大きいと考えられる。また、高等学校の進学指導のあり方にも大きな影響を及ぼすであろう。

従って、一元化を図るに当たっては、受験生がそれぞれの能力・適性に応じて志望を生かせるよう、大学は一元化によって生ずる時間的余裕を生かして一層適正妥当な選抜を行うため更に努力する必要があり、高等学校においては更に進学指導の充実に配慮する必要がある。これらの配慮については、共通学力検査を活用することにより相当の成果を期待できるものと考えられる。

3. 以上の点を考慮すると、選抜期日の一元化は共通学力検査の実施と関連させて行うことが望ましいと考えられるが、共通学力検査は現在なお検討中であるので、現実的な方策としては、選抜期日の一元化について相当の予告期間（昭和53年度大学入学者選抜からの実施を目途とする）を設けることとし、この予告期間との関連において共通学力検査の実施を推進することが適当であろう。

以上の措置を通じて受験生が真に能力・適性に応じた大学選択ができるようにするためには、さきに本改善会議が報告した諸施策を総合的に推進するとともに、それぞれの大学の特色ある発展を図っていくことが基本的に重要であり、この際、政府をはじめ関係者の一層の努力を要請したい。

## 26. 全国共通第1次試験に関するまとめ

昭和47年9月14日 国立大学協会入試調査特別委員会

入試調査特別委員会は、全国立大学における全国共通第1次試験の可否、方法の検討を目的として発足し、昨年3月10日の第1回以来、18回の委員会、小委員会を開いた。これはこれまでの討議の結果を整理したものである。

### 1. 全国共通第1次試験の基本構想

(1) 原則として、各大学・各学部の性格に応じた第2次試験を行なうことを前提として、大学の受験生に全国共通の第1次試験を課する。

(2) 共通第1次の試験期は12月または1月頃、試験日数は2、3日程度とする。

期日は各大学で行なう第2次試験期日（1期校3月上旬、2期校3月下旬）を基準として、共通第1次試験の採点、集計、整理、各大学への通知等に要する日数を考えて逆算して決めたものである。

(3) 受験生は、1期校・2期校ともに、共通第1次試験以前に志望大学へ願書を提出する。

(4) 共通第1次試験は少なくとも5教科とする。教科は各大学共通とし、科目指定を行わず、教科内科目は受験生の選択とする。

昭和48年度から高校教育は新教育課程によるので、生徒の取得単位は大幅に選択制になる。したがって、科目指定は一部の受験生を拒むおそれがあるからである。

(5) 出題には低水準の問題から高水準の問題まで含める。各大学には問題番号別の点数まで通知する。大学又は学部の方針によって、自由に問題の全部又は1部を利用できるよう考慮した。

(6) 共通第1次試験は、入学試験の1部であり、なお、その結果を進学指導に利用させるものではないので、試験の結果は志望大学のみ通知し、本人および高校には通知しない。試験の結果を進学指導に利用することは、大学および高校の格差を助長するおそれがあるからである。共通第1次試験で足切りをする場合、共通第1次試験の合格者をなるべく早く公表するとともに本人に通知すべきことは当然である。

(7) 毎年その年の国立大学入学志望者全員に受験させる。

(8) 試験問題の作成および選定には、多くの大学から作成委員および選定委員を選出し、その委員は毎年半数交代として、問題の傾向の固定化を防ぐ。

(9) 予備問題を作成しておき、病欠欠席者および試験実施の際事故の生じた場合の受験生に対して、

期日を改めて追試験を行なう。追試験の点数は原則として最初の試験の点数と同等に扱う。

(10) どの大学の志望者も各居住地地域の試験場で受験できる。

(11) 膨大な数の答案の採点，集計のために，電子計算機を使用しなければならないので，試験は客観テスト（いわゆる〇×式）たらざるを得ないが，今後の研究によって，従来批判されているような客観テスト（〇×式）の欠点が除かれる希望はある。

(12) 共通第1次試験の問題作成，試験実施，採点，集計，成績の送付等のため相当多数の常勤職員を擁する機関，例えば国立大学の共同利用機関あるいは，法人格の民間団体等を必要とする。試験期以外には，試験問題の分析・研究等を行なう。

(13) 共通第1次試験の実施にあたっては，大学・高校の協力を必要とする。

この協力は，共通第1次試験をする際の試験事務，試験監督，試験場確保などを意味する。

(14) 各大学においては，第2次試験に際しての試験科目の減少，場合によっては受験者数の制限（足切り）の行なわれるところもあり，共通第1次試験，第2次試験を合わせても，入学試験に関する労力は現行にくらべ必ずしも増大しないであろう。なお，共通第1次試験の経費は別途まかなう。

(15) 試験実施における事故に対する法的，行政的責任の所在を明らかにしておく。

## 2. 共通第2次試験結果利用方法

(1) 共通第1次試験の結果は，各大学で行なう第2次試験の結果と組合わせて評価するのを原則とし，組合わせの方法は各大学の自由である。各大学の組合わせの方法は原則として公表しない。

(2) 志願者の非常に多い場合は共通第1次試験の結果で第2次試験の受験生の制限をすることもできる。その場合残った者の合否を第2次試験の結果のみから決めることは，共通第1次試験および第2次試験の組合わせによってはじめて良い評価ができるという趣旨から望ましくない。

(3) 第2次試験を行わず，共通第1次試験の結果のみで合否を決定することもできるが，上記の理由で望ましくない。

(4) 調査書の取り扱いについては，別途に考える。

## 3. 共通第1次試験を用いる方法の利点

(1) 共通第1次試験および第2次試験の組合わせによって，適切な評価ができる。すなわち，共通第1次試験では主として高校における学習の達成の程度を評価し，第2次試験は主として総合力，思考力等を評価し，さらに専門に対する適性をしらべて，それらを組合わせて評価するからである。

(2) 共通第1次試験の問題は衆知を集めて作成するので、機械的処理をする制約はあっても現行試験問題よりも良い問題ができると考えられる。現行の各大学での問題作成においては、従来出た問題を避けるなどのために自然不適当な問題も出さざるを得なくなり、ひいては受験技術的問題となり、高校を予備校化する結果となり高校教育をゆがめることになっている。共通第1次試験の問題は、1年に1組でよく、問題が作り異く、衆知を集めるので高校教育をそこなうような問題は除かれ、毎年委員が半数交代をすることによって、問題の傾向が固定化することが防がれる。したがって、受験生の高校における平素の学習の実力が表われ、受験準備で左右されにくい試験となり、これに各大学における綿密な第2次試験が加わることによって、現行の入学試験が一発勝負であり、その成績と入学後の成績との相関が低いという欠陥は解消する。なお昭和48年度から、高校の学習課程が多様化しようとしており、その精神を生かした出題は1校のみではさらに困難になる。

(3) 多人数の受験生のある場合、限られた期間内で採点するためには、良い問題を出したくとも出せないで、結局客観テスト(○×式)たらざるを得ないのが現状であるが、共通第1次試験で足切りを行なうこともでき、したがって、綿密な第2次試験を行なうことができる。

(4) 各大学で行なう第2次試験は試験日数、科目数を減ずることができ、大学の立場での出題採点が容易であり、入試の労力も減ずることもできる。

#### 4. 今後の方策

以上調査研究の結果、今後さらに次の諸点について検討する必要がある。

##### (1) 研 究

(a) 採点に電子計算機が使用でき、しかも従来批判されているような客観テスト(○×式)の欠点が除かれた“良い問題”を作るという研究をしなければならない。

2～3年を目標にこの研究を行なう。

(b) 各教科につき専門委員会を設ける。専門委員会の委員長の属する大学から文部省に研究費を要求し、国立大学協会があっせんする。

(c) 国立大学附置共同利用入試研究センターを設置する。これが設置された場合(b)の専門委員会は、このセンターに属せしめる。

(2) 共通第1次試験の大規模の実施機関については今後さらに検討する。

(3) さしあたり、共通第1次試験を希望する大学が各地区にわたって相当数ある場合には、それらの大学が連合して共通第1次試験を実施する。その場合、出題、採点には当該大学以外の教官が応援す

るよう国立大学協会があっせんする。この場合の出題は、その採点が必ずしも電子計算機にかかるものでなくてもよい。入試費用の従来以上の増加分は当該大学から文部省に要求し、国立大学協会があっせんする。

入試研究センターが設立されていれば、それを通じて他大学教官の応援をうけることができる。

〔附録〕

基本構想により予想される各国立大学ごとの入学試験全体の様態（概要）

「まとめ」1の基本構想にしたがって、全国立大学が第1次試験を共通問題で行なうことになった場合、受験生、高校側および大学の教職員それぞれの立場から見て、大学の入学試験（共通第1次試験、第2次試験を含めて）が、どのような様態のものとなると予想されるかその概要を述べておく必要がある。

〔1〕 受験生の側から見た場合

(1) 出題受験生は、国立大学のうち、その志望する大学に対して、共通第1次試験の前に出願する。

1) 出題期日：概ね12月1日～10日の頃となろう。

2) 出願大学数：現行の1期2期制が続くかぎり、1期校から1大学、2期校から1大学を選んで出願できる。出願手続はそれぞれの大学に対して別個に行なう。

3) 受験票：出願に対して、各大学の第2次試験の受験票と、そのほかに、共通第1次試験の実施機関から共通第1次試験の受験票とが送られてくる。

(2) 受 験

1) 共通第1次試験：居住地またはその近傍の試験場で受験する。

共通第1次試験の教科内科目の細部については現在、未検討である。

2) 第2次試験：志望大学の所在地で受験する。大学によっては、志願者が極端に多数であった場合などに、第2次試験の受験資格を制限（足切り）することがありうる。第2次試験のための日程、その他の通知は、出願した大学からなされる。

(3) 合格通知 特別の事情で第2次試験の受験資格を制限する大学の場合を除き、共通第1次試験の合否は通知（または公表）されない。第2次試験の結果を含めての合格、不合格の発表（または通知）は従来通りである。

(4) そ の 他



1) 共通第1次試験の内容：前述のように細部は未検討であるが、一般的にあって、高校における学習の成果を知るためのもので、平易ではあるが広範囲の内容を含むことになろう。多数の受験生の成績を処理する必要から、解答を電算機で処理できるよう工夫がなされた出題となる。しかし、恐らく世間でいわれているような、単純・素朴な形での○×式ではないであろう。

2) 第2次試験の内容：これは各大学または各学部で独自の科目、独自の形式をとることになる。一般的には何ともいえない。しかし、少なくとも、共通第1次試験の教科・科目そのままや、その中の若干について、いくらか程度を高くした内容のものに終ることは稀であろう。特殊な学部では、第2次試験は実技試験だけということもありうる。

## 〔2〕 高等学校側から見た場合

高等学校の教職員から見た場合、国立大学が共通問題で第1次試験を同一期日に行なっても、出願のための書類作成などの仕事には、ほとんど変化はないであろう。

調査書の作成は、従来通りか、あるいはむしろさらにおそい時期（例えば2月末）になることも考えられる。

公私立大学への併願などに伴う進学指導も従来と大差はないと考えられる。

ただし、国立大学に関しては、従来1期校のなかの複数大学、2期校のなかの複数大学へ一応出願しておき、志願者数などの状況を見て実際の受験大学を決定する、といったことはできなくなるので、その点ではむしろ事務量は減少するといえる。

## 〔3〕 大学の教官側から見た場合

### (1) 共通第1次試験のための労力

1) 出題：全国立大学の教官の中から出題委員を出して委員会を構成して行なうので、各大学からは1～2名程度ということになろう。

2) 採点：電算機による処理を考えざるを得ないから、採点のための労力は皆無である。

3) 実施：受験生が居住地で受験する方法であるから、必ずしもそれぞれの大学を志望している者だけではないが、しかし、全国立大学の協力による試験であるので、直接の実施担当者は各国立大学の教官が主体となるべきである。実施機関の併任の形で、高校の教官の協力も得て、受験場の設営、管理等をすることも考えられる。

### (2) 第2次試験のための労力

1) 出題・採点・第2次試験は、各専門分野への適性を判定することが主たる目的となるから、多くの場合、試験科目の選定、出題、採点、結果の判定等は学部単位で行なわれることになろう。教養部の設置されている大学では、教養部教官の応援を求める学部も少なくないこととなろう。

2) 実施：大学全体として、すべて同一科目の試験を行なうというのは単科大学の場合が主となるから、実施方法は従来とは異なったものとなる。

3) 合否判定：共通第1次試験の成績の取扱い、第2次試験の成績の取扱い、調査書等の取扱いなど、すべて十分に検討しておく必要があるが、従来の労力に比べて特に増大するとは考えられない。

#### 〔4〕 大学の入試事務担当者側から見た場合

(1) 共通第1次試験のための事務——大約次のような事務が考えられる。

1) 出願の受付：出願を受け、そのコピーを共通第1次試験の実施機関に送付しなければならない。

2) 実施事務：所在地の受験場の確保（もしあれば同じ所在地の他の国立大学と協力して）実施体制の整備、問題用紙の受取りと保管、解答の保管と発送。

3) 共通第1次試験成績の処理：実施本部から送付された成績を、大学または学部の方針に従って、換算または選択集計する。第2次試験の受験制限をする場合には、判定結果に基づく、本人への通知。

(2) 第2次試験のための事務——大学全体としての事務がそのままの形でどれだけ残るかは一般的には決められない。

1) 試験問題の印刷等

2) 試験場の準備

3) 合否判定資料の整備

4) 合格者の発表

などは恐らく共通部分として残るであろう。

(3) 共通第1次試験および第2次試験を行なうことに伴う事務上の変化。

1) 調査書の受付：大学への出願の時期（12月頃）に調査書を提出させることには無理があるので、調査書は、共通第1次試験の成績が判明する頃までに提出させればよく、そのため、受験生の出身高校との間に連絡等の事務を別途行なうこととなろう。

2) 健康診断の時期等：調査書と同様、診断書の提出は別に行なわなければならないであろう。また、大学で健康診断を実施する場合にも、時期等に検討の要があろう。

## 27. 国立大学入試期一本化に関する参考資料

昭和49年 4月 国立大学協会入試期特別委員会 第二常置委員会

### まえがき

入試期特別委員会、第2常置委員会の合同委員会が昭和48年に行った入試期（Ⅰ期Ⅱ期制）の改善に関するアンケート調査の結果をふまえた委員会報告が、第53回総会において行われた。この総会の席上で多くの大学から入試期一本化の意見が述べられ、早急に結論を出すべきだとする強い発言もあった。合同委員会はこの総会の意向にそって更に検討を進め、再度アンケート調査を行い、次期総会までに何等かの結論に到達するよう努力することを確認した。

本資料は、国立大学の入試期を一本化するについて、在来の2回制と比較しての特徴、長短の諸点を整理したものである。

### 内容の項目

#### A. 現行2回制の特徴と問題点

1. 長所及び利点
2. 短所及び問題点

#### B. 全国1回制の特徴と問題点

1. 長所及び利点
2. 問題点

#### 註 その他の方法について

1. 組み替え2回制
2. 自主選択2回制
3. 完全自主多数回制

#### A. 現行2回制の特徴と問題点

##### 1. 長所及び利点

1) 現行のⅠ期、Ⅱ期制は、20数年間継続されてきた制度であり、入試業務を国立大学として慣行的に現状のまま維持してゆくことは、消極的な長所といえないこともなからう。

2) 高校側においては、従来から定着した制度であるし、2回の受験の機会があり、進学指導も、現

状のまま継続することが出来るであろう。

3) 上記の2)のことは、現今の受験生にとっても、2回の受験の機会があるととも、現状維持という面から受験対策をたてやすいことは否定し得ない。しかし、それ以上の利点は、積極的にみとめにくい。

2. 短所及び問題点

1) 現行のいわゆるⅠ期校、Ⅱ期校においては、法学部をはじめとして、文、教育、理、医、薬、歯学部において、著しい偏りがあること。(附表1)

2) 地域性においても、現行では、Ⅰ期校、Ⅱ期校の大学数が不均衡であること。(附表2)

(附表1)

学部 期別	教	文	文	人	文	教	教	法	社	法	政	経	経	商	外	理	理	医	歯	薬	
	養	理	文	文	育	育	文	会	経	経	管	語	工	国	工	工	工	工	工	工	工
Ⅰ期計	1	□	□	2	1	□	15	4	1	□	1	10	1	1	—	□	1	□	□	□	□
Ⅱ期計	1	□	—	□	—	—	□	2	—	—	—	10	1	1	□	7	2	10	1	1	1
合計	2	4	11	7	1	7	47	6	1	9	1	20	2	2	2	25	3	28	7	12	12
学部 期別	工	基	電	鉄	農	園	織	畜	水	水	工	芸	美	音	体	家	商	保	人		
	基礎工	礎	気・通信	山	山	芸	維	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産
Ⅰ期計	21	1	—	—	16	1	—	1	—	1	□	—	1	1	1	1	□	—	1	1	1
Ⅱ期計	20	—	1	1	14	—	□	—	1	—	1	1	—	—	—	—	—	□	—	—	—
合計	41	1	1	1	30	1	2	1	1	1	5	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1

(注) □印はⅠ期、Ⅱ期学部数間に著しく差のある学部を示す。  
筑波大学は数に含まない。

(附表2)

地区 期別	北海道	東北	関 東 甲 信 越	中 部	近 畿	中 国 四 国	九 州	計
Ⅰ期	1	2	10	3	4	5	6	31
Ⅱ期	5	6	13	6	8	4	5	47
計	6	8	23	9	12	9	11	78

(昭和49年3月現在)

3) 全国都道府県に1つ以上の医大または医学部を設置する現状は入試応募学生にある程度の地域性を求め、医師の地方分散を願ってのものと思われるが、Ⅰ期校に比しⅡ期校では受験者の過半数が応募するだけでなく、Ⅱ期校で地元学生の入学の率が甚だしく低下する傾向があり、卒業後は大学設置の趣旨の一つとする地域性に拘らず全国に分散してしまう結果となっている。

4) 大学側の入試業務上、次の2点が主な問題点として指摘することが出来る。

a) 現行制度においては、Ⅱ期校において出願者数に比して、実受験者数のひらきが極めて大きい。(昭和48年度調査によれば、欠席率平均33.9%、最高64.8%、最低16.5%)

この現象は、最近、例年の傾向であり、試験場の確保や入試準備業務に不合理な点が多い。

なお、また、特定大学や特定学部(主として医科系)においては、この傾向のために、受験生の宿舎の問題も軽視出来ないようである。

b) 現行制度では、合格者のなかから入学辞退者が可成りの数にのぼり、欠員補充など業務上の複雑さを伴っている。これは、Ⅱ期校において、特に顕著であり、また、一部のⅠ期校においても、後述するような受験生の学部選択における現象から、同様な傾向があり、某大学のある学部では、時に3分の1の欠員補充が必要であったということである。

なお、可成りのⅡ期校においては、予め、補欠入学予定者を決めておいても、なお、欠員を定員まで補充出来ないような傾向もあるという。

さらに、入学式における入学者の確定後の欠員補充も、ただ他大学への入学者を補充大学へ移動させる結果となる可能性があり、現行制度のもとでは、国立大学全体としての欠員をうめることの困難が予想される。

(昭和48年4月14日付、文部省より、国民の大学教育に対する要求にこたえるため、国立大学の基本的責務の一つとして補欠入学等の措置により、入学定員どおり、入学者を確保することの配慮の要望がなされたことは周知の通りである)

5) 現在、通称Ⅰ期校、Ⅱ期校と呼称されているが、これは、国立大学として、本質的意義をあらわすものでない。

しかしながら、近年、ややもすると、国立大学間の格差を示すような社会的通念が定着化し、受験生にとっても、或いは、入学後の学生の学習意欲、更に、就職等の将来の社会人としての活動の面においても好ましからざる社会的、心理的影響を与えている。

6) 受験生においては、本来、大学進学に際しての大学の選択、学部或いは、専攻学科等の選択は、本人の能力、適性、家庭事情等の諸条件によってなされるべきであろう。

しかしながら、近年、大学進学率の向上に伴い、ややもすると、特定大学への合格の可能性を主たる選択条件にするため上記の諸条件を無視する傾向がある。

このことは、受験生の側のみならず、高等学校における進学指導に際しても、通例化している現象のようである。

これは、現行のⅠ期校、Ⅱ期校においては、2の1)で述べたように、可成りの学部にいちぢるしい偏りがあるために、ある程度、止むを得ないことかも知れない。

しかしながら、極端な例では、Ⅰ期校では、文科系或いは、理工系で受験し、Ⅱ期校では、理工系或いは医科系（この逆もありうるが）を受験する傾向は、決して少なくないようである。このことは、A-2-4) -b)で指摘したように、大学側の入試業務に種々な影響を与えているのみでなく、学生にとっても、入学した学部、学科が必ずしも、本人の希望に合致したものでない場合が少なくない傾向を生むことになり、入学後の大学における学生生活、学習意欲において、好ましからざる傾向を助長しているとみることが出来る。

7) なお、また、高等学校においても、Ⅰ期校、Ⅱ期校の進学率の優劣をもって、学校そのものが評価される傾向があるとし、進学率を高めることを競うあまり、進学指導等において、現今、社会的にひろく憂慮されているいわゆる受験競争の苛烈化を不当に促進している傾向があることは否定し得ない。

8) 以上6), 7)の条件とも関連し、自己の希望に基づいて進学する大学・学部を自主的に決定するという、高校教育の段階では、すでにきわめて重要だと思える教育要因の軽視が、現行制度のもとではますます助長される。

## B. 全国1回制の特徴と問題点

### 1. 長所及び利点

1) 国立大学全体としては、現行制度にみられるⅠ期校、Ⅱ期校の学部の偏り、地域における大学の偏りは、一切解消される。

2) この1回制が定着すれば、Aで述べたような国立大学におけるⅠ期校、Ⅱ期校といわれるような国立大学間の不当な格差とみられる社会的通念は、漸次、是正、解消されるであろう。

3) 大学側の入試業務上からみると、次の主なる2点が利点として指摘することが出来る。

a) 1回制になれば、A-2-4) -a)で指摘したように従来、ことにⅡ期校の一部の大学或いは、特定学部（医科系）にみられるような志願者数の集中、及び実受験者数とのズレなどは、可成り減少、

或いは解消されることが予想される。例えば、現行制度では、医科系でみると、Ⅰ期校では、例年、5～7倍程度の競争率であるにもかかわらず、Ⅱ期校では、15～30倍程度の競争率を出願締切時に示している。

これは、Ⅰ期校、Ⅱ期校における医学部の偏在もあろうが、受験生の学部選択の非一貫性の一つの現象を示しているともいえよう。

1回制となって異常な競争率が解消され、また、入試期日に余裕を生ずることによって、ただ1回の入試成績のみでなく、各種の資料を充分参考にして、各大学の特色を生かした合理的な合否の判定をすることも実際に可能となってくる。

b) 全国1回制になれば、A-2-4) -b) で述べた欠員補充業務の繁雑さは、大幅に減少することが予想される。私立大学と併願している受験生があるので、ある程度の欠員補充業務はさげられないであろうが、国立大学間では、解消されると考えられる。

即ち、入学定員の充足が現行制度よりもはるかに容易になるであろう。

4) 高等学校及び受験生側からみると、次の2点を指摘することが出来る。

a) 高等学校においては、進学指導に際してA-2-6) で指摘したように、学部選択において、Ⅰ期校、Ⅱ期校ごとに、一貫性のない受験指導を行なうようなことがなくなり、志望の大学、或いは学部、専攻学科の選択の指導がより適正化されることになるであろう。

b) 受験生においても、志望大学、学部の選択に際して、自己の能力、適性、家庭事情を配慮し、従来以上に慎重に検討し、進学コースを自主的に決定するという態度が助長され、現行制度のように、Ⅰ期校、Ⅱ期校で志望学部や学科が異なるような不安定なとまどいも減少し、安定した受験準備がなされることになるであろう。

また、入学後も、A-2-5) で指摘したように、学生生活や学習意欲の面で、不本意な心理的狀態をもちつづけることが減少し、大学側にとっても、教育上好ましい傾向が漸増するであろう。

## 2. 問題点

1) 大学側において予想されることは、次の4点である。

a) 入試期日は、充分検討の上、2～3年前に予告して、実施されることになろうが、学力試験問題などの印刷業務の集中が考えられる。

b) 次に入試期日の変更される大学があることになるので、試験場の確保など予め関係各方面への折衝の必要があろう。

c) 国立大学のなかには、全国1回制によって、一部の大学で募集定員に満たない場合があるかも

知れず、第二次募集の必要が予想されるが、近年の大学進学率の増加の趨勢からみて、このような事態は、極めて近い将来解消されるものと推察される。

d) また、一部の大学では、入学者の質の一時的低下が心配されるかもしれないが、進学コースの健全且つ自主的選択の見地から考えれば、これを質的低下と一概には言い切るわけにはいかない。むしろ、1-4)-b) のように本人ならびに大学にとって教育上好ましい傾向だといえることができる。

2) 高等学校においては、国立大学の受験生が一時期に集中するので、出願書類などの業務が一時的に集中することが予想される。

3) また、進学指導の面では、さきに述べたように、適正化の傾向が増加すると考えられるが、現行制度と異なるので、数年間は、多少の混乱がみられると思われる。

4) 受験生側にとって、最も大きな問題点としては、国立大学の「受験の機会が1回だけ」になることである。

しかし実際は「2回のチャンス」というみかけにもかかわらず、2回制によって受ける利益は受験生に平等ではない。

国立大学の入学定員総数が一定であり、一つの大学への合格者が他の大学への合格の資格を制限されない限り、学力試験に有利な能力（これを「学力」とよぶことにする）をもつものほど、二つの国立大学に合格できる確率は高くなる。

従って「学力」の高いものは二つの大学に合格してそのいずれかを選択できる自由があたえられる反面、境界線上にある受験者にとっては、そうでなければ本来合格しうる席があったのに、それを奪われることになり、「学力」の低いものにとっては、受験の機会はあたえられても入学の可能性はますます低くなる。しかも「学力」の高いものが二つの大学を受験する数が多いほど一層不利益をうけるという結果になる。

そしてその傾向は、2回制の組み替え案におけるように、Ⅰ期とⅡ期における学部・学部の偏りや、地域の偏りが合理的に配分されればされるほど増大する。

従って、2回制は「学力」の高いものに過度に有利な試験制度であるということになる。

さらにこの欠陥は欠員補充が不完全であればあるほど増大する。こうして、その意図とみかけにもかかわらず、「学力」の高いものに有利な2回制は受験競争の激化をうながす一つの原因となると考えられる。



〔註〕 その他の方法について

1. 組み替え2回制

この案は、昭和47年1月にアンケート調査を実施したが、過半数の賛成が得られず、現実には不可能であるとして総会で否決されている。

この方法は、現行制度の欠点としてA-2-1), 2)に述べたようなI期校, II期校における学部  
の偏り, 地域における大学の偏りを是正し, 前期, 後期に再配分し, 3年程度ごとに交代する組  
み替え案である。

1) 長所及び利点

a) 国立大学全体としてみると, A-2-1), 2)で述べた学部, 大学の偏りは, 是正されるの  
で, 現行制度の不合理さは取除かれる。

また, A-2-5)で述べたI期校, II期校という国立大学間の格差を示しているようなあやまっ  
た社会的通念は, 取除かれるであろう。

b) 受験生の側からみれば, 2回の受験の機会をもつことが出来るとともに, 大学の選択, 学部,  
学科の選択において, 現行制度以上に, 自己の能力や適性或いは, 将来の職業などを考慮して, より  
ふさわしい選択を行なうことが可能となるであろう。

また, 前期, 後期に希望学部がほぼ均等に配分されるであろうから, 同程度の大学の同じ学部を受  
験する機会に恵まれるであろう。

2) 短所及び問題点

この方法は, 大学側の入試業務上において, 現行制度以上の困難が予想される。

受験生にとっては, さきに述べたように, 自己の能力, 適性にふさわしいと思われる同程度の2つ  
の大学を受験する機会に恵まれることは, 望ましいことであろうが, 大学側にとっては, 両者に合格  
しても, 入学の際, 一方の大学を選択するので, 他方は, 欠員補充を行わなければならない。

このことは, さきに述べたように, 現行制度においても, 入試業務上, 大きな困難点になっている  
が, 組み替え方法をとる場合は, 国立大学全体が同様な事態にさらされることになる。

即ち, 合格者の入学手続完了まで, 入学者数がわからず, その後の欠員補充業務は, 現行制度以上  
に複雑且つ広範囲化することが推察される。

これを防止する方法として, 前期の大学に合格した者は, 後期の大学の受験資格がないとするか或  
いは, 後期校に合格しても無効であるという措置が考えられるが, 法的規制或いは, 制度化すること

は、法律的に困難であるとされている。

## 2. 自主選択2回制

国立大学の入試期日を、前、後期2回に定め、各大学が自主的にいずれかを選択する方法について。

この方法の長所は、受験生が2回の受験の機会をもつという利点を生かしながら、国立大学の自主的な判断によって入試期を決定するという点である。

しかしながら、従来から実施されてきたいくつかの入試期に関するアンケートの結果等から推察されることは、前期に実施する大学の数が大多数を占めることになることである。即ち、全国1回制に近い形態になろう。

従って、後期に入試を実施する大学は、出願者の激増による入試業務上のいくつかの困難点が増加し、それは、現行制度の場合をはるかに上まわることになろう。

## 3. 完全自主多数回制

国立大学の入試期間（例えば、1カ月間）を定め、その期間内において、各大学が自主的に実施期日を決める方法について

この場合、各大学の入試期日を頻繁に変更することは、望ましくないので、ある程度、各大学が固定化する必要があろうし、また、変更の際にも、少なくとも2年以上の余裕をもって予め公知することになろう。

この方法の長所、利点は、国立大学が自主的に実施期日を決める点、更に、受験生側にとっては、国立大学を受験する機会が現行制度の2回よりも、多くなる可能性を含んでいることである。

しかしながら、このことは、既に述べたように、受験生の大学、学部の選択をより一層不適正化し、受験校の選択を混乱させることになり、現今の受験競争諸現象を国立大学が一層増加させる役割を荷うことにもなりかねないであろう。

なお、大学側においても、合格者のなかから入学辞退者は、不確定要素をますために、現行制度より一層増加することが予想され、欠員補充などの入試業務上の煩雑さは、既に述べたいくつかの方法以上になることはまぬがれないであろう。

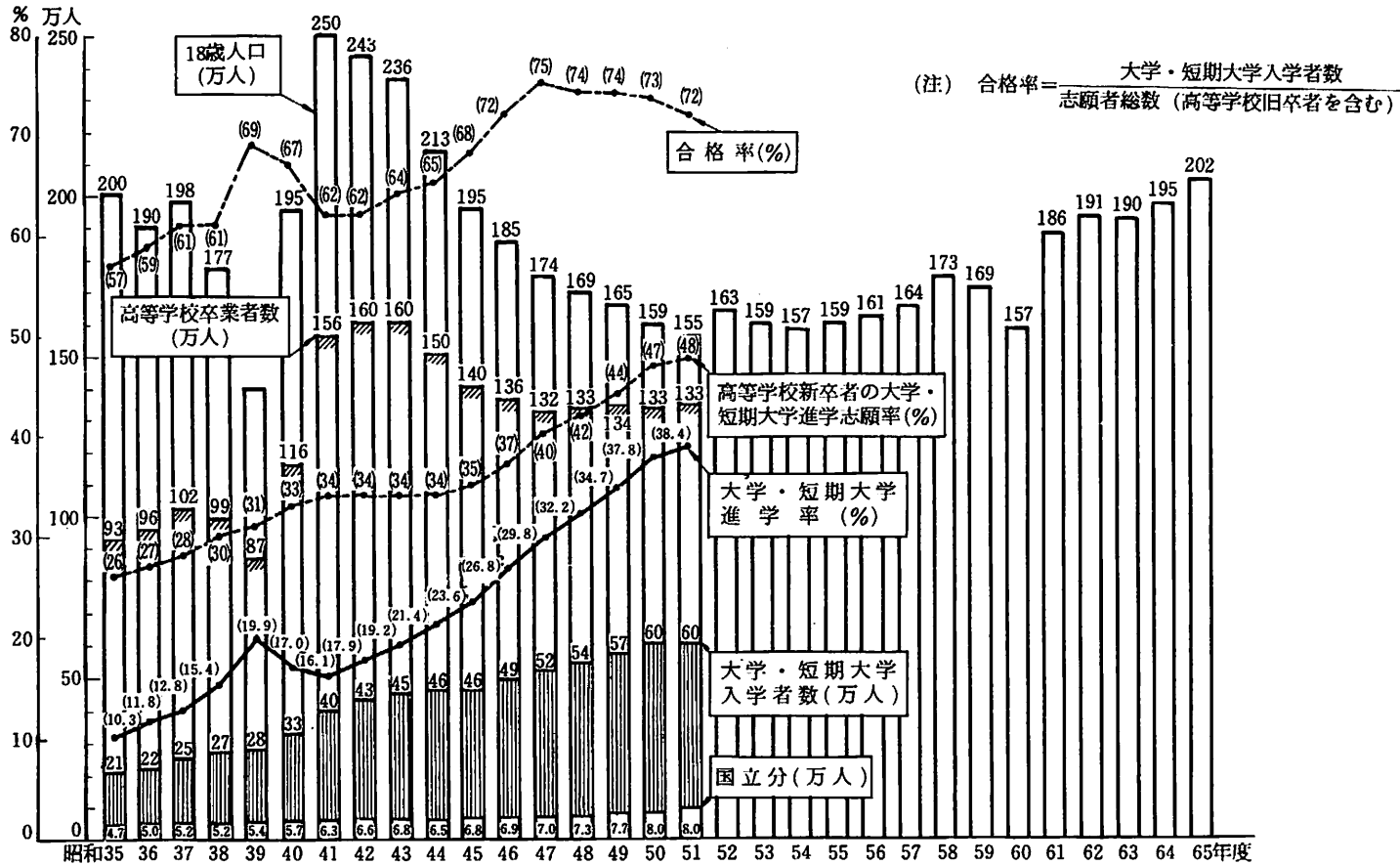
28. 大学進学状況

年度	高校卒業者数 前年度3月	大学入学志願者			大学入学者	合格率	同1年令層対比
		新卒	浪人	計			
昭和35年	934	242(26.0)	117	360	205	57.1	10.3
40年	1,160	386(33.3)	108	493	330	67.0	17.0
45年	1,403	486(34.6)	191	677	460	67.9	23.6
46年	1,360	498(36.6)	186	684	494	72.2	26.8
47年	1,319	518(39.8)	177	695	518	74.5	29.8
48年	1,326	554(41.7)	183	737	544	73.9	32.2
49年	1,336	591(44.2)	179	770	572	74.2	34.7
50年	1,327	628(47.3)	194	821	599	72.9	37.8
51年	1,325	632(47.7)	202	834	595	71.4	38.6

年度	大 学			短 大		
	入学志願者	入学者	倍率	入学志願者	入学者	倍率
昭和35年	794,959	162,922	4.9	87,160	42,318	2.1
40年	1,203,337	249,917	4.8	171,135	80,563	2.1
45年	1,943,207	333,037	5.8	252,699	126,659	2.0
46年	1,952,684	357,821	5.5	264,400	136,392	1.9
47年	1,975,590	376,147	5.3	270,217	141,631	1.9
48年	2,071,285	389,560	5.3	299,565	154,771	1.9
49年	2,320,113	407,528	5.7	329,360	164,077	2.0
50年	2,733,072	423,942	6.4	379,166	174,930	2.2
51年	2,794,518	420,616	6.6	391,669	174,683	2.2

大学名	入学志願者数	入学者数	倍率	備考
東京大学	12,891	3,038	4.2	
京都大学	9,939	2,503	4.0	
東京工業大学	4,165	772	5.4	
一橋大学	6,143	815	7.5	
早稲田大学	142,262	8,560	13.4	
慶応義塾大学	57,359	5,920	9.7	

29. 高等教育の規模等の推移



### 30. 高等教育の計画的整備について

昭和51年3月15日

高等教育懇談会

1 我が国の高等教育は、近年、急速な拡大を遂げ、国際的にみても高い普及率を示している。しかしながら、このような高等教育の急速な拡大は、十分な計画性を持って行われたものとはいえないため、地域配置、専門分野構成その他質的な面で種々の問題やひずみを生じていることも否定できない。

2 高等教育懇談会は、昭和47年度以来、今後における我が国高等教育の拡充整備の長期的なあり方について、このような状況に適切に対処することに重点を置いて検討を重ね、毎年度、その検討結果を取りまとめてきた。昭和50年度においては、これまでの検討結果を踏まえ、その後の社会経済情勢の変化、高等教育関係制度の整備等に留意しつつ、今後の高等教育の計画的整備について検討してきたが、このたび、先に発表した中間報告に寄せられた意見も参考として、別紙のとおり、その結果を取りまとめた。

3 もとより、高等教育の計画的整備を図るに当たっては、著しく普及した高等教育のあり方や学術水準の維持向上の問題等、広く質・量両面にわたる検討が必要である。そのため、高等教育全般について、高等学校教育との関係や高等教育機関の入学者選抜のあり方との関連、さらに高等教育修了者の進路等との関連をも含めて総合的に検討を行い、また、大学院の拡充整備等高等教育及び学術の水準の維持向上、私学の振興助成、高等教育費の負担のあり方等の関連する重要問題について検討を深め、これらについて適切な措置を講ずる必要がある。

本懇談会は、これらの問題についての他の審議会等における検討の状況等を考慮し、当面の高等教育の計画的整備の方向を明らかにしようと努めたものである。

4 このまとめにおいては、専門学校等を含めると18才人口の半ばに達する高等学校卒業後の教育の広がりを考慮し、高等教育を通常の大学等に限らず、放送大学、大学通信教育さらに専門学校等をも含めて広く対象とし考察したが、高等教育をめぐる流動的な諸情勢、18才人口の動態、私学の質的充実を図るための私立学校振興助成法に伴う5か年間の新增設の抑制措置等を考慮して、昭和61年度を目標年度としつつ、計画期間を前期（51年度～55年度）と後期（56年度～61年度）に区分し、当面、主として量的側面から前期における計画的整備の方向と内容を明らかにすることとした。

5 この前期の計画においては、特に、高等教育の将来の発展のための基盤整備を図る観点に立って、質的充実を図ることに配慮しつつ、高等教育全体の構造の柔軟化、流動化の必要性を指摘するとともに

に、大学及び短期大学については、大都市への集中を抑制し、原則として、その拡充は地域間の格差や専門分野構成の不均衡の是正と人材の計画的養成に必要なものととどめることとした。

これにより、国公立については、今後において具体的整備を進めるに当たっての方向と目途を示し、また、私立については、定員超過の是正等質的充実の方向と新增設の認可に際し参酌されるべき条件を示そうとしたものである。

6 なお、後期の計画については、前期における整備の状況、社会経済情勢の変化、高等教育に対する国民や社会の需要動向の推移等を考慮して、将来、適当な時期に検討することとした。

7 今後、高等教育機関の拡充整備や関連する諸制度の整備について、このまとめの趣旨が十分に生かされるよう関係各方面において適切な措置が講ぜられることを期待したい。

## I 意見のまとめに際し、考慮した諸事項

### 1 昭和48年度、49年度懇談会の指摘事項に留意すること

#### (1) 48年度懇談会報告の要旨

今後の高等教育の拡充整備に当たって、長期的な展望の下に高等教育計画を策定する必要があること、この計画においては、高等教育の拡大の間に生じた各種の格差・不均衡の是正を図るため、高等教育の規模、種類、立地等について指標を定め、これを設置認可、助成さらには教育研究条件の整備等についての施策の指針とする必要があること等を指摘し、計画の目標年度（61年度）、規模の目途（進学率40%に対応し得る規模）、地域配置の想定（各ブロックの進学率、収容力の目途）等を示した。

#### (2) 49年度懇談会報告の要旨

48年度懇談会報告の趣旨を基本的には維持しつつ、高等教育の規模の目途については、放送大学、大学通信教育、高等教育レベルの各種学校をも包含したものととして想定し、計画的に実現すべきもの、自由な進展に委ねるべきものそれぞれの規模の目途をあらためて設定すべきこと等を指摘するとともに、計画期間を前期と後期に分け、前期においては高等教育の質的充実により重点を置き、後期においては計画的な拡充により重点を置くことが適当であること、50年度中に高等教育計画を策定することを目途に今後の作業を取り進めるものとする等を示した。

### 2 昭和48年度以降、次に述べるような事態の推移があったが、このことに十分に対応すること

#### (1) 高等教育の規模、配置等

(ア) 48年度懇談会報告では、61年度の進学率40%に対応する高等教育の規模の実現のために、対48年度189,000人の要拡充数（私立103,000人、国公立86,000人）を見込んでいたが、49年度及び50

年度の実績についてみると、従前と同様な規模拡大の傾向をたどり、既に、大学、短期大学及び高等専門学校の入学者において、各年度とも27,000人、2年間の合計54,000人（うち、私立47,000人）の実員増（定員においては49年度13,000人、50年度12,000人、計25,000人増）をみている。

- (イ) これにより50年度における大学、短期大学及び高等専門学校への入学者数は、608,000人（進学率38.3%）となった。（48年度入学者数554,000人 進学率32.7%）

なお、国公立対私立の入学者数の比率（17.5%：82.5%）及び大学と短期大学の入学者数の比率（国立95%：5%，公立57%：43%，私立68%：32%）には、この3年間ほとんど変化がない。

- (ウ) 49年度、50年度において、進学率はそれぞれ対前年度2.6%、3.0%の上昇をみているが、地域間格差は縮小していない。（48年度では東北ブロック（最低）20%～近畿ブロック（最高）43%、50年度では東北ブロック25%～近畿ブロック50%）

- (エ) 地域間の収容力格差は、やや縮小し、収容率は、48年度から50年度までの間に、甲信越・北陸ブロック38%→41%、四国ブロック41%→46%、関東ブロック165%→162%となっている。

(注) 収 容 率 =  $\frac{\text{当該ブロック所在大学等の入学者数}}{\text{当該ブロックからの大学等への進学者数}}$

- (オ) 大学の専門分野構成においては、各ブロックを通じ、48年度から50年度までの間に、若干ではあるが人文社会系が増加している。

（例えば、東北ブロックの人文社会系・理工農薬系34%・45%→37%・41%、甲信越・北陸ブロックの人文社会系・理工農薬系16%・55%→21%・53%）

- (カ) 48年度から50年度の間、全国に占める東京都23区、政令指定都市の学校数及び在学者数の割合は、それぞれ、38%→36%、61%→58%となり、大都市への集中は若干緩和された。

- (キ) 後記（3）、（エ）、（オ）する私立学校振興助成法及び同法附則による私立学校法の一部改正の施行をひかえ、50年9月末に届出のあった大学学部の学科の新設及び大学、短期大学の定員変更に係る定員増予定数は、約50,000人（49年度9,400人）となった。なお、別途51年度開設予定の大学、短期大学に係る定員増予定数は2,400人である。

- (ク) 各種学校の在学者数は、全体としては漸減しているが（48年度1,246,000人→50年度1,205,000人）、高等学校卒業以上を入学資格とするもの（予備校等を除く。）については増加している。（49年度239,000人→50年度279,000人）

なお、高等学校卒業以上を入学資格とする各種学校のうち、修業年限1年以上のものの在学者数は、50年度において251,000人（入学者数は158,000人）となっている。これを分野別にみると、

和洋裁関係73,000人(29%),看護婦等医療関係48,000人(19%),工業・土木関係46,000人(18%),教員養成関係26,000人(10%),その他58,000人(24%)となっている。

上記の入学者数158,000人は、50年度及び55年度についてみると、それぞれ進学率約10%に相当する規模である。

(2) 社会情勢の変化等

(ア) 経済情勢の変化

48年度懇談会報告は、高等教育経費試算において、64年度までの経済成長率を年率名目18.6%、実質9.2%と見込んだが、その後、経済情勢は急激に変化し、49年度の経済成長率は、名目17.9%、実質マイナス0.2%の状況にあり、今後、我が国の経済はいわゆる安定成長の状態が続くものと思われる。また、国及び地方公共団体の財政事情も厳しい状況の下にある。

(イ) 昭和50年度大学等卒業予定者の就職状況

50年度卒業予定者の就職状況は、目下なお調査中であるが、中小企業からの求人数の増加がある一方、特に大手企業の求人減ないし採用中止がみられ、その状況は、厳しいものとなっている。

(ウ) 高等教育機関への進学該当年令(18才)人口の地域分布

今後の地域間の人口移動が予想されるところではあるが、児童・生徒の地域分布の現状を前提とした場合には、55年度及び61年度における18才人口の地域分布は、次の表のような状況となり、大都市圏における増、その他地域における減の傾向が顕著である。

(単位 千人(%))

地域 \ 年度	48	50	55	61
北海道	98( 5.8)	87( 5.5)	83( 5.2)	90( 4.8)
東北	198( 11.7)	177( 11.2)	155( 9.8)	148( 8.0)
北関東・甲信越	201( 11.9)	183( 11.5)	162( 10.2)	180( 9.6)
京浜・南関東	284( 16.8)	275( 17.3)	335( 21.0)	462( 24.8)
北陸	47( 2.8)	42( 2.7)	41( 2.6)	46( 2.5)
東海	173( 10.2)	168( 10.6)	181( 11.4)	220( 11.8)
京阪神・近畿	223( 13.2)	217( 13.7)	248( 15.6)	320( 17.1)
中国	116( 6.8)	111( 7.0)	103( 6.5)	113( 6.1)
四国	72( 4.2)	67( 4.2)	59( 3.7)	61( 3.3)
九州	281( 16.6)	258( 16.3)	222( 14.0)	223( 12.0)
計	1,693(100.0)	1,585(100.0)	1,589(100.0)	1,863(100.0)
(注)	44年度中学校 卒業者数	46年度中学校 卒業者数	49年度中学校 1年生数による	49年度小学校 1年生数による



(エ) 高等学校進学率は、なお上昇しており（48年度89.4％、50年度91.9％）、進学率の地域間格差の縮小（48年度、東京96.9％～岩手79.6％・沖縄74.7％→50年度、東京96.6％～岩手84.6％・沖縄75.1％）、普通科の増加（48年度60.4％→50年度63.0％）の傾向がみられる。このような状況から、高等学校教育のあり方が問題となるとともに、特に大都市圏においては、該当年令人口の急増に伴い、高等学校生徒急増対策が緊急の課題となってきた。

### (3) 高等教育に関する制度の整備

(ア) 大学院の制度的な基盤を確立するため、49年6月、大学院設置基準の制定と学位規則の一部改正が行われた。

(イ) 50年4月、短期大学設置基準が制定され、短期大学制度の弾力化が図られた。

(ウ) 第75回国会における学校教育法の一部改正により、51年1月11日から専修学校制度が発足し、従前の各種学校のうち、修業年限1年以上で一定規模以上の組織的な教育を行い、所定の基準に適合するものは、学校教育法上の専修学校となり得ることとなった。

特に、専修学校のうち高等学校卒業程度を入学資格とするものは、専門学校と称することができるものとされ、高等教育機関の一種に加えられることとなったことに留意する必要がある。

(エ) 第75回国会において、私学の教育条件の維持向上等を目的として、私立学校振興助成法が制定された（51年4月1日施行）。なお、私立大学等経常費補助金は、48年度の434億円から50年度1,007億円に拡充されたが、今後の私学助成の拡充とその適切な運用が課題となっている。

(オ) 私立学校振興助成法の制定に伴い、その附則によって私立学校法の一部改正が行われ、私立大学の学部の学科の設置廃止及び私立の収容定員に係る学則の変更が新たに文部大臣の認可事項とされ、また、56年3月31日までの間は、文部大臣は、大学設置審議会及び私立大学審議会の意見を聴いて「特に必要があると認める場合」を除き、私立大学・短期大学の設置、私立大学・短期大学の学部又は学科の設置及び私立大学・短期大学の収容定員の増加に係る学則の変更についての認可は、しないものとする旨が定められた。

## II 計画策定の方針

1 昭和48年度以降、以上のような事態の推移があること、及び今後における社会経済の変化、国民の高等教育に対する需要の動向等にはなお予測し難いものがあることを考え、48年度及び49年度懇談会が指摘した全国的、構造的に均衡のとれた高等教育の発展を指向しつつ、61年度を目標年度として、当面、18才人口が増加に転ずる56年度までの間に、今後の高等教育の発展の基盤となる整備を図るこ

とに計画の重点を置くものとする。

2 この場合、大学、短期大学、高等専門学校に限らず、放送大学、大学通信教育、専門学校等をも包含する高等学校卒業後の教育の広がりを通じて、例えば、次のような高等教育全体の構造の柔軟化、流動化を積極的に進めることに特に留意するものとする。

- (1) 短期大学・高等専門学校卒業者の大学への編入学、あるいはこれらの者の大学院における修学について、その機会を保障するよう、技術科学大学の創設など、より積極的、具体的な方途を講ずること
- (2) 放送大学の創設、通信制と夜間制又は昼間制との組合せ、あるいは昼夜開講制等、より弾力的な修学の方式を検討、推進すること
- (3) 一定の限度で、専門学校を含む異なる高等教育機関における修得単位を累積加算する制度の可能性を検討すること
- (4) 単位の相互認定、教員の交流、その他大学間の協力交流をより積極化すること
- (5) 社会人の再就学の機会の拡大、公開講座、その他社会に対する高等教育機関の開放と積極的な活動を促進すること

3 上記1の趣旨により、49年度懇談会報告に従い、計画期間を前期及び後期に区分し、51年度から55年度までを前期の計画期間、56年度から61年度までを後期の計画期間とする。

4 前期の計画期間においては、私立学校振興助成法制定の趣旨、18才人口の推移等にかんがみ、上記1の基盤整備のための高等教育の質的な整備充実に重点を置き、特に次の諸施策を重視するものとする。

- (1) 全国的、構造的に均衡のとれた高等教育の発展を期するため、地方における高等教育の質・量の充実、特に地方における国立大学の計画的な整備を図ること
- (2) 私立の質的な充実を図り、特に平均1.79倍（50年度）の定員超過の現状を是正する方途を講ずること
- (3) 短期大学設置基準の制定の趣旨に沿い、社会の多様な要請に積極的に対応して短期大学の弾力的な発展を図ること

5 後期の計画期間においては、18才人口が増加に転ずることをも考え、国民の要請への適切な対応と高等教育の質的充実に留意して、計画的な拡充整備を図るものとするが、その具体的な計画は、前期における基盤整備とその実績及び社会的諸事情の変化に応じ、高等教育機関の基本的性格を考え、かつ、高等教育への需要の動向の推移を見定めつつ、適切な時期にあらためて策定するものとする。

6 前期、後期を通じ計画期間中の高等教育の整備の進行状況を的確に把握し、評価を行う体制を確立して、今後における事態の変化と国民の要請に対応し、計画に適切な補正を加える配慮が必要である。

この場合、特に次のような事項に留意するものとする。

(1) 高等教育への進学状況等の全国的及び地域的な推移

① 高等教育機関への進学希望及び進学の状況（専門分野別、男女別、種類別、設置者別）

この場合、進学者の地域的な流動状況に留意すること

② 高等教育機関の収容力（専門分野別、種類別、設置者別）

この場合、大都市への集中の抑制、私立の定員超過率の是正、地方における私立の進出及び国立の計画的整備の進捗状況に留意すること。

③ 高等教育機関卒業者の進路状況

(2) 高等教育全体の構造の柔軟化、流動化の進展

(3) 専修学校制度の整備の進展並びに専修学校（特に専門学校）・各種学校への進学状況及びこれらの収容力の推移

(4) 高等学校の教育課程改訂の動向と高等学校への進学状況及び高等学校卒業者の進路状況の推移

(5) 職業構造、産業構造の変化等に伴う人材需要の動向及び雇用動向

(6) 国土利用に関する諸計画の進捗状況

(7) 経済情勢及び財政事情の推移

7 なお、大学院の拡充整備と高等教育機関の優れた教員を確保することは、高等教育の質的充実を図るに当たっての重要な課題である。大学院の拡充整備については、社会経済の発展と学術研究の進歩に伴い、高度の専門性を備えた職業人の養成と高等教育機関の教育を含め優れた研究者の養成確保の両面にわたって、その重要性がますます増大していくものと思われる。これについては、現在、大学院問題懇談会において、その基本方針につき検討が進められているので、その成果を期待することとしたい。また、高等教育機関の教員の養成確保については、大学院における養成にまっところが大きい。今後における高等教育の多様な発展を図るためには、社会の諸分野の優れた人材との交流、諸外国との交流等を積極的に進める必要がある。

### Ⅲ 前期における計画の内容

#### 1 計画期間中に整備を図るべきもの

上記Ⅱの方針に基づき、次に掲げる事項に該当するものについて、以下に示す規模、地域配置等の指標に従い、その計画的実現を図るものとする。

① 計画養成を必要とするもの

医師、歯科医師、看護婦その他の医療技術者、初等教育教員等の養成を目的とするもののほか、新しい学 分野や研究者養成等に係る将来の需要にこたえるもの（国、公、私立を問わないが、医・歯科大学については、原則として私立は予定しない。）

② 地方における国立大学の計画的整備

学部、学科構成の不均衡の是正、学部等の改組その他地域間の収容力格差や専門分野構成の不均衡の是正、地方文化の向上に資するための整備等

③ 私立における、定員超過是正等その質的充実を図るための定員変更その他の整備で、規模の拡大を伴わないもの

④ 公私立の移転、拡充等で、地域間の収容力格差や専門分野構成の不均衡の是正、地方文化の向上に資するもの及び高等教育の発展のために有意義な新しい試みを行おうとするもの

⑤ 社会の多様な要請に積極的に対応して、新しい分野を開拓するなど、学部、学科の改組、転換を図ろうとするもの、特に短期大学の柔軟な対応を期待する。

⑥ 上記Ⅱ、2に述べたような高等教育の構造の柔軟化、流動化の推進に資するもの

2 規模の目途

(1) 前期の計画期間中における高等教育の規模の目途は、下記(2)の大学等の規模及び(3)の専門学校等の規模に示すとおりとする。これによる専門学校等をも含めた55年度の高等教育の規模は、入学者数において800,000人を越え、その18才人口に対する比率は、50%を上回る事となる。

このうち、大学、短期大学及び高等専門学校の入学者数は、約 640,000人であり、上記1による基盤整備のための質的な整備充実を図ることを主眼にして、その規模は、50年度に対し、約 32,000人の増を見込んでいる。

専門学校等については、その性格上、一応現在の規模を見込むにとどめているが、今後の高等教育の構造の柔軟化、流動化のために、大学等の整備と並んで、これら専門学校等の発展にまつところが大きい。

(2) 大学等の規模

(ア) 大学、短期大学に係る上記1の整備は、計画期間中、次に掲げる規模を目途とし、後記3に示すような地域配置の調整を図りつつ、取り進めるものとする。

(単位 人)

国立	公立	私立	計
10,000	1,500	20,000	31,500

① 国立について

医師，歯科医師，医療技術者，初等教育教員等の計画養成，地方国立大学の計画的整備等のため，従来の実績をも考慮し，年平均2,000人増を目途とする。

なお，この場合の分野別の目途は，次のとおりである。

(単位 人)

医歯・医療技術	教員養成	一般	計
2,900 ( 5,300)	1,600 (19,400)	5,500 (56,100)	10,000 (80,800)

(注) ( )内は，50年度の定員を示す。

② 公立について

看護婦その他の医療技術者の養成，地域の実情に即した専門職業教育，女子教育その他地域の社会的需要への対応を期待するが，小，中，高等学校等の整備等に当たる地方公共団体の財政の現状等を考え，一応，従来の実績である年平均300人増を目途とする。

③ 私立について

- Ⓐ 前記 (I, 2, (1), (キ)) の50年度届出に係る私立の定員増予定数約50,000人のうち，約45,000人は，定員超過の状況を是正するため，施設，設備，教員組織等を整備して，実員と定員との差を縮小するよう定員増を図ろうとするものと考えられるが，これらの定員変更の届出が受理され，かつ，定員変更に伴う新たな実員増を生ずることなくその趣旨どおり51年度の入学者の決定が行われた場合には，50年度の定員超過率 (1.79倍) は，51年度においては1.5倍強に是正されることとなる。

(注) 私立の入学定員に対する実員 (入学者) の倍率は，50年度において下表のような状況にある。

- Ⓑ 一方，過去5年間，私立の規模は，年平均定員増9,000人，実員増25,000人という拡大を続けており，定員超過率は，漸増の傾向にあった。(定員超過率 46年度 大学1.77倍，短期大学1.47倍→50年度 大学1.84倍，短期大学1.70倍)

- Ⓒ よって，このような定員超過の是正を図ることに計画の重点を置き，50年度までの既設分につ

(50年度)

区 分	入学定員(A)	入学者数(B)	倍 率( $\frac{B}{A}$ )
大 学	183,729 <sup>人</sup>	337,790 <sup>人</sup>	1.84
短 期 大 学	95,520	162,370	1.70
計	279,249	500,160	1.79

いては、計画期間中、定員超過の是正をさらに進めることにより定員超過率を全体として1.5倍以内にとどめ、今後、各学校においていわゆる水増しによる実員増を生ずることのないよう、設置者の自粛を求めつつ、学部、学科の性格に即し、教育研究条件の改善に資するよう所要の措置を講ずるものとする。

- ④ ③を前提として、上記1の計画期間中の整備で私立に期待すべきものの規模は、年平均、定員において2,500人増、実員において3,000人増の範囲とする。なお、51年度においては、経過的に学科増設等の届出に伴う実員増を生ずると見込まれるので、このため、別途5,000人程度の増を予定するものとする。
  - ⑤ なお、50年度において、私立には、大学、短期大学を通じ、約11,000人（大学3,000人、短期大学8,000人）の欠員が生じているので、大都市における著しい定員超過の是正を進めることとあいまって、実情に応じ、必要な改善策を講ずることが望ましい。
  - (イ) 大学、短期大学別の規模の目途は、従来の傾向（I、2、(1)、(イ)）を考え、設定しないこととするが、上記1に掲げた計画期間中の整備の方向に沿った短期大学の対応を特に期待するものとする。
  - (ウ) 高等専門学校については、質的な充実を図ることとし、規模の拡大は見込まないものとする。
  - (エ) 上記の規模の目途に従って大学、短期大学の整備が行われた場合の、55年度における大学等への入学者数、18才人口に占める比率等は、次の表のとおりとなる。
- なお、55年度の大学等への入学者数（640,000人）は、61年度の18才人口（1,863,000人）に対しては、34.3%に相当する。
- (3) 専門学校等の規模
  - (ア) 上記(2)の大学等の規模の目途は、従来の著しい定員超過を伴う規模の拡大の傾向に対して、是正と抑制を加えようとするものであるが、他面、48年度懇談会報告が指摘したように、高等学校

区 分	全国の18才の人口 (A)	大学等への入学者数(B)	全国18才人口に占める大学等入学者数の比率 $\left(\frac{B}{A}\right)$	国公立対私立の入学者比率
50年度	1,585,000 人	608,000 人	38.3 %	17.5 % : 82.5 %
55年度	1,589,000	640,000	40.3	18.5 : 81.5

進学率の上昇、その他の高等教育への需要の増加傾向がなお強いことをも考えると、専門学校、大学通信教育、放送大学等上記(2)以外の高等教育機関の整備を併せて促進する必要がある。

- (イ) 前記 (I, 2, (1), (ウ)) で述べたように、50年度において高等学校卒業以上を入学資格とする修業年限1年以上の各種学校への入学者数は、158,000人であり、その規模は、55年度の18才人口に対して進学率約10%に相当するが、これらの多くは、その性質上、計画においては自由な進展に委ねるべきものとする。ただし、看護婦その他の医療技術者の計画養成については、従来、相当部分の養成が各種学校により行われている実態(50年度在学者数48,000人)にかんがみ、専門学校等を含め、計画的に実現を図るべきものとして、その規模を検討する必要がある。
- (ウ) 大学通信教育への入学者数は、50年度において15,000人(大学10,000人、短期大学5,000人)であり、55年度において進学率約1%に相当する。大学通信教育については、一層の充実が期待されるが、その規模については、一応、50年度の入学者数をそのまま見込むものとする。
- (エ) 放送大学の具体的な設置計画は現在検討中であり、整備すべきその規模についても現時点では定め難いので、今後の検討にまつこととする。

### 3 地域配置計画

- (1) 高等教育機関の地域配置における不均衡の是正を図るためには、後期における計画的拡充にまつところが大であるが、前期においても、その展望の下に、大学等について上記2, (2)に示した規模の目途の範囲内において、できる限り、ブロック単位に計画的な配置を図るものとする。

なお、専門学校等については、その自由な発展を期待する趣旨から、この地域配置計画には含めていない。

#### (2) ブロックの区分

大学等の計画的配置を考える場合のブロックの区分は、下記①, ②に述べることを特に考慮して、次のとおりとする。(各ブロック内の進学者数等については、別添1-1, 1-2参照)

- ① これまでの高等教育の規模の拡大は、大都市圏(京浜・南関東、東海、京阪神・近畿)におい

ブロック名	該 当 都 道 府 県
北 海 道	北海道
東 北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島 (6 県)
関東・甲信越	茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川, 山梨, 長野, 新潟 (1 都 9 県)
東 海	岐阜, 静岡, 愛知, 三重 (4 県)
北陸・近畿	富山, 石川, 福井, 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山 (2 府 7 県)
中 国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口 (5 県)
四 国	徳島, 香川, 愛媛, 高知 (4 県)
九 州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄 (8 県)

て、他の地域をはるかに超えて進行してきたところであるが、上記Ⅰ、2、(2)、(ウ)において示したように、50年度と55年度における18才人口には、地域的にかんがりの変動（大都市圏における増、その他の地域における減）が見込まれる。このような18才人口の地域間の変動は、従来の大都市圏における高等教育の規模の拡大の傾向を、より促進する要因となるものと考えられること。

- ② したがって、今後、このような大都市圏における18才人口の増加に伴って予想される高等教育への需要の増大への対応を考慮しつつ、かつ、上記2、(2)の規模の目途の範囲内で、できる限り地域配置の是正を図るためには、京浜・南関東、京阪神・近畿については、これらに隣接する地域をも含めてより広域なブロック区分を想定し、ブロック内における収容力の調整を図る必要があること。

### (3) ブロック別の配置計画

各ブロックにおける、18才人口の今後の推移、進学率・収容力等の状況、高等教育に係る地理的、社会的条件等を考慮して、55年度におけるブロックごとの収容力等の一応の目途を次の表のように定める。



ブロック	進学者		進学率		収容力					国立による 拡充見込数	公私立による 拡充見込数
	昭和50年度 (A)	昭和55年度 (B)	昭和50年度 (C)	昭和55年度 (D)	昭和50年度 (E)	収容率		昭和55年度 (F)	拡充見込数 (F-E)		
						昭和50年度 (E/A)	昭和55年度 (F/B)				
北海道	人 27,000	人 28,000	% 31	% 34	人 20,000 (5,000)	% 75	% 80	人 23,000	人 3,000	人 1,000	人 2,000
東北	44,000	46,000	25	30	25,000 (11,000)	56	60	28,000	3,000	1,100	1,900
関東・甲信越	192,000	208,000	42	42	274,000 (69,000)	143	135	281,000	7,000	2,200	4,800
東海	70,000	76,000	42	42	56,000 (15,000)	80	80	61,000	5,000	1,000	4,000
北陸・近畿	125,000	138,000	48	48	137,000 (35,000)	110	104	143,000	6,000	1,700	4,300
中国	48,000	45,000	43	44	26,000 (7,000)	55	65	29,000	3,000	1,000	2,000
四国	25,000	23,000	38	39	12,000 (5,000)	46	60	14,000	2,000	800	1,200
九州	77,000	76,000	30	34	58,000 (11,000)	76	80	61,000	3,000	1,200	1,800
計	608,000	640,000	38	40	608,000 (158,000)	100	100	640,000	32,000	10,000	22,000

- (注) ① 55年度における進学者数の目途 640,000 人 (進学率40.3%) のブロック別配分に当たっては、関東・甲信越、東海、北陸・近畿の各ブロックの55年度進学率を50年度と同率と想定し、他のブロックについては、それぞれ1～5%の増を見込むこととした。
- ② このブロック別進学率の想定は、前記した計画策定の方針と規模の目途を前提とするものであって、従来の傾向 (各ブロック年率2～3%の上昇) とは異なるものである。また、ブロックごとの進学率の推移は、政策的に措置し難いものでもあるから、特に大都市圏ブロックにあたっては、実際の進学者数の推移とその地域的分散状況に対する十分な配慮が必要である。
- ③ 各ブロックの収容力については、上記②を考慮しつつ、各ブロックとも少なくともブロック内進学者の60%を当該ブロック内において収容できるようにすることを目途とした。
- ④ このブロック別の計画的配置を進めるに当たっては、各都道府県ごとの進学率、収容力の状況 (別添2-1, 2-2参照) 及び下記(4)に留意するとともに、従来大都市圏において特に著しい高等教育への需要の増加傾向を適切に受け止め、分散させるため、地方にお

ける国立大学の人文社会系学部等の計画的整備の推進，大都市圏における専門学校の整備等を図っていくことが必要である。

- ⑤ ① 進学者数は，大学，短期大学，高等専門学校（第4年次在学者）の合計である。
- ② 50年度収容力(E)の( )内は，高等教育レベルの各種学校の入学者数を示す(外数)。
- ③ 上記2，(2)に示した規模の目途は31,500人であるが，拡充見込数(F-E)は1,000人を単位として示したため，計32,000人となっている。

(4) 新增設を行わない地域

大学等の新增設を原則として行わない地域を次のとおり設定し，これらの地域においては，実員増を伴わない改組・定員増，夜間学部・学科の設置，現に整備計画進行中のもの等を除き，新增設は一切行わないものとする。ただし，工業(場)等制限区域以外の政令指定都市の区域については，地域の事情に応じた緩和を考慮するものとする。

	工業(場)等制限区域		その他の政令指定都市の区域
	首都圏	近畿圏	
全域	東京都区部，武蔵野市		札幌市，名古屋市，北九州市，福岡市
一部	川口市，三鷹市，横浜市，川崎市	京都市，大阪市，守口市，東大阪市，堺市，神戸市，尼崎市，西宮市，芦屋市	横浜市，川崎市，京都市，大阪市，神戸市の工業(場)等制限区域以外の区域

なお，これらの地域からの大学等の移転について積極的に配慮することが望ましい。

(注) 「工業(場)等制限区域」とは，「首都圏の既成市街地における工業等の制限に関する法律」に規定する「工業等制限区域」及び「近畿圏の既成都市区域における工場等の制限に関する法律」に規定する「工場等制限区域」をいう。

4 私立の大学，短期大学の新增設の認可と前期の計画

前期の計画期間中における大学，短期大学の新增設が，私立学校法附則第13項に定める「特に必要があると認める場合」に該当するか否かの判断に当たっては，私立の大学，短期大学の量的拡大を抑制しようとする法律の趣旨とこのまとめの基本的方針に沿って，上記1に掲げた「計画期間中に整備を図るべきもの」に該当するもの(既に新增設の事前準備が終了しているもので経過的措置を必要とすると認められるものを含む。)のうちから，次の諸点を考慮して，認可すべきものを厳正に選択する

ことが適当である。

- ① 上記2, (2)に掲げた私立の規模を認可に伴う学生増の目途とすること
- ② 上記3に掲げたブロックごとの収容力の目途及び新增設を行わない地域に留意すること
- ③ 専門分野構成における地域間の不均衡の是正に留意すること（別添3-1～3-4参照）
- ④ 学校法人の安定した経営基盤の確保に配慮すること

#### IV 後期における規模の目途等

1 昭和61年度における高等教育の規模の目途について、48年度及び49年度懇談会は、いずれも「昭和50年代に到達するであろう進学率40%より低い進学率を昭和60年代当初の指標とすることは、適当でない。」とする原則的な考え方を示している。

2 前記（Ⅱ，5）したように、後期の具体的な計画は、今後における諸般の事情の推移を見定めつつ、適切な時期に策定するものとするが、その際、61年度における高等教育の規模の目途については、あらためて検討することが必要である。

その場合、別添4に掲げた35年度以降の高等教育の規模の拡大の実態を顧み、かつ、次のような要請（49年度懇談会報告）にこたえ得る規模を確保する見地に立って、検討を行うことが必要と思われる。

- ① 我が国の高等教育及び学術研究の質的水準の維持、向上
- ② 計画養成を必要とする分野における人材需要への対応
- ③ 進学率、収容力、専門分野構成等における地域間格差の是正等、今後における高等教育の機会に対する国民の要請への適切な対応
- ④ 地域開発や地方文化の向上への寄与

31. 昭和52年度大学入学者選抜実施要項について（通知）

文 大 大 第 135 号

昭和51年 4 月10日

各国公私立大学長 殿

文部省大学局長 佐 野 文一郎

昭和52年度大学入学者選抜実施要項（以下「実施要項」という。）を別紙のとおり定めましたので、各大学におかれては、これに従い、公正かつ妥当な入学者選抜を実施されるようお願いします。

実施要項に関して留意すべき点は、下記のとおりであります。

記

- 1 昭和51年度以降における学力検査実施教科・科目について、5教科原則は維持しながら従来の5教科5科目ないし9科目原則を、必修科目を中心とした5教科5科目ないし6科目原則に改めたのは、調和のとれた人間形成と受験準備の負担軽減を併せ考慮した結果によるものであり、実施教科・科目の決定に当たっては、この趣旨に十分留意し、受験生の負担が過重にならないようにすること。
- 2 出願に必要な書類の提出方法について、実態に沿うよう本年度から各大学・出身学校長が自主的に定めることとしたこと。
- 3 実施要項第8による公表は、別紙様式1及び別紙様式2により、各都道府県の知事及び教育委員会教育長、各指定都市の教育委員会教育長並びに国立大学の大学附属又は学部附属の高等学校長に通知する方法によるものとし、同時に文部省大学課へも報告すること。

別紙様式 1

昭和52年度〇〇大学入学者選抜方法等

学部(学科・専攻・課程)名 選抜方法等	〇 〇 学部	〇 〇 学部		〇〇学部	備 考
	〇〇学部(〇〇学科)	〇 科 系	〇 科 系	〇〇学部	
ア 入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する					
イ 学力検査を課さないで、調査書を主な資料として判定する					
ウ 学力検査等に先立ち、調査書を主な資料として判定し、この合格者に対して学力検査等を課して最終的に判定する					
エ 調査書に㊤標示を希望する					
オ 調査書に能力・適性等に関する推薦の記入を希望する					
カ 学力検査の一部又は全部を他の大学と共通し、共通の学力検査として実施する					
キ 学力検査を第1次と第2次に分け、第1次学力検査の合格者に対して第2次学力検査を課する					
ク 実技検査を行う					
ケ 面接を行う					
コ 小論文を課する					

記入上の注意

- 「学部(学科・専攻・課程)名」欄には、同一の選抜方法等を実施する学部(学科・専攻・課程)名を列記すること。  
同一学部であっても、例えば、文科系の専攻と理科系の専攻が選抜方法等を異にする場合には分けて記入すること。
- 該当する欄には○印を付し、該当しない欄には×印をすること。
- 「備考」欄には、推薦入学募集人員(又は比率)、推薦要件、学力検査等に先立つ調査書による判定の合格予定数(又は比率)、その他受験者の参考となる事項を記入すること。
- ク、ケ、及びコの備考欄には、「例えば、推薦入学志望者について面接を実施する。」等の実施対象等について記入すること。
- 本表に該当する事項が全くない場合は、別紙様式2にその旨注を付すること。

昭和52年度〇〇大学入学者選抜学力検査実施教科・科目

学部(学科・専攻・課程)名 科目数等		〇 〇 学 部			〇 〇 学 部			〇 〇 学 部					
		〇 〇 学 部 (〇〇学科)			〇	科 系	〇	科 系	〇	〇	学 部		
出題教科・科目名		出題科目	受験科目数	摘 要	出題科目	受験科目数	摘 要	出題科目	受験科目数	摘 要	出題科目	受験科目数	摘 要
(教科名)	(科 目 名)												
合 計													

記入上の注意

- 「出題教科・科目名」欄には、学力検査（実技検査を課す場合は、これを含む。）として当該大学において出題するすべての教科・科目の名称を列記すること。
- 「学部(学科・専攻・課程)名」欄には、同一教科・科目で学力検査を行う学部(学科・専攻・課程)名を列記すること。同一学部であっても、例えば、文科系の専攻と理科系の専攻が教科・科目を異にする場合には分けて記入すること。
- 「出題科目」欄には、各学部(学科・専攻・課程)の出題科目に○印をつけるものとし、受験者が必ず受験しなければならない科目については◎印とすること。
- 「受験科目数」欄には、大学が出題した科目のうち、受験すべき科目の数を教科別に記入すること。
- 「摘要」欄には、出題範囲その他受験者の参考となる事項を教科別に記入すること。
- 「合計」欄には、大学において出題した科目の数及び受験者が受験すべき科目の数の合計を記入すること。
- 学力検査を第1次と第2次に分けて実施する場合には、それぞれ分けて記入すること。なお、その際、第1次と第2次とで出題方針や出題方式（例えば客観式、記述式など）等が異なる場合には、「摘要」欄にその旨を記入すること。

## 昭和52年度大学入学者選抜実施要項

大学入学者の選抜は、大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を備えた者を公正かつ妥当な方法で選抜するように実施するとともに、入学者の選抜のために高等学校の教育を乱すことのないよう配慮するものとする。

### 第1 募集人員

各大学で募集する人員は、所定の入学定員によるものとする。

### 第2 出願資格

大学に入学を志願することのできる者は、次のとおりである。

- 1 高等学校を卒業した者及び昭和52年3月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び昭和52年3月修了見込みの者
- 3 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（別紙1参照）

### 第3 選抜期日

- 1 入学者選抜の期日は、次により適宜これを定めるものとするが、国立大学（短期大学を除く。）にあっては、別紙2により実施するものとする。
  - (1) 入学者選抜試験期日 昭和52年3月1日から4月15日までの間
  - (2) 入学願書受付期間 入学者選抜試験期日に応じて定める。
  - (3) 合格者の決定発表 昭和52年4月20日まで
- 2 入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する方法による場合は、判定結果を原則として昭和52年2月20日までに発表するものとし、この期日に応じて入学願書受付期間を適宜定めるものとする。
- 3 学力検査を課さないで調査書を主な資料として判定する方法による場合の入学者選抜の期日は、上記1により定めるものとする。
- 4 学力検査等に先立ち、調査書を主な資料として判定し、この合格者に対し学力検査等を課して最終判定する方法による場合は、調査書を主な資料として判定した結果を原則として学力検査開始日の10日前までに発表するものとする。

### 第4 選抜方法

- 1 入学者の選抜は、調査書、学力検査、大学が必要に応じて実施する健康診断その他大学が適当と認める資料により、入学志願者の能力・適性等を合理的に総合して判定する方法によるものと

する。

2 上記1の選抜方法のほか、大学の意向によっては、次の選抜方法によることもできる。

(1) 入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する方法

ア 大学は、能力・適性等に関する推薦の要件を具体的に定め、これを高等学校長に提示して推薦を求めるものとする。

イ 大学は、入学志願者について面接を行い、又は小論文を課することが望ましい。

(2) 学力検査を課さないで調査書を主な資料として判定する方法

大学は、入学志願者について面接を行い、又は小論文を課することが望ましい。

(3) 学力検査等に先立ち、調査書を主な資料として判定し、この合格者に対し学力検査等を課して最終判定する方法

3 大学は、選抜方法に関する研究委員会を設けて調査研究を行い、入学者の選抜に当たっては、その成果を十分に反映させることが望ましい。

## 第5 調 査 書

1 大学は、入学者選抜の資料として、出身学校長が生徒指導要録等に基づき、かつ調査書作成に関する委員会の審議を経て作成した調査書を提出させるものとする。

調査書の様式、記入上の注意事項等は、別紙による。

2 調査書は、入学志願者の学習成績、健康状況、性格、行動等が記載された重要な資料であるので、入学者の選抜に当たっては、調査書を十分活用することが望ましい。

なお、学力検査を実施する場合、入学志願者が受験する教科・科目以外の教科・科目については、特に調査書の学習成績に留意するものとする。

また、専門教育を主とする学科卒業の入学志願者について、その専門教育が当該学部・学科の教育と密接に関連すると認められる場合には、調査書の専門教育に関する科目の学習成績に留意することが望ましい。

3 調査書に記入される学習成績概評は、高等学校における同一学年生徒全員（ただし、教育課程の異なる類型のある場合は類型別、専門教育を主とする学科の場合は科別）の3か年間（ただし、定時制及び通信制の課程にあつては4か年間）における各教科・科目の評定平均値の平均を表1の区分に従ってA、B、C、D、Eの5段階に分け、その生徒の属する成績段階を示しているものである。



(表1) 学習成績概評

各教科・科目の評定平均値の平均	学習成績概評
5.0 ～ 4.3	A
4.2 ～ 3.5	B
3.4 ～ 2.7	C
2.6 ～ 1.9	D
1.8 以下	E

4 大学は、高等学校長に対し学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄に㊤と標示するよう希望することができる。

なお、この場合には「備考」欄にその理由を明示させるものとする。

5 「健康の状況」の欄は、高等学校生徒健康診断票に基づいて記載されるものであり、入学後の保健指導等の参考資料としても併せて活用することが望ましい。

6 大学は、高等学校長に対し当該大学の学部・学科に対する能力・適性等について、特に高等学校長が推薦できる生徒については、その旨を調査書の「備考」欄に記入するよう希望することができる。

7 やむを得ない事由により完全な調査書が得られない場合は、次により措置するとともに、面接によって不足を補う等の配慮が望ましい。

(1) 廃校、被災その他の事情により出身学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもってこれに代えてもよい。

(2) 本人が被災等により上記書類をも整えられない場合は、出身学校所管の教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出させる。ただし、このような証明書を受理した大学は、本人について更に調査をすることが必要である。

(3) 大学入学資格検定等の試験検定の合格者については、当該試験の成績証明書をもって調査書に代えることができる。

## 第6 学力検査等

### 1 学力検査

(1) 学力検査は、高等学校学習指導要領に準拠し、高等学校教育の正常な発展の障害とならない

よう十分留意して実施するものとする。

- (2) 大学は、学力検査の一部又は全部を他の大学と共同し、共通の学力検査として実施することができる。
- (3) 大学は、学力検査を第1次と第2次に分け、第1次学力検査の合格者に対して第2次学力検査を課することができる。
- (4) 学力検査は、国語、社会、数学、理科、外国語の5教科について実施することを原則とするが、大学・学部の目的、特色、専門分野等によっては、一部の教科を除き、又は他の教科を加えて実施することができる。
- (5) 各教科における学力検査実施科目等は、次により大学が定める。

**国 語** 国語は、現代国語、古典Ⅰ甲のうちから1科目又は2科目を出題する。ただし、大学・学部の目的、特色、専門分野等によっては、2科目を出題する場合、古典Ⅰ甲に代えて古典Ⅰ乙を出題することができる。

**社 会** 社会は、倫理・社会、政治・経済、日本史、世界史、地理A及び地理Bのうちから3科目以上を出題し、1科目を選択解答させる。ただし、大学・学部の目的、特色、専門分野等によっては、2科目を選択解答させ、又は特定の1科目ないし2科目を出題することができる。

**数 学** 数学は、数学一般又は数学Ⅰを出題する。ただし、大学・学部の目的、特色、専門分野等によっては、数学Ⅰを出題する場合、これに数学ⅡB及び数学Ⅲを加えることができる。なお、数学Ⅲを出題しない場合は、数学ⅡAを加えて数学ⅡBと選択解答させることが望ましい。

**理 科** 理科は、基礎理科を出題するか、又は物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰ、地学Ⅰのうちから3科目以上を出題し、1科目を選択解答させる。ただし、大学・学部の目的、特色、専門分野等によっては、前記の科目中基礎理科を除き、2科目を選択解答させ、若しくは特定の1科目ないし2科目を出題し、又は同種のⅠ、Ⅱの科目を合わせて1ないし2を選択解答させ、若しくは特定の1ないし2を出題することができる。

**外 国 語** 外国語は、英語A又は英語Bを出題するか、又は英語B、ドイツ語、フランス語その他の外国語を出題し、1科目を選択解答させる。

- (6) 商学、工学、農学、水産学、家政学、看護学等に関する大学・学部で、その目的、特色、専

門分野等からみて適当と認められる場合には、前記(4)に掲げる教科の一部に代えて、職業に関する教科を出題し、又は前記(5)の社会、数学又は理科の科目に商業一般、水産一般、家庭一般、看護基礎医学等職業に関する基礎的又は中心的科目を加え、選択解答させることが望ましい。

(7) 学力検査は、次の諸点に留意して、入学志願者の学習能力をできる限り合理的に検出することができるよう出題方針を立てるものとする。

ア 学力検査は、各種の客観式及び記述式の検査方式を適宜組み合わせ実施することが望ましい。

イ 原理的、根本的なものを基礎として、これを運用して解答できるもので、それぞれの科目に関して学理的な適応性を検出できるような問題が望ましく、単なる記憶や知識のみを検出するような問題であってはならない。

ウ 出題に当たっては、1教科内の二つ以上の科目にわたる知識を必要とする問題は避けなければならない。

エ 高等学校の専門教育を主とする学科の卒業者のための上記(6)に示す職業に関する科目の出題に当たっては、専門教育を主とする学科の卒業者が普通教育を主とする学科の卒業者に比べて不利にならないよう、特に考慮するものとする。

(8) 旧教育課程による高等学校卒業者に対して、特に旧教育課程の科目による出題は要しないが、学力検査問題の出題に当たっては、新教育課程による卒業者との間で特に有利・不利が生じないように配慮することが望ましい。

## 2 実技検査、面接、小論文等

### (1) 実技検査

美術、工芸、音楽、体育等に関する学部・学科（教員養成学部にあつては主専攻）においては、前記1の学力検査のほか、実技に関する検査を課することが望ましい。

### (2) 面接と小論文

大学は、志願者に対し面接を行い、又は小論文を課することができる。

## 第7 健康診断

### 1 入学志願者の健康状況のは握は、次により行うものとする。

(1) 昭和50年度の高等学校卒業者及び昭和52年3月卒業見込みの者については、調査書の「健康の状況」の記載による。

(2) 昭和49年度以前の高等学校卒業者及び大学入学資格検定合格者等調査書を提出することがで

きない者については、調査書の「健康の状況」欄の記載事項とされている視力、色覚、聴力、結核及びその他の疾病、異常等について医師の作成した健康診断書（様式は特に定めない。）を提出させ、その記載による。

(3) 特定の学部・学科等が必要とする特別の事項に関する検査、異常所見者に対する精密検査等については、必要に応じて大学が実施するものとする。

1 入学者選抜に際して健康診断により不合格の判定を行うについては、疾病など心身の異常のため志望学部・学科等の教育の目的に即した履修に耐えないこと、又は伝染性疾患などにより集団生活に適しないことが、入学後の保健指導等を考慮してもなお明白な場合に限定することが望ましい。

## 第8 学力検査実施教科・科目等及び選抜方法等の決定・公表

1 大学は、前記第6の1の学力検査実施教科・科目並びに2の実技検査の実施科目、面接の実施及び小論文の出題等について決定し、昭和51年6月1日から7月31日までの期間内に公表するものとする。

2 大学は、次の事項に該当する場合には、それぞれ具体的な取扱いを決定し、上記1で定める期間内に公表するものとする。

(1) 入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する方法をとる場合

(2) 学力検査を課さないで調査書を主な資料として判定する方法をとる場合

(3) 学力検査等に先立ち、調査書を主な資料として判定し、この合格者に対し学力検査等を課して最終的に判定する方法をとる場合

(4) 調査書に㊸標示を希望する場合

(5) 調査書に能力・適性等についての推薦の記入を希望する場合

(6) 学力検査の一部又は全部を他の大学と共同し、共通の学力検査として実施する場合

(7) 学力検査を第1次と第2次に分け、第1次学力検査の合格者に対して第2次学力検査を課する方法をとる場合

## 第9 募集要項、出願の手続等

### 1 募集要項等

(1) 大学は、募集人員、選抜期日、選抜方法、検査場、出願手続、入学検定料その他入学に要する経費等出願に必要な事項を記載した募集要項を発表するものとする。

なお、大学は、入学に要する経費のすべてを募集要項に記載するものとし、これに記載されない寄付金等の納入を条件として入学許可を行うことのないようにするものとする。

- (2) 大学は、当該大学の学部等の教育を受けるにふさわしい者の能力・適性等について、募集要項に具体的に記載することが望ましい。
- (3) 大学は、昭和51年12月25日までに募集要項を発表するものとする。
- (4) 大学は、入学志願者に対し、大学案内等により、学部・学科の組織、特色その他学生生活の概要、諸経費を明らかにすることが望ましい。

## 2 出願の手続

- (1) 入学志願者は、出願に必要な書類を取りそろえ、志願大学の定める手続により、志願大学へ提出するものとする。

この場合において、出願に必要な書類を出身学校長が取りまとめて志願大学へ提出し、又は、出願に必要な書類のうち出身学校長が作成すべき調査書等のみについて、出身学校長が直接志願大学へ提出することも差し支えない。

- (2) 出願に際して提出する写真は、出願以前3か月以内に撮影したものとする。

## 第10 注 意 事 項

- 1 身体障害のある入学志願者については、その能力・適性等に応じた学部等への進学をを広げる観点から、受験の機会を確保するよう配慮すること。
- 2 大学は、入学者選抜において出題した学力検査問題等について、支障のない限り、標準的な解答例や出題の意図等を適切な方法により明らかにするよう配慮すること。
- 3 大学のうちには、学生定員を著しく超えて入学させている向きもあるが、学生定員は、学科目又は講座の数、教員組織、施設、設備等を総合的に考慮して定められていることに十分留意すること。
- 4 本要項により実施し難い事情のある大学は、募集要項の発表前に文部省と協議のうえ実施すること。
- 5 募集要項の発表後に、募集要項のとおり実施し難い事態が生じた場合には、事前に文部省と協議のうえ実施すること。

なお、緊急事態の生じたことにより、事前に協議できない場合には、その事態及び措置をすみやかに文部省に報告すること。

別紙 Ⅰ

学校教育法第56条第1項に規定する大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次のとおりである。

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した者
- 2 文部大臣の指定した者
  - (1) 従前の規定による高等学校高等科又は大学予科の第1学年を修了した者
  - (2) 専門学校本科又は中等学校卒業程度を入学資格とする専門学校予科の第1学年を修了した者
  - (3) 高等師範学校、女子高等師範学校、実業教員養成所又は臨時教員養成所の第1学年を修了した者
  - (4) 師範学校本科(昭和18年勅令第109号施行以前のもをを除く。)又は青年師範学校の第1学年を修了した者及び師範学校予科において4年の課程を修了した者
  - (5) 昭和18年勅令第109号施行以前の師範学校の本科第1部第4学年又は本科第2部第1学年を修了した者、並びに青年学校教員養成所の第1学年を修了した者
  - (6) 修業年限5年の高等女学校卒業程度を入学資格とする高等女学校の専攻科又は高等科の第1学年を修了した者又は修業年限4年の高等女学校卒業程度を入学資格とする高等女学校の専攻科又は高等科の第2学年を修了した者
  - (7) 国民学校初等科修了程度を入学資格とする修業年限5年の実業学校卒業程度を入学資格とする実業学校専攻科の第1学年を修了した者又は国民学校初等科修了程度を入学資格とする修業年限4年の実業学校卒業程度を入学資格とする実業学校専攻科の第2学年を修了した者
  - (8) 大正7年文部省令第3号第2条第2号により指定した学校の第1学年を修了した者(昭和30年3月31日までに修了した者に限る。)
  - (9) 従前の規定による大学において、高等学校高等科又は専門学校本科と同等以上の学校として入学資格を認められた学校の第1学年を修了した者
  - (10) 朝鮮教育令、台湾教育令、在閩東州及び満州帝国臣民教育令又は在外指定学校規則による学校において前各号の一に該当する者
  - (11) 高等学校高等科学力検定試験又は専門学校卒業程度検定試験に合格した者
  - (12) 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)による小学校、中学校若しくは高等学校の教諭の普通免許状を有する者又は教育職員免許法施行法(昭和24年法律第148号)により、これらの免許状を有する者とみなされた者(旧教員免許令(明治23年勅令第134号)に基づく旧実業学

校教員検定に関する規定（大正11年文部省令第4号）による実習科目に関する限りの実業学校教員免許状を有する者を除く。）

- (13) 専門学校の別科第1学年を修了した者。但し、中等学校（旧中等学校令第19条の規定によるものを除く。）卒業程度を入学資格とする者に限る。
  - (14) 東京盲学校師範部甲種音楽科第1部第1学年、鍼灸科第1学年を修了した者及び同校師範部普通科乙種を卒業した者、又は東京ろう啞学校師範部技芸科第1部第1学年を修了した者及び同校師範部普通科乙種を卒業した者
  - (15) 各都道府県において行う新制大学の入学資格を認定する試験に合格した者（昭和26年3月31日までの試験に合格した者に限る。）
  - (16) 運輸省設置法（昭和24年法律第157号）旧第35条に定める商船学校の席上課程3年修了者  
（注） 国立学校設置法による商船高等学校に包括された商船学校席上課程第3学年修了者を含む。
  - (17) 旧海軍工廠、旧海軍航空廠、旧海軍技術廠、旧海軍火薬廠、旧海軍施設部、旧海軍燃料廠及び旧海軍工作部（旧海軍工廠等という。以下同じ。）に設置した工員養成所において修業年限2年の補修科を修了した者、旧海軍工廠等に設置した工員教習所において修業年限1年の補修科を修了した者又は旧海軍工廠等に設置した職工教習所において修業年限2年の高等科、修業年限1年の専修科若しくは補修科を修了した者
  - (18) 運輸省設置法による海員学校の高等科を卒業し、同法による海技大学の通信教育部の普通科A課程を卒業した者（昭和50年4月1日以降に海技大学の当該課程に入学した者に限る。）
- 3 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部大臣の行う大学入学資格検定に合格した者及び合格見込みであることが証明される者
  - 4 その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

## 別紙 2

### 昭和52年度国立大学入学者選抜期日等について

1 昭和52年度国立大学の入学者選抜については、第1期、第2期に分けて実施する(別表参照)。

(1) 願書受付期間

第 1 期 2月1日(火)から2月10日(木)まで

第 2 期 2月12日(土)から2月21日(月)まで

(2) 学力検査開始日

第 1 期 3月3日(木)から

第 2 期 3月23日(水)から

(3) 合格者の発表

第 1 期 3月20日(日)まで

第 2 期 4月10日(日)まで

(4) 健康診断、面接等についても、学力検査開始日以降に実施するものとする。

(5) 第1期に入学者選抜を実施する大学は、第2期に入学者選抜を実施する大学のことを考慮し、特に合格者の発表期日を厳守するものとする。

2 第1期に入学者選抜を実施する大学及び第2期に入学者選抜を実施する大学が、昭和52年度大学入学者選抜実施要項第6の1の(2)及び(3)により、共同して共通の第1次学力検査を実施する場合には、共通の第1次学力検査は第1期の期日により実施するものとする。

3 第1期、第2期とも入学者が定員に満たない場合には、第2次募集を行うものとする。第2次募集の入学者選抜期日等は、第2期の入学者選抜終了後の期日で適宜各大学で定めて実施するものとする。

4 上記により難い事情のある場合は、事前に文部省と協議すること。



別 表

第 1 期

北海道大学

岩手大学, 東北大学

筑波大学, 千葉大学, 東京大学, 東京芸術大学,  
東京工業大学, 東京水産大学, お茶の水女子大学,  
一橋大学

新潟大学, 富山医科薬科大学, 金沢大学, 浜松医  
科大学, 名古屋大学, 三重大学, 滋賀医科大学,  
京都大学, 大阪大学, 神戸大学, 奈良女子大学

鳥取大学, 島根医科大学, 岡山大学, 広島大学

徳島大学, 高知大学

九州大学, 九州芸術工科大学, 長崎大学, 熊本大  
学, 宮崎大学, 琉球大学

計34校

第 2 期

北海道教育大学, 室蘭工業大学, 小樽商科大学,  
帯広畜産大学, 旭川医科大学, 北見工業大学

弘前大学, 宮城教育大学, 秋田大学, 山形大学,  
福島大学

茨城大学, 宇都宮大学, 群馬大学, 埼玉大学, 東  
京医科歯科大学, 東京外国語大学, 東京学芸大学,  
東京農工大学, 東京商船大学, 電気通信大学, 横  
浜国立大学

富山大学, 福井大学, 山梨大学, 信州大学, 岐阜  
大学, 静岡大学, 愛知教育大学, 名古屋工業大学,  
滋賀大学, 京都教育大学, 京都工芸繊維大学, 大  
阪外国語大学, 大阪教育大学, 神戸商船大学, 奈  
良教育大学, 和歌山大学

島根大学, 山口大学

香川大学, 愛媛大学

福岡教育大学, 九州工業大学, 佐賀大学, 大分大  
学, 宮崎医科大学, 鹿児島大学

計48校

別紙 3

大学入学者の選抜に際して使用される調査書の作成について

1 調査書作成の基本方針

- (1) 調査書は、高等学校生徒指導要録等に基づいて作成するものとする。
- (2) 調査書の作成に当たっては、個人的主観にとらわれたり、特別の作為を加えたりすることのないようにするものとする。
- (3) 調査書は、ホーム・ルーム担任教員等が記入し、関係教員をもって組織した調査書作成に関する委員会の審議を経て、高等学校長が作成し、その責任において、大学に提出されるものとする。

2 調査書の様式、規格及び用紙

調査書は、別紙様式により日本工業規格B 5判（182×257mm）上質紙（90kg程度）とし、表裏の両面を使って作成すること。ただし、複写機等により作成する場合は、B 4縦型表判（257×364mm）複写紙の左右に表裏を複写し、二つ折りとしても差し支えない。

3 記入上の注意

- (1) 上段※印欄は、大学において必要な事項を記入するための欄とし、高等学校では記入しないこと。
- (2) 男女別、全日制・定時制・通信制の課程別、普通科・専門教育を主とする学科の別、入学・編入学・転入学（編入学及び転入学の場合はその学年を記入）の別、卒業・卒業見込みの別の該当事項を○で囲むこと。

なお、専門教育を主とする学科については、農業、水産、工業、商業、家庭、音楽等の別及び各科別を、例えば工業に関する学科の機械科の場合（工・機械）のように、（ ）内に記入すること。

- (3) 「各教科・科目の学習の記録」欄は、高等学校在学中の全学年について、次のように記入すること。

ア 「教科・科目」欄の履修科目名は、生徒指導要録に基づいて記入すること。

なお、空欄不足の場合は、紙をはり足してもよい。

イ 「履修単位数」欄は、当該高等学校において生徒に履修させる単位数を、「修得単位数の計」欄は、修得を認定した学年ごとの単位数の計をそれぞれ記入すること。

なお、卒業見込みの者で、最終学年の修得単位が未決定である場合には、当該学年における

履修単位を修得したものとして計算すること。

ウ 「評定」欄は、5. 4. 3. 2. 1. の5段階で表示すること。

エ 旧教育課程による高等学校卒業者の場合は、次のようにすること。

(ア) 「評定」は、昭和23年以前の学習成績については、教科ごとに秀, 優, 良, 可, 昭和24年度以降の分については、目標別に5. 4. 3. 2. 1. 昭和31年度以降の分については、科目別に5. 4. 3. 2. 1. のそれぞれの評語を用いて記入すること。

(イ) 「履修単位数」の計は、昭和40年3月以降の卒業者については、学年ごとの単位数の計を記入すること。

オ 卒業見込みの者で、最終学年の成績が未決定である場合は、直近における成績を総合して、最終学年の成績とすること。

カ 「教科・科目の学習についての所見」欄については、生徒自身について認められた教科・科目の学習における特徴のうち特記すべき事項を記入するものとし、無い場合はその旨明示すること。

(4) 「評定平均値」欄については、次のように記入すること。

ア 各教科の評定平均値は、生徒指導要録に基づき、各教科ごとに各科目の評定の合計数を各教科の評定数で除した数値（小数以下第2位を四捨五入）を記入すること。

なお、例示以外の履修教科は、空欄を利用すること。また、空欄不足の場合は、紙をはり足してもよい。

(計算例)

下記の成績の者の計算例は、次のとおりである。

$$(1) \frac{\text{評定点の合計}}{\text{評定数}} = \frac{5 + 3 + 3 + 4}{4} = \frac{15}{4} = 3.75$$

(2) 小数以下第2位を四捨五入すると、この者の理科の評定平均値は、「3.8」となる。

教科・科目		履修単位数	評定				修の得計単位数
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
理科	物理 I	3		5			3
	化学 I	3	3				3
	生物 I	3	3				3
	地学 I	3		4			3

イ 評定平均値の平均は、(4)のアにより算出した各教科の評定平均値の合計数を履修教科数で除した数値（小数以下第2位を四捨五入）を記入すること。

ウ 昭和33年3月以前の卒業者については、評定平均値は記入しないものとする。

(5) 「学習成績概評」及び「成績段階別人数」欄は、次のように記入すること。

ア 「学習成績概評」欄は、高等学校における同一学年生徒全員（ただし、教育課程の異なる類型のある場合は類型別、専門教育を主とする学科の場合は科別）の3か年間（ただし、定時制及び通信制の課程にあつては4か年間）における各教科・科目の評定平均値の平均を次の区分に従って、A、B、C、D、Eの5段階に分け、その生徒の属する成績段階を記入すること。

各教科・科目の評定平均値の平均	学習成績概評
5.0 ~ 4.3	A
4.2 ~ 3.5	B
3.4 ~ 2.7	C
2.6 ~ 1.9	D
1.8 以下	E

イ 大学が希望する場合、学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄に㊶と標示することができる。

この場合、高等学校長は「備考」欄にその理由を明示しなければならないものとする。

ウ 「成績段階別人数」欄は、各段階に属する人数とその合計を、「A〇〇人、B〇〇人、C〇〇人、D〇〇人、E〇〇人、合計〇〇人」のように記入すること。なお(5)のアにより、類型別又は科別に記入した場合は、「合計」欄に同一学年生徒の合計数を( )内に記入すること。

エ 昭和33年3月以前の卒業者については、学習成績概評及び成績段階別人数は記入しないものとする。

(6) 「出欠の記録」欄は、高等学校生徒指導要録該当欄の記載事項を転記するものとするが、卒業見込みの者の最終学年の欄は、直近の学期末現在における出欠の状況を記入し、その旨を備考欄に明示すること。なお、旧教育課程による高等学校卒業者の場合は、旧生徒指導要録における該当欄のみを記入すること。

(7) 「健康の状況」欄は、次のように記入すること。

ア 「視力」、「色覚」、「聴力」及び「担当学校医所見」の欄には、それぞれについて高等学校生徒健康診断票の該当欄の最も新しい記載事項を転記すること。

イ 「結核」の欄には、高等学校生徒健康診断票の該当欄の記載事項を転記すること。

ウ 「その他の疾病及び異常」の欄には、高等学校生徒健康診断票の該当欄の記載事項及び「心臓の疾病及び異常」等該当欄以外の疾病・異常、各種疾患等に関する記載事項で、特に教育上又は保健指導上必要と認められる事項があれば記入すること。

エ 「担任教員所見」欄には、高等学校在学中に教育指導上特に支障のあった疾病又は異常についてホーム・ルーム担任教員の所見を記入すること。

- (8) 「各教科以外の教育活動の記録」欄は、生徒の特別教育活動、学校行事などにおける参加、活動状況のうち、特記すべき事項を記入すること。

なお、旧教育課程による高等学校卒業者の場合は、旧生徒指導要録における「行動及び性格の記録」の「I 事実の記録」欄の記載事項により記入すること。

- (9) 「行動及び性格の記録」欄は、次のように記入すること。

ア 「評定」欄は、評定項目に従い、学年ごとに生徒指導要録記載のうちA（特にすぐれたもの、又は程度の著しいもの）及びC（特に指導を要するもの）についてのみ記入すること。

なお、旧教育課程による高等学校卒業者の場合は、旧生徒指導要録により、評定項目を書き換えて記入すること。

イ 「所見」欄は、A及びCの評定理由、Cの場合の指導方針等の特記すべき事項について記入すること。

記入すべき事項が無い場合は、その旨明示すること。

- (10) 「備考」欄には、生徒指導要録の学籍の記録の備考欄及び進路に関する記録欄の記載事項のうち、特に必要と認められる事項等を記入するものとし、無い場合はその旨明示すること。

なお、大学の希望により当該大学の学部・学科に対する能力・適性等について特に高等学校長が推薦できる生徒についてはその旨記入すること。

- (11) 記載責任者職氏名は、必ず明記し、押印すること。

なお、記載内容を訂正した場合は、訂正か所に校長の印を押印するとともに、欄外に加除字数を表示すること。また、紙をはり足した場合も、校長の印で割引をとること。



様式(裏)

※		※				※				※					
5. 出欠の記録								6. 健康の状況							
区分	学年	1	2	3	4	視力	右	・(・)		担当学校医所見					
	授業日数						左	・(・)							
出席停止・忌引き等の日数						色覚									
出席しなければならない日数						聴力	右			担任教員所見					
欠席日数							左								
出席日数						結核									
備考						その他の疾病及び異常									
7. 各教科以外の教育活動の記録															
8. 行動及び性格の記録	I 評定	項目	学年	1	2	3	4	項目	学年	1	2	3	4		
		基本的な生活習慣					寛容								
		自主性					指導性								
		責任感					協力性								
		根気強さ					公正さ								
		創意くふう					公共心								
		情緒の安定													
	II 所見														
9. 備考															
<p>本書の記載事項に誤りがないことを証明する                  昭和 年 月 日                  学校名                  所在地                  校長名</p> <p style="text-align: center;">Ⓔ 記載責任者 Ⓔ</p>															

## 32. 進学適性検査・能研テストの家施経過について

### 進学適性検査の実施経過等について

1 昭和21年の米国教育使節団の勧告をもととして同年12月、文部省に委員会が設けられ、昭和22年3月に高等専門学校進学希望者全員を対象として、第1回知能検査が実施された。昭和23年度から29年度までは名称を進学適性検査（以下「進適」という。）に改め、内容も一般知能検査の性質に加え、進学希望者の知的活動の素質面からみて文科、理科のいずれに適するかを検出する内容とし、国公立大学、旧制大学、高等専門学校等高等教育機関の希望者全員を対象に、当該大学等の入試とは切り離して実施された。

2 進適実施についての基本的考え方は29年度までは変更はなかった。その内容を要約すれば次のとおりである。

- (1) 高等教育機関の進学希望者は、進適を必ず受験しなければならないが、国が全国一斉に実施する検査（国立大学受験者は全部これを受験）又は進学希望校自作の検査（主として私立大学志望の場合）のいずれを受験してもよいこととされていた。
- (2) 進適は入学者選抜試験そのものではなく、選抜に当たっての資料として利用するものであった。
- (3) 選抜の立場だけでなく、進学指導の立場にも立って行われた。
- (4) 国が実施する進適の場合は、検査実施に先立って例題を公開し、またその結果は標本抽出により全国成績概評を公表した。
- (5) 国が行う検査は、文部省に問題作成等の委員会を置き、府県別に進適監理審査会を結成して実施に当たった。審査会は当該県の国立大学に置くこととし、大学長が当該府県の最高責任者となった。一県複数大学の場合は、交替とした。（受験者の状況別記1）

3 昭和26年ごろから進適実施の方法やテスト結果等について批判が出るようになった。28年に至り高校長協会はこれを廃止すべしとの議決を行う一方、国立大学協会、日本学術会議においても議論されたが、結局28年12月、文部省に大学、高校、心理学者、学識経験者をもって構成する委員会を設け、進適の存廃について議論した結果、昭和29年度限りで全国一斉に行う進適を廃止することになった。

4 進適廃止の理由としては次のようなものがあげられている。

- (1) 進適の科学的分析研究結果が発表されず、進適の結果に疑問がもたれた。
- (2) 大学では進適の結果を積極的に利用しなくなり、進適本来の趣旨が減却した。



- (3) 進適のための準備が激しくなり、受験者は学科試験との二重負担となって、高校教育に支障が生ずるとされた。
- (4) 進適実施の予算、とくに実施の謝金が少なく実施上の困難が生じた。
- (5) 国大協、高校長協会からそれぞれ廃止の要望があった。

(別記1) 進適受験者の状況 (国が実施したもの)

年 度	志 願 者 数	受 験 者 数
23	—	137,121
24	126,394	113,087
25	153,104	137,942
26	207,274	192,164
27	272,766	256,186
28	311,957	291,239
29	354,479	341,559

- (注) 1. 24年度にその数が減少しているのは、新制大学への切り替えの事情による。
2. 受験者数が年々増加しているが、その背景として、進適実施当初は公私立大学において自校で問題を作成、実施する大学が多かったが、経費及び問題作成者等の事情から、漸次国で行う進適に合流する大学が年ごとに多くなり、29年度にはほとんど(全大学の98%)の大学が国の進適に合流したという経緯がある。

#### 能研テストの実施経過等について

1 昭和38年1月の大学入学試験の改善に関する中央教育審議会の答申に基づき、大学、高校、文部省の関係者が発起人となって昭和38年1月に財団法人能力開発研究所が設立された。

同研究所は、昭和38年度から43年度までの6年間、大学入学者の選抜と高校の進路指導に役立つ共通テストの開発とその実施及びそれに関する専門的調査研究を行った。(実施状況別記1)

2 文部省では、同研究所の実施するテスト（以下「能研テスト」という。）結果を昭和42年度の大学入学者選抜時から可否の判定に利用できるようにするなど能研テストの利用と研究成果の普及に努めるとともに、同研究所に対しては38年度から43年度まで補助金を交付し、同研究所の開発研究事業を援助した。（能研の収支状況及び補助金交付実績別記2）

3 しかしながら、同研究所の事業の目的に対しては、その発足当初から誤解と偏見に基づく反対運動が日教組を中心に全国的に展開されたことや、大学側が能研テストの活用による選抜方法の改善に極めて消極的であったことなどにより、テスト受験者数は年々減少していった。（能研テストを入学者選抜に活用した大学数及びその利用状況は別記3）

4 同研究所の事業は、その実施するテストが入学者選抜に採り入れられるのであれば恒常的に実施することは困難なものであり、加えて受験者数の減少による財政上の理由、将来への見通しもはっきりしないなどにより、昭和43年度をもってテスト事業は中止することとなった。

5 能研テストが中止された主な理由としては、次のようなものが指摘される。

- (1) 中教審答申から能力開発研究所の設立までの設立準備期間がなく、また設立年度から直ちに事業が開始されるなど事前準備に十分でない面があった。
- (2) 能研テストの趣旨を周知する広報活動及び各大学、高校等の意見の集約が十分行なわれない面があった。
- (3) 実施機関が財団法人であり、財政上の問題、職員の身分保障の問題等に難点があった。
- (4) 大学側に自からの問題として受けとめる熱意が薄く、能研テストの活用にも消極的であった。
- (5) 反対運動が当時の学園紛争に結びつき、将来への見通しを暗くした。

(別記1) 能研テスト実施状況

ア 受験申込者数、受験者数

	受 験 申 込 者 数						受 験 者 数						
	38年度	39年度	40年度	41年度	42年度	43年度	38年度	39年度	40年度	41年度	42年度	43年度	
学 科 テ ス ト	2年	220,077	150,257	153,298	131,355	90,836	59,398	198,311	133,727	139,101	121,282	82,643	52,238
	3年	145,408	104,278	138,793	113,664	88,407	56,581	124,379	92,912	124,967	101,360	77,136	47,999
	計	365,485	254,535	292,091	245,019	179,243	115,979	322,690	226,639	264,068	222,642	159,779	100,237
進 学 テ ス ト	2年	208,063	257,826	195,878	197,538	154,032	104,593	185,185	232,453	180,957	181,875	143,929	97,258
	3年	110,879	112,190	90,288	92,553	53,287	35,954	95,691	90,424	76,175	76,505	44,254	29,664
	計	318,942	370,016	286,166	290,091	207,319	140,547	280,876	322,877	257,132	258,380	188,183	126,922
職 達 テ ス ト	1年	—	154,863	137,193	122,034	84,727	57,868	—	140,100	126,961	111,911	78,480	53,388
	2年	—	157,297	128,461	124,587	88,506	56,686	—	142,301	118,880	115,169	82,595	52,860
	3年	—	—	15,138	12,970	7,864	4,574	—	—	14,009	10,419	5,756	3,224
	計	—	312,160	280,792	259,591	181,097	119,128	—	282,401	259,850	237,499	166,831	109,472
	合計	—	938,711	859,049	794,701	587,859	375,654	—	831,917	781,050	718,521	514,793	336,631

33. 高等学校学習指導要領抜粋

第1章 総 則

第1節 教育課程の編成

第1款 一般方針

学校においては、法令およびこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を旨とし地域や学校の実態および生徒の能力・適性・進路等をじゅうぶん考慮し、課程や学科の特色を生かした教育ができるように配慮して、適切な教育課程を編成するものとする。

第2款 各教科・科目の標準単位数

学校教育法施行規則別表第3に定める各教科に属する科目(以下「各教科・科目」という。)の標準単位数は、次の表のとおりとする。

この表の単位については、1単位時間を50分とし、1個学年35単位時間の授業(通信制の課程においては、これに相当するもの)を1単位として計算するものとする。

各教科	各教科に属する科目	標準単位数	各教科	各教科に属する科目	標準単位数	
国 語	現 代 国 語	7	理 科	物 理 Ⅱ	3	
	古 典 Ⅰ 甲	2		化 学 Ⅰ	3	
	古 典 Ⅰ 乙	5		化 学 Ⅱ	3	
	古 典 Ⅱ	3		生 物 Ⅰ	3	
社 会	倫 理・社 会	2		生 物 Ⅱ	3	
	政 治・経 済	2		地 学 Ⅰ	3	
	日 本 史	3		地 学 Ⅱ	3	
	世 界 史	3		保 健 体 育	体 育	7～9
	地 理 A	3			保 健	2
	地 理 B	3		芸 術	音 楽 Ⅰ	2
数 学	数 学 一 般	6	音 楽 Ⅱ		2	
	数 学 Ⅰ	6	音 楽 Ⅲ		2	
	数 学 Ⅱ A	4	美 術 Ⅰ		2	
	数 学 Ⅱ B	5	美 術 Ⅱ		2	
	数 学 Ⅲ	5	美 術 Ⅲ		2	
	応 用 数 学	6	工 芸 Ⅰ		2	
	基 礎 理 科	6	工 芸 Ⅱ		2	
物 理 Ⅰ	3	工 芸 Ⅲ	2			

各教科	各属する科目	標準単位数	各教科	各属する科目	標準単位数
芸術	書道Ⅰ	2	農業	作物	2～10
	書道Ⅱ	2		園芸	2～10
	書道Ⅲ	2		畜産	2～12
外国語	初級英語	6		土・肥料	2～4
	英語A	9		作物保護	2～4
	英語B	15		農畜産加工	2～4
	英語会話	3		農業機械	2～6
	ドイツ語	15		農業施設	2～4
	フランス語	15		農業経営	4～10
	外国語に関する その他の科目			農家経営	4～10
家庭	家庭一般	4		総合農業	12～40
	被服Ⅰ	2～6		野菜園芸	4～12
	被服Ⅱ	2～6		果樹園芸	4～12
	食物Ⅰ	2～6		草花園芸	4～12
	食物Ⅱ	2～6		家畜米糞・飼料	2～6
	保育	2～6		家畜衛生	2～6
	家庭経営	2～6		飼料作物	2～8
	被服材料	2～6		栽桑	2～6
	被服管理	2～6		養蚕	2～8
	服飾デザイン	2～16		蚕体衛生	2～4
	服飾史	2～6		製糸・製織	2～4
	被服製作	6～20		蚕種製造	2～4
	手芸	2～10		食品製造	6～12
	栄養	2～6		応用微生物	3～8
	食品	2～6		食品化学	2～12
	食品衛生	2～6		製造機器	3～8
	食物管理	2～6		食品製造衛生	2～6
	献立・調理	6～20		食品製造経営	2～4
	集団給食	2～6		測量	2～10
	公衆衛生	2～6		農業土木設計	4～8
	小児保健	4～12		材料施工	3～6
	児童心理	2～6		応用力学	2～5
	児童福祉	2～4		水理	2～5
	保育原理	2～6		土・土質	2～4
	保育技術	8～20		農業水利	3～8
	家庭に関するそ 他の科目			農地開発	2～4
			育林	2～12	
			伐木運材	2～8	

各教科	各教科に 属する科目	標準 単位数	各教科	各教科に 属する科目	標準 単位数
農 業	砂 防	2~8	工 業	造船工作	2~8
	林業機械	2~6		造船力学	2~6
	測 樹	2~6		金属工業実習	10~20
	林業経営	2~10		金属工業製図	4~8
	林産製造	2~8		金属材料	6~8
	木材加工	2~12		金属加工	6~8
	木材材料	2~8		金属製錬	2~6
	造園設計	4~10		特殊材料	2~4
	造園材料	3~8		金属工業設計	2~4
	造園施工	3~8		電気実習	10~20
	造園管理	2~6		電気製図	4~12
	緑地計画	2~4		電気工学Ⅰ	6~14
	造 園	2~6		電気工学Ⅱ	5~14
	農業一般	2~10		電気工学Ⅲ	5~14
	林業一般	2~10		電気機器	2~6
	総合実習	4~15		発送配電	2~6
	農業に関するそ の他の科目			電気応用	2~4
工 業	機械実習	14~25		電子実習	10~20
	機械製図	6~12		電子製図	4~8
	機械設計	4~8		電子工学Ⅰ	6~14
	機械工作	4~8		電子工学Ⅱ	5~10
	原 動 機	3~8		電子工学Ⅲ	5~10
	計測・制御	2~6		電子応用	2~6
	機械材料	2~4		通信機器	2~8
	自動車実習	12~20		情報技術実習	14~20
	自動車製図	4~8		プログラミング	3~9
	自動車設計	3~6		数値計算法	2~6
	自動車工作	3~6		システム工学	2~6
	自動車構造	4~8		電子計算機	3~6
	自動車整備	4~8		プログラム理論	5~10
	自動車電気	2~4		工業計測実習	10~20
	自動車法規	1~2		工業計測製図	4~8
	造船実習	10~20		計測管理	4~8
	造船製図	8~15		自動制御	4~9
	造船工学	6~12	計測力学	4~7	
	造船設計	3~6	計装工事	3~7	
	船舶構造・装置	3~8	計測回路	3~6	
		建築実習	7~25		

各教科	各教科に 属する科目	標準 単位数	各教科	各教科に 属する科目	標準 単位数
工 業	建築設計製図	7～25	工 業	工業化学実習	19～28
	建築計画	4～8		化学工業Ⅰ	6～9
	建築構造	4～6		化学工業Ⅱ	3～6
	建築構造設計	4～8		化学工業Ⅲ	3～6
	建築施工	3～6		化学工場	4～6
	建築法規	1～2		化学工業特論	2～6
	建築史	2～3		化学工業安全	2～4
	設備工業実習	9～18		放射化学	2～4
	設備設計製図	9～14		電気化学	2～4
	設備計画	3～6		化学工学実習	20～29
	空気調和設備	4～8		化学工学Ⅰ	4～8
	衛生設備	4～8		化学工学Ⅱ	4～6
	設備機械・電気	3～5		化学工学Ⅲ	3～6
	設備施工	3～5		窯業実習	10～25
	土木実習	6～15		窯業製図	3～6
	土木製図	4～12		窯業原料	2～4
	測 量	2～6		セラミック化学	4～8
	土木応用力学	2～8		窯業操作	4～8
	水 理	2～4		窯業計測	2～6
	土 質	2～4		窯業特論	2～10
	土木計画	2～6		色染化学実習	10～20
	土木設計	2～8		色染化学Ⅰ	3～6
	土木施工	2～8		色染化学Ⅱ	6～8
	地質工学実習	12～15		色染化学Ⅲ	6～10
	地質工学製図	2～4		染色工場	3～6
	地質工学Ⅰ	6～8		染色デザイン	2～4
	地質工学Ⅱ	5～8		繊維工学実習	15～20
	地下資源開発	5～8		繊維工学Ⅰ	4～8
	火 薬	2～4		繊維工学Ⅱ	8～12
	環境工学実習	10～20		繊維工学Ⅲ	4～6
	環境工学製図	2～6		繊維工場管理	2～4
	環境衛生	4～8		繊維デザイン	2～4
	環境計画	3～8		インテリア実習	8～25
	環境施設	6～12		インテリア	6～20
	水道Ⅰ	2～6		設計製図	
	水道Ⅱ	2～6		室内計画	2～8
環境衛生処理	2～6	室内材料	2～6		
環境管理	2～6	室内装備	2～6		

各教科	各属する科目	標準単位数	各教科	各属する科目	標準単位数
工業	家具生産	2～6	商業	商業法規	2～5
	木工機械	2～6		簿記会計Ⅰ	3～5
	塗装・接着	2～6		簿記会計Ⅱ	2～4
	デザイン実習	15～30		簿記会計Ⅲ	2～4
	デザイン製図	2～15		工業簿記	2～4
	デザイン計画	2～6		銀行簿記	2～4
	工業・ 工芸デザイン	2～8		機械簿記	2～5
	ビジュアル デザイン	2～4		税務会計	2～4
	デザイン材料	2～4		経理実践	3～5
	デザイン史	2～4		事務	2～5
	デザイン実務	2～4		事務機械	2～5
	工業管理実習	14～20		事務管理	2～5
	生産技術	8～15		計算実務	2～8
	生産管理	8～15		統計実務	2～4
	工業経営	2～8		経営数学	2～4
	工業概説	2～4		電子計算機一般	2～5
	製 図	2～8		プログラミング Ⅰ	3～8
	工学一般	2～6		プログラミング Ⅱ	2～5
	自動車一般	2～6		和文タイプ ライティング	2～6
	電気一般	2～6		英文タイプ ライティング	2～6
	機械製作	2～8		速 記	2～6
	機械一般	2～6		秘書実務	3～6
	溶 接	2～6		事務実践	3～5
	原子工学一般	2～6		商 事	2～5
	建築一般	2～4		売買実務	2～5
	土木一般	2～4		商 品	2～5
	化学工業一般	2～4		市場調査	2～4
	色染化学一般	2～4		広 告	2～5
	繊維工学一般	2～4		商業美術	2～6
	デザイン一般	6～12		商業英語	2～4
	工業英語	2～4		商業英会話	2～6
	工業に関する その他の科目			貿易実務	3～6
商業一般	3～5	商業実践	3～5		
経 済	2～4	商業に関する その他の科目			
経 営	2～4				

各教科	各教科に 属する科目	標準 単位数	各教科	各教科に 属する科目	標準 単位数	
水産	水産一般	2~4	理数	総合数学	13~18	
	漁業	4~10		計算機数学	2	
	海洋・気象	2~4		総合物理	6~9	
	漁船・運用	6~8		総合化学	6~9	
	航海・計器	8~10		総合生物	6~9	
	海事法規	2~4		総合地学	6~9	
	水産法規	2~4		理数に関する その他の科目		
	栽培漁業	4~10		音楽理論	3~9	
	資源・漁場	5~7		音楽史	3~6	
	漁業経営	6~8		ソルフェージュ	6~12	
	操船	4~8	合唱	3~9		
	漁獲物処理	2~4	合奏	3~9		
	水産増殖	10~15	声楽	2~9		
	水産生物	6~8	鍵盤楽器	2~9		
	水産土木	2~4	弦楽器	2~9		
	水産製造	8~10	管楽器	2~9		
	水産食品化学	6~10	打楽器	2~9		
	水産食品衛生	3~5	作曲	2~9		
	水産製造機器	6~10	音楽に関する その他の科目			
	漁船機関	10~15	美術	美術理論	3~9	
	機械設計工作	6~8		美術史	3~9	
	船用電機	4~6		素描	4~12	
	電気通信理論	10~12		基本造形	4~12	
	無線測定	3~5		彩画 A	4~12	
	無線機器	5~7		彩画 B	4~12	
	無線通信	8~10		版画	2~6	
	通信法規	4~6		彫刻	4~12	
	海洋実習	2~4		デザイン A	4~12	
	総合実習	4~12		デザイン B	4~12	
	乗船実習	4~12		製図	2~8	
	水産に関する その他の科目			写真	2~4	
	看護	看護概説		2~4	総合実習	2~4
		看護基礎医学		4~8	美術に関する その他の科目	
成人看護		6~12		その他特に 必要な教科 目	当該教科に 関する科目	
母子看護		2~4				
看護実習		20~27				
看護に関する その他の科目						



## 備 考

- 1 この表に掲げる「外国語に関するその他の科目」、「家庭に関するその他の科目」、「農業に関するその他の科目」、「工業に関するその他の科目」、「商業に関するその他の科目」、「水産に関するその他の科目」、「看護に関するその他の科目」、「理数に関するその他の科目」、「音楽に関するその他の科目」および「美術に関するその他の科目」は、学科の特質、学校や地域の実態などにより、この表に掲げる科目だけではその学校の教育課程を編成しがたい場合に用いるものとする。この場合において、その科目の名称、目標、内容、単位数等については、その科目の属する教科の目標に基づき、その学校の設置者の定めるところによる。
- 2 この表に掲げる「その他特に必要な教科」および「当該教科に関する科目」は、私立学校において宗教教育を行なう場合または学校においてたとえば体育に関する学科を設ける場合などで各学科の目標を達成するために特に必要がある場合に限り用いるものとする。これらの場合において、教科および科目の名称、目標、内容、単位数等については、その学校の設置者の定めるところによる。

### 第3款 各教科以外の教育活動

各教科以外の教育活動は、ホームルーム、生徒会活動、クラブ活動および学校行事から成るものとする。

### 第4款 各教科・科目の履修

- 1 次の各教科・科目をすべての生徒に履修させるものとする。
  - (1) 国語のうち「現代国語」および「古典Ⅰ甲」
  - (2) 社会のうち「倫理・社会」および「政治・経済」の2科目ならびに「日本史」、「世界史」および「地理A」または「地理B」のうち2科目
  - (3) 数学のうち「数学一般」または「数学Ⅰ」
  - (4) 理科のうち「基礎理科」1科目または「物理Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」および「地学Ⅰ」のうち2科目
  - (5) 保健体育のうち「体育」および「保健」
  - (6) 芸術のうち「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」、「工芸Ⅰ」および「書道Ⅰ」のうち1科目

教育課程を編成するに当たっては、すべての生徒に履修させる各教科・科目の単位数は、第1節第2款の標準単位数を下らないものとする。

なお、国語のうち「古典Ⅰ乙」を履修する場合には、「古典Ⅰ甲」の履修を要しないものとする。

- 2 普通科における各教科・科目の履修については、上記1のほか次のとおりとする。

- (1) 「体育」について、全日制の課程のすべての男子に履修させる単位数は、11単位を下らないようにすること。
- (2) 芸術について、すべての生徒に履修させる単位数は、3単位を下らないようにすること。
- (3) 「家庭一般」は、すべての女子に履修させるものとし、その単位数は、4単位を下らないようにすること。

3 専門教育を主とする学科における各教科・科目の履修については、上記1のほか次のとおりとする。

- (1) 職業教育を主とする学科およびその他専門教育を主とする学科（理数に関する学科、音楽に関する学科、美術に関する学科、体育に関する学科など）においては、専門教育に関する各教科・科目について、すべての生徒に履修させる単位数は、35単位を下らないようにすること。ただし、商業に関する学科においては、上記の単位数の中に外国語に属する科目の単位を10単位まで含めることができる。
- (2) 「家庭一般」は、すべての女子に履修させるものとし、その単位数は、4単位を下らないようにすること。ただし、女子生徒数がきわめて少数である場合など特別の事情がある場合は、この限りでない。
- (3) 第4款の1のすべての生徒に履修させる科目の内容と同一または類似の内容が専門教育に関する科目の内容に含まれている場合には、上記すべての生徒に履修させる科目を履修した場合と同様の成果を期待することができる限りにおいて、当該専門教育に関する科目を履修することによって、すべての生徒に履修させる科目の内容の一部を省略し、他の部分に重点をおいて履修させることができること。また、同一または類似の内容が多い場合には、上記と同様の成果を期待することができる限りにおいて、すべての生徒に履修させる科目の単位数の一部または全部の履修に替えることができること。

#### 第5款 各教科以外の教育活動の履修

- 1 ホームルームについては、各学年において週当たり1単位時間（1単位時間は、50分とする。以下同じ。）を下らないものとする。ただし、定時制の課程において特別の事情がある場合には、その授業時数の一部を減ずることができる。
- 2 クラブ活動については、原則として、各学年において週当たり1単位時間を下らないものとする。
- 3 生徒会活動および学校行事については、学校の実態に即してそれぞれ適切な授業時数を充てるものとする。

- 4 通信制の課程における各教科以外の教育活動の指導時数については、第3節の2に定めるところによる。

## 第2節 全日制および定時制の課程における教育課程

### 第1款 教育課程編成に当たって配慮すべき事項

教育課程を編成するに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

#### 1 一般的事項

- (1) 各教科・科目、ホームルームおよびクラブ活動の授業は、全日制の課程においては、年間35週を下らないように計画すること。
- (2) 全日制の課程における各学年の過当たりの授業時数は34単位時間を標準とし、原則として38単位時間をこえないようにすること。

定時制の課程における各学年の授業日数の季節的配分または週もしくは1日当たりの授業時数については、生徒の勤労状況と地域社会の諸事情を考慮して、適切に配当するようにすること。

- (3) 各教科・科目の授業は、1単位について1個学年35単位時間に相当する時間を下らないようにすること。
- (4) 生徒の能力・適性・進路等に応じてそれぞれ適切な教育をほどこすため、必要により、教育課程の類型を設け、そのいずれかの類型を選択して履修させるようにすること。この場合、その類型において履修させることになっている各教科・科目以外の各教科・科目を履修させたり、生徒が自由に選択履修することのできる各教科・科目をも設けるようにすること。
- (5) 定時制の課程の教育課程を編成するに当たっては、生徒の勤労や生活の状況などに即応し、負担過重になることを避け、教育効果を高めるようにすること。

#### 2 普通科において職業に関する各教科・科目を履修させる場合に配慮すべき事項

- (1) 生徒の必要や地域の実態を考慮して、「被服Ⅰ」、「食物Ⅰ」、「保育」、「家庭経営」、「作物」、「園芸」、「畜産」、「農業一般」、「林業一般」、「製図」、「自動車一般」、「電気一般」、「機械一般」、「商業一般」、「簿記会計Ⅰ」、「事務」、「計算実務」、「水産一般」などの科目のうちから適当なものを設け、生徒に履修させることが適当であること。
- (2) 職業に関する各教科・科目に、ある程度まとまった時間を配当することができる場合には、上記(1)の科目以外の各教科・科目を加えるなどして系統的に履修させ、専門的な知識と技術を習得させるように配慮すること。

#### 3 職業教育を主とする学科において配慮すべき事項

職業教育を主とする学科のうちのおもなものの標準的な目標は次のとおりであるから、それぞれの目標を達成するように教育課程を編成する必要があること。

(1) 農業に関するおもな学科の目標

ア 農 業 科

作物（園芸作物を含む。）の栽培、家畜の飼育および農業経営に関する知識と技術を習得させ、農業の経営者・技術者を養成する。

イ 園 芸 科

園芸作物の栽培および農業経営に関する知識と技術を習得させ、園芸を中心とする農業の経営者・技術者を養成する。

ウ 畜 産 科

家畜の飼育および農業経営に関する知識と技術を習得させ、畜産を中心とする農業の経営者・技術者を養成する。

エ 蚕 業 科

蚕の飼育および農業経営に関する知識と技術を習得させ、蚕業を中心とする農業の経営者・技術者を養成する。

オ 食品製造科

農畜産物を中心とする食品の加工および貯蔵に関する知識と技術を習得させ、食品製造に関する業務に従事する技術者を養成する。

カ 農業土木科

土地改良および農地の保全・開発に関する知識と技術を習得させ、農業土木に関する業務に従事する技術者を養成する。

キ 林 業 科

木材の生産、治山治水および林業経営に関する知識と技術を習得させ、林業の技術者を養成する。

ク 木材加工科

木材の加工および林産物の製造に関する知識と技術を習得させ、木材の加工利用に関する業務に従事する技術者を養成する。

ケ 造 園 科

造園植物の育成および造園の設計・施工・管理に関する知識と技術を習得させ、造園に関する

る業務に従事する経営者・技術者を養成する。

## コ 生活科

農業および家庭生活に関する知識と技術を習得させ、農家を経営する婦人を養成する。

## (2) 工業に関するおもな学科の目標

### ア 機械科

機械に関する知識と技術を習得させ、機械工業およびこれに関連する諸分野において、製造、管理、企画、設計、研究、整備、営業などの業務に従事する技術者を養成する。

### イ 自動車科

自動車に関する知識と技術を習得させ、自動車工業およびこれに関連する諸分野において、製造、管理、企画、設計、研究、整備、販売、技術サービスなどの業務に従事する技術者を養成する。

### ウ 造船科

造船に関する知識と技術を習得させ、造船工業およびこれに関連する諸分野において、建造、修理、企画、設計、管理、研究などの業務に従事する技術者を養成する。

### エ 金属工業科

金属に関する知識と技術を習得させ、金属工業およびこれに関連する諸分野において、金属材料の製造、加工、試験、研究などの業務に従事する技術者を養成する。

### オ 電気科

電気に関する知識と技術を習得させ、電気機器製造業、電気事業およびその他の電気関係の諸分野において、製造、管理、運用、保守、技術サービスなどの業務に従事する技術者を養成する。

### カ 電子科

電子に関する知識と技術を習得させ、電子工業およびこれに関連する諸分野において、製造、管理、運用、保守、技術サービスなどの業務に従事する技術者を養成する。

### キ 情報技術科

電子計算機に関する知識と技術を習得させ、電子計算機を利用する工業生産、電子計算機の製造などの諸分野において、情報処理、製造、管理、運用、保守などの業務に従事する技術者を養成する。

### ク 工業計測科

工業計測に関する知識と技術を習得させ、計測機器製造業および工業計測の応用される諸分野において、企画、設計、製造、操作、管理などの業務に従事する技術者を養成する。

#### ケ 建築科

建築に関する知識と技術を習得させ、建築業、建築行政などの諸分野において、建築の設計、施行、監理、指導などの業務に従事する技術者を養成する。

#### コ 設備工業科

設備工業に関する知識と技術を習得させ、建設業、製造業などの諸分野において、空気調和・給排水衛生設備などの計画、設計、施工、管理、保全などの業務に従事する技術者を養成する。

#### サ 土木科

土木に関する知識と技術を習得させ、建設業、土木行政などの諸分野において、土木工事の計画、設計、施工、管理、指導などの業務に従事する技術者を養成する。

#### シ 地質工学科

地質工学に関する知識と技術を習得させ、鉱業、建設業などの諸分野において、地下資源の調査・開発、建造物の基礎工事のための調査・設計・施工などの業務に従事する技術者を養成する。

#### ス 環境工学科

環境工学に関する知識と技術を習得させ、水道事業、環境保全事業などの諸分野において、調査、計画、設計、施工、管理などの業務に従事する技術者を養成する。

#### セ 工業化学科

工業化学に関する知識と技術を習得させ、化学工業およびその他の化学を応用する諸分野において、製造、試験、研究、技術サービスなどの業務に従事する技術者を養成する。

#### ソ 化学工学科

化学工学に関する知識と技術を習得させ、化学工場その他の化学工業関係の諸分野において、装置の運転・管理、研究、技術サービスなどの業務に従事する技術者を養成する。

#### タ 窯業科

窯業に関する知識と技術を習得させ、窯業およびこれに関連する諸分野において、製造、企画、研究、試験などの業務に従事する技術者を養成する。

#### チ 色染化学科

色染化学に関する知識と技術を習得させ、染色工業およびこれに関連する諸分野において、製造、企画、試験、研究、検査などの業務に従事する技術者を養成する。

ツ 繊維工学科

繊維工学に関する知識と技術を習得させ、繊維工業およびこれに関連する諸分野において、製造、企画、試験、研究、検査などの業務に従事する技術者を養成する。

テ インテリア科

インテリアに関する知識と技術を習得させ、室内環境の構成、施工などに関する諸分野において、企画、設計、施工、製造などの業務に従事する技術者を養成する。

ト デザイン科

デザインに関する知識と技術を習得させ、産業界などにおけるデザインに関する諸分野において、デザインの制作、研究などの業務に従事する技術者を養成する。

ナ 工業管理科

工業管理に関する知識と技術を習得させ、製造工業の諸分野において、生産の管理に関する業務に従事する技術者を養成する。

(3) 商業に関するおもな学科の目標

ア 商業科

広く産業における商事活動、事務および経営管理に関する知識と技術を習得させ、これらの業務に従事する者を養成する。

イ 経理科

簿記会計および財務に関する知識と技術を習得させ、経理に関する事務に従事する者を養成する。

ウ 事務科

事務およびその管理に関する知識と技術を習得させ、各種の事務に従事する者を養成する。

エ 情報処理科

事務および電子計算機の利用に関する知識と技術を習得させ、情報処理に関する事務に従事する者を養成する。

オ 秘書科

秘書として必要な文書事務、応接などに関する知識と技術を習得させ、秘書の職務またはこれに類する事務に従事する者を養成する。

カ 営 業 科

販売を中心として、広く商事活動に関する知識と技術を習得させ、売買に関する業務に従事する者を養成する。

キ 貿 易 科

外国との商取引およびその業務処理に関する知識と技術を習得させ、貿易に関する業務に従事する者を養成する。

(4) 水産に関するおもな学科の目標

ア 漁 業 科

漁業および漁船の運航に関する知識と技術を習得させ、主として漁船に乗り組んで漁業生産に従事する技術者を養成する。

イ 漁業経営科

沿岸漁場における漁業生産およびその経営に関する知識と技術を習得させ、沿岸漁業や栽培漁業に従事する経営者・技術者を養成する。

ウ 水産増殖科

水産生物およびその増殖に関する知識と技術を習得させ、水産養殖に関する業務に従事する技術者を養成する。

エ 水産製造科

水産物を中心とする食品の製造に関する知識と技術を習得させ、食品製造に関する業務に従事する技術者を養成する。

オ 機 関 科

漁船機関に関する知識と技術を習得させ、主として漁船に乗り組んで機関の運転管理に従事する技術者を養成する。

カ 無 線 通 信 科

無線通信に関する知識と技術を習得させ、漁業局などにおける無線通信業務に従事する技術者を養成する。

(5) 家庭に関するおもな学科の目標

ア 家 政 科

家庭経営の立場から家庭生活に関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭生活に関する仕事に従事する能力を有する者を養成する。



#### イ 被服科

被服の製作、衣生活の経営などに関する専門的な知識と技術を習得させ、被服に関する仕事に従事する能力を有する者を養成する。

#### ウ 服飾デザイン科

被服のデザイン、製作などに関する専門的な知識と技術を習得させ、服飾に関する仕事に従事する能力を有する者を養成する。

#### エ 食物科

調理、食生活の経営などに関する専門的な知識と技術を習得させ、食物に関する仕事に従事する能力を有する者を養成する。

#### オ 保育科

児童の心身の発達、保育の方法などに関する専門的な知識と技術を習得させ、保育に関する仕事に従事する能力を有する者を養成する。

### (6) 看護に関するおもな学科の目標

#### 衛生看護科

看護に関する知識と技術を習得させ、医療、保健の機関などにおいて、看護の仕事に従事する者を養成する。

### 第2款 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

1 学校においては、各教科・科目、各教科以外の教育活動について相互の関連を図り、全体として調和のとれた具体的な指導計画を作成し、発展的、系統的な指導を行なうものとする。

なお、指導計画の作成に当たっては、この章ならびに第2章以下に示す各教科・科目および各教科以外の教育活動の指導計画の作成に関する事項にじゅうぶん留意するものとする。

2 第2章に示す各教科・科目の内容は、特に示す場合を除き標準単位数に基づいて示したものであるが、学校において標準単位数をこえて単位数を配当する場合には、第2章に示した事項に習熟させることをたてまえとする。

3 学校においては、第2章以下に示していない事項を加えて指導することもさしつかえないが、その場合には、第2章以下に示している教科および科目または各教科以外の教育活動の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担過重となることのないようにするものとする。

4 第2意に示す各教科・科目の内容に掲げる事項の順序は、特に示す場合を除き、指導の順序を示すものではないので、学校においては各事項のまとめ方や順序にくふうを加え、効果的な指導を行

なうものとする。

- 5 第2章以下に示す各教科・科目および各教科以外の教育活動の内容に関する事項の指導に当たっては、特に示す場合のほか、それぞれの目標および内容の趣旨を逸脱しない範囲内で、生徒の実態を考慮して、重点のおき方に適切なくふうを加え、指導の効果を高めるように努めるものとする。
- 6 第2章に示す職業に関する各教科・科目については、次の事項に配慮するものとする。
  - (1) 職業に関する各教科・科目は、それぞれの各教科・科目の履修に必要な実験・実習などを含めて組織されているものであるから、理論と実際が遊離しないように取り扱うこと。
  - (2) 職業に関する各教科・科目のうち、実習に関する科目の指導に当たっては、関係する各教科・科目と密接な関連を図るとともに、実習を通して必要な技術を総合的に習得させ、勤労についての正しい観念や習慣を養うようにすること。
  - (3) 職業に関する各教科・科目については、現場実習をもって実習に替えることができること。この場合、現場実習は、その各教科・科目の内容に直接関係があり、かつ、その一部としてあらかじめ計画され、教師の指導のもとに行なわれ、また、その成果が教育的に評価できるものであることを要し、その時間数は実習の総時間数の10分の7以内とすること。
  - (4) 家庭および農業に関する各教科・科目の指導に当たっては、ホームプロジェクト（家庭実習）ならびに学校家庭クラブおよび学校農業クラブの活動を活用して、学習の効果をあげるようにすることが望ましいこと。この場合、ホームプロジェクトについては、その科目の授業時数の10分の2以内をこれに充てることのできることを要し、その時間数は実習の総時間数の10分の7以内とすること。
- 7 以上のほか、次の事項について配慮するものとする。
  - (1) 個々の生徒の能力・適性等の的確な把握に努め、その伸長を図り、生徒に適切な各教科・科目や類型を選択させるように指導するとともに、進路指導を適切に行なうこと。特に心身に障害のある生徒については、生徒の実態に即した適切な指導を行なうこと。
  - (2) 教師と生徒および生徒相互の好ましい人間関係を育て、生徒指導の充実を図ること。
  - (3) 教科書その他の教材・教具を活用し、学校図書館を計画的に利用すること。

なお、学校の実態に即して視聴覚教材を適切に選択し、活用して、指導の効果を高めること。
  - (4) 指導の効率を高めるため、教師の協力的な指導が行なわれるようくふうするとともに、生徒の興味や関心をじゅうぶん把握し、自主的、自発的に学習する意欲を高めるように指導すること。
  - (5) 指導の成果を絶えず評価し、指導の改善に努めること。
  - (6) 実験・実習に当たっては、特に安全と保健に留意すること。

### 第3款 道徳教育

学校における道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて行なうことを基本とする。したがって、各教科・科目および各教科以外の教育活動においてそれぞれの特質に応ずる適切な指導を行なわなければならない。

道徳教育の目標は、教育基本法および学校教育法に定められた教育の根本精神に基づく、すなわち、道徳教育は、人間尊重の精神を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、個性豊かな文化の創造と民主的な社会および国家の発展に努め、進んで平和的な国際社会に貢献できる日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うことを目標とする。

その際、生徒の心身の発達に即応して、特に、自律の精神や社会連帯の精神および責任を重んずる態度や差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養うための指導が適切に行なわれるようにしなければならない。

### 第4款 体 育

健康で安全な生活を営むのに必要な習慣や態度を養い、心身の調和的発達を図るため、体育に関する指導については、学校の教育活動全体を通じて適切に行なうものとする。特に、体力の向上については、体育および保健の科目の時間はもちろん各教科以外の教育活動においても、じゅうぶん指導するよう配慮しなければならない。

### 第5款 単位の修得および卒業の認定

- 1 学校は、生徒が学校の定める指導計画に従って各教科・科目を履修し、その成果が教科および科目の目標からみて満足できると認められる場合には、その各教科・科目について履修した単位を修得したことを認定しなければならない。この場合、1科目を2以上の学年にわたって分割履修したときは、学年ごとにその各教科・科目について履修した単位を修得したことを認定するものとする。
- 2 学校においては、卒業までに履修させる各教科・科目およびその単位数ならびに各教科以外の教育活動およびそれらの授業時数に関する事項を定めるものとする。この場合、各教科・科目の単位数の計は、第1節第4款に掲げる各教科・科目の単位数を含めて85単位以上とする。
- 3 学校においては、卒業までに修得させる各教科・科目およびその単位数を定め、校長は、それらの各教科・科目およびその単位を修得した者で、各教科以外の教育活動の成果がその目標からみて満足できると認められるものについて、高等学校の全課程の修了を認定するものとする。この場合、各教科・科目について修得させる単位数の計は、85単位以上とする。

### 第3節 通信制の課程における教育課程

通信制の課程における教育課程については、下記に定めるところによるほか、第2節（第1款の1ならびに第2款の6の(3)および(4)を除く。）の定めるところによる。

### 1 添削指導、面接指導および試験

- (1) 各教科・科目の添削指導の回数および面接指導の単位時間数（1単位時間は、50分とする。）の標準は、1単位につき次の表のとおりとすること。

各教科・科目	添削指導(回)	面接指導(単位時間)
国語、社会および数学に属する科目	3	1
理科に属する科目	3	4
保健体育のうち体育	1	8
保健体育のうち保健	3	1
芸術に属する科目	5	4
外国語に属する科目	3	4
専門教育に関する各教科・科目	各教科・科目の必要に応じて2～3	各教科・科目の必要に応じて2～8

- (2) 職業に関する各教科・科目を履修する生徒が、現にその各教科・科目と密接な関係を有する職業（家事を含む。）に従事している場合において、その職業における実務等があらかじめ学校がたてた指導計画に照らして、その各教科・科目の実習として適切なものであると認められるときは、その生徒について、その各教科・科目の面接指導の時間数の10分の3以内の時間数を免除することができること。

- (3) 学校が、その指導計画に、各教科・科目または各教科以外の教育活動について計画的かつ継続的に行なわれるラジオ放送またはテレビ放送をとりいれた場合で、生徒がその放送を視聴し、その成果が満足できると認められるときは、その生徒について、その各教科・科目の面接指導の時間数または各教科以外の教育活動の時間数のうち、ラジオ放送またはテレビ放送についてそれぞれ10分の5以内の時間数を免除することができること。ただし、免除する時間数は、あわせて10分の6をこえることができない。

- (4) 試験は、原則として、1単位当たり1回行なうことが望ましいこと。

### 2 各教科以外の教育活動

各教科以外の教育活動については、ホームルームおよびクラブ活動を含めて、おのおのの生徒の

卒業までに50単位時間以上指導するものとする。

**3 教育課程編成に当たって配慮すべき事項**

- (1) 生徒の勤労や生活の状況などに即応し、負担過重になることを避け、教育効果を高めるようにするものとする。
- (2) 各教科・科目の面接指導および各教科以外の教育活動の指導は、生徒が卒業までに標準として80日間（協力校等における指導日数を含む。）出校して受けられるよう計画するものとする。

34. 米国、英国における大学入学者選抜方式と統一テスト実施機関の概要

(1) 大学入学選抜方式

事 項	米 国	英国 (イングランドとウェールズ)
(1)入学基礎資格	12年の初等・中等教育の課程を修了すること。	GCE試験 (一般修学証書試験……中等教育修了程度の学力を検定する科目別の統一的な試験で、普通レベル [16歳段階]と上級レベル[18, 19歳段階]とに分れる。)の上級レベル2～3科目に合格すること。
(2)大学入学者の選抜方式	<p>大学入学者の選抜方式は次のタイプに大別される。</p> <p>(1)入学試験によらないもの</p> <p>主として州立大学の一部で採用されている。</p> <p>①中等学校で取得すべき単位数や履修すべき教科について一定の条件を設け、入学志願者の中等学校での履修状況や学習成績を審査して、入学者の可否を決定する。</p> <p>②州の認定した中等学校の卒業者であれば、原則として入学を許可する。</p> <p>(2) 入学試験によるもの</p> <p>①大学は独自の入学試験を行わずに専門試験機関である大学入学試験委員会 (CEE B) 又は大学テスト協会 (A C T) 等の行う統一テストの成績と中等学校の調査書等とを勘案して入学者の可否を判定する。</p>	<p>(1)大学の入学者選抜方式</p> <p>総合大学を中心に設けられた8試験機関が行うGCE試験において受験すべき科目の数及びレベルは、各大学又は学部によって定められるが一般に、最低5～6科目、うち少なくとも2～3科目を上級レベルで合格していることが必要である。</p> <p>合格科目の成績、中等学校の調査書、大学によっては、さらに学部等ごとに実施する独自の試験(面接・筆記試験)の成績等を判定資料として、入学者を決定する。</p> <p>(独自の筆記試験を付加して課すものにオックスフォード、ケンブリッジ大学等がある。)</p> <p>(2)教育カレッジ等の入学者選抜方式</p> <p>GCE試験において5～6科目を普通レベルで合格していることが必要である</p>

事 項	米 国	英国（イングランドとウェールズ）
<p>(2)大学入学者の選 抜方式。</p>	<p>これに、大学が独自に行う小論文テスト、面接等を加える大学があり、私立大学ではさらに同窓会の推せんが加えられている大学もある。</p> <p>これらの方式を採用する大学には、専任の入学担当官が配置されており、入学者選抜の方針について研究し、選抜業務を遂行するとともに、各中等学校の教育内容や教育水準についての情報収集を行っている。</p> <p>一般的にこの方式を採用している大学が多い。</p> <p>②各大学が独自で入学試験を行うもの</p> <p>この方式を採用している大学は極く一部の私立大学に限られている。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●カリフォルニア大学（州立）、ハーバード大学、プリンストン大学等の例</li> </ul> <p>大学入試委員会（CEE B）の進学適性テストと学力テスト（3科目以上）の受験を必要とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●マサチューセッツ工科大学の例</li> </ul> <p>CEE B の進学適性テストと学力テスト（数学／化学又は処理／作文又は米国史又は西洋史の3科目）の受験を必要とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ミシガン州立大学の例</li> </ul>	<p>が、近年では、大学と同様に、そのうちの、1～2科目を上級レベルで合格していることが要求されている。このほか、中等学校の調査書を判定資料に加えて、入学者を決定する。</p> <p>(3)大学入試事務を一括処理するための機関</p> <p>総合大学及び教育カレッジへの入学志願者について、出願から決定通知に至るまでの事務処理を一括して行う機関として、大学入試事務統一協議会（UCC A）と教員養成大学入学者選抜調整機関（CRCH）がある。</p> <p>これらは入学者の選考には関与せずすべての入学志願者の入学願書を一括受理し、志願者の志望順位により第1志望から第6志望まで、志望校に合格するまで順次入学願書を回付する事務を行う。</p> <p>(参考)</p> <p>近年の後期中等教育進学者の増加に伴い、試験制度全体の改革が検討されている。</p>

事 項	米 国		英国 (イングランドとウェールズ)		
	CEEBの進学適性テストの受験を必要とする。				
(3)大学数, 進学率 等		大学(4年制)	短期大学	大学(学位課程) 1973~74年	
	校 数	1,672	934(1972)	校 数	44
	入 学 者 数	1,757千人(1973)		入 学 者 数	44千人
	該当年令人口 当りの進学率	43.1%(1973)		該当年令人口 当りの進学率	約8%

(2) 統一テストとその実施機関

(ア) 米 国

高等教育機関への入学者選抜のための統一的なテストとしては、

- ①大学入学試験委員会(CEEB)の大学共通テストプログラム(CEEB-ATP)
- ②大学テスト協会(ACT)のACT評価プログラム(ACT-APP)がある。

事 項	大学入学試験委員会 (CEEB)	大学テスト協会 (ACT)
(1)統一テストの受験資格	主として大学への進学を希望する中等学校第12学年(18歳)の生徒及び中等学校修了者であるが、第10, 11学年の生徒も受験することができる。	
(2)機関の創立	非営利教育法人 1900年に東部12大学の共通入試テストを行うためにコロンビア大学を中心に して創立。	非営利教育法人 1959年に中西部の公立大学の共通入試 テストを行うために、アイオワ大学を 中心に創立。
(3)加盟機関数 (テスト結果利用 機関)	1975年現在 2,313 (1,041大学〔4年 制大学の60%〕 136短大, 999高校, 66奨学団体等) 機関が加盟	1976年現在 2,576 (大学, 短大, 高校 奨学団体等) 機関が加盟〔大学は2,000 以上〕(CEEBと重複して加盟している 大学が多く、ほとんどの大学がいずれ かに加盟している。)
(4)業務の内容	大学共通テストプログラムをはじめ、 各種のテストの基本方針の決定と検査 のための調査研究を行っている。	大学共通テストであるACT評価プロ グラムをはじめ各種のテストの問題作 成、テストの実施及び調査研究を行っ



事 項	大学入学試験委員会 (CEE B)	大学テスト協会 (ACT)
(4)業務の内容	<p>問題の作成・テストの実施・採点等の実際の業務は、CEE B の監督の下に、1947年にCEE B から独立したテスト専門機関である「教育テストサービス (ETS)」(プリンストン市) が行っている。</p>	<p>ている。 テストの採点・集計等は「ウエスチングハウス・ラーニング社の測定研究センター」(アイオワ市) (WLC-MRC) に委託している。</p>
(5)支部数・職員数	<p>本部：ニューヨーク市 支部：米国内8個所，プエルトリコ1個所 全職員数：約 2,000人(1975) ETS：本部：プリンストン市，支部：パークレイ市 (カリフォルニア) 全職員数：2,000人(1975)</p>	<p>本部：アイオワ市 支部：米国内15個所 本部職員数：約 500人(1975～76) WLC-MRC：アイオワ市職員数：450人(1976)</p>
(6)財 政	<p>加盟機関の出資金と出版活動，調査研究結果の提供，連邦政府からの委託事業等の収益により運営 収入合計 4,369万ドル (131.1億円) (1975～76)</p>	<p>加盟機関の出資金と出版活動，調査研究結果の提供，連邦政府からの委託事業，テスト事業等の収益により運営収入合計 1,821万ドル(54.6億円) (1975～76)</p>
	<p>(ETS) テストの実施，研究成果の配布等の収入合計5,391万ドル (166億円) (1973～74)</p>	<p>(WLC-MRC) 民間会社のため不明</p>
(7)統一テストの概要 ①テストの種類，科目数，テスト時間	<p>テストはすべてマークシート方式による客観式テスト ○進学適性テスト (SAT) 基礎的な言語表現能力と数理的能力をテストする。テスト時間は 2.5時間 ○学力テスト (ACH)</p>	<p>テストはすべてマークシート方式による客観式テスト ○学力テスト 中等学校における学習の達成度を評価し，大学教育への一般的能力を測定する。</p>

事 項	大学入学試験委員会 (CEE B)	大学テスト協会 (ACT)												
(7)統一テストの概要 ①テストの種類, 科目数, テスト時間	<p>中等学校における学習の達成度を評価する。16科目 (客観テスト) テスト時間は, 1 科目 1 時間</p>	<p>(CEE BのSATとACHテストの中間的性格で基礎的な面を重視する)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">科目は英語</td> <td style="text-align: center;">75問</td> <td style="text-align: center;">40分</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">数学</td> <td style="text-align: center;">40問</td> <td style="text-align: center;">50分</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">社会</td> <td style="text-align: center;">52問</td> <td style="text-align: center;">35分</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">理科</td> <td style="text-align: center;">52問</td> <td style="text-align: center;">35分</td> </tr> </table>	科目は英語	75問	40分	数学	40問	50分	社会	52問	35分	理科	52問	35分
科目は英語	75問	40分												
数学	40問	50分												
社会	52問	35分												
理科	52問	35分												
②採点とその処理	<p>○SAT, ACHテストとも成績は平均が 500点, 標準偏差が 100点となるような標準得点に換算され, 最高 800点最低 200点の範囲内である。</p> <p>○学力テスト (ACH) の科目間の難易度を調整するため, 共通に受けた進学適性テストの成績が利用されてこれを行う。</p> <p>○テストの時期によるテストの困難度の差を調整するため, 少くとも約20%は過去に出題した問題を使用する。</p>	<p>学力テストの成績は, 科目ごとに素点を標準得点 (1~36点) に換算し, 4科目の平均点を総合点とする。このほか, パーセンタイル順位によっても表示される。</p> <p>受験の時期による得点の修正を中等学校第12学年 (高校3年) の10月受験を基準に行う。</p>												
③テスト問題の作成	<p>問題作成の基本方針はCEE Bの高校大学等の代表者による委員会で決定されるが, 基本的問題の作成はETS職員と高校・大学の教員 (外部委嘱者) によって行われる。問題は設問単位で, 予備テスト等を経て作成され, 困難度を測定の後蓄積される。</p> <p>試験問題は, これらの蓄積された設問</p>	<p>CEE Bの問題作成と同様に作成される。</p>												

事 項	大学入学試験委員会 (CEE B)	大学テスト協会 (ACT)
③テスト問題の作成	の組合せで作成される。	
	問題は非公開で、テスト終了後回収されるが、問題例は発表されている。	
④テストの実施等	テストは年 6 回実施 (原則として土曜日) 受験場 4,100 (主として高校) 高校長が試験責任者となり、教員が監督する 受験申込み: 5 週間前 基本受験料: 進学適性テスト 6.5ドル 学力テスト (3 科目以内) 11ドル	年 5 回実施 (原則として土曜日) 2,800 (主として高校) 高校長が試験責任者となり、教員が監督する。 2 カ月前 7.5ドル
⑤延受験者数 (1975~76)	進学適性テスト 1,541千人 学力テスト 327千人	ACT テスト 963千人
⑥テスト成績の報告	テスト終了後、6 週間以内に成績を志望大学、本人、在籍高校等に送付される。	テスト終了後、5 週間以内に志望大学、6 週間以内に本人、在籍高校、奨学団体等に送付される。 テスト受験時に申告した高校の課外活動状況、進路志望等についての分析も同時に送付される。
⑦重複受験	約40%の受験生が進学適性テストを 2 回受けている (多くは 5 月と 12 月) が平均点において 15~20 点の上昇がみられるが、逆に受験生の 35~40% は、2 回目の受験の成績が下がっている。 2 回受験した場合も両方の成績が報告される。	
⑧身障者のテスト	身体障害者用にテストが準備されており、点字テスト等が行われるが、障害の程度が千差万別であるため、採点基準を同一にすることが困難である。	

(4) 英 国

① GCE試験の性格

Ⓐ GCE試験は、大学等の高等教育機関への入学資格試験であると同時に、一定の職業に対する就職資格の役割をも果している。

Ⓑ GCE試験は、総合大学を中心に設けられた八つの試験機関によつて実施される統一的な学力試験であつて、試験の形式、科目等は試験機関によつて異なるが、国は、教育課程・試験審議会（学校審議会と略称）を通じて、各試験機関が実施する試験の内容及び採点の方法等について全国的見地から調整を行い、また、各試験機関も相互に連絡調整を行つているので、全国的に同一条件で、資格が認められている。

② GCE試験の受験資格等

Ⓐ 通常、中等学校に5年以上在学し、満16歳に達した者に与えられる。ただし、校長の許可があれば満15歳の生徒でも受験することができる。この試験は主として中等学校在学者を対象にしたものであるが、教育機関に在学していない者も受験できる。

Ⓑ GCE試験の大半の試験科目について普通レベルと上級レベルの二種類の問題が用意される。

普通レベルの受験……………通常、中等学校第5学年終了時（16歳）

上級レベルの受験……………普通レベルの受験後2～3年後（18～19歳）

特 別 試 験……………上級レベルの問題よりも程度が高く、2科目以内が受験でき、大学の優等課程の入学者を選抜する。

③ 試験機関の組織等

Ⓐ 試験機関はケンブリッジ大学、マンチェスター大学等、ロンドン大学、ケンブリッジ大学とオクスフォード大学、オクスフォード大学、ブリストル大学等、ウェールズ大学の7大学等が中心になっている7地方の試験委員会、大学と関連のない試験委員会がロンドンにあり合計8試験委員会である。

Ⓑ ケンブリッジ大学が中心になっている「ケンブリッジ大学地方試験委員会（CULES）」の組織構成を例示すれば次のとおりである。

○常勤職員数：約 300人 臨時職員は夏期約 200人 各期約 100人

○試験を管理する学校試験委員会の構成：19人

（中等学校長 男女各2人、同副校長男女各2人、地方教育当局職員3人、大学関係者）  
（5人を含む7人の評議員及び委員長（中等学校長））

○科目別委員会：出題範囲要目を作成し、試験問題の評価を行い、試験委員や調整委員の任命や指導を担当する。科目別委員会は、18おかれ、151人の中等学校教員、60人の大学教員で構成されている。

○試験委員：約 3,900人

○受験者（延数）43.5万人（1970年）

### ③ 試験科目

① 全国的に通算すると普通レベルで 175種類、上級レベルで 120種類の試験科目があるが、一つの試験機関が用意する試験科目の数は50以上で、その大半について普通レベルと上級レベルの二種類の問題が用意される。

② 試験科目は、古典語、国語、歴史、地理、数学、物理、化学等の基礎的な科目と、木工、金工、被服、手芸、音楽等の技術、技能科目も含まれている。

③ 試験は筆記試験中心で論文式であるが、普通レベルでは、マークシート方式による多肢選択の客観式テストが多く採用されている。一部の科目については口述試験、実技試験が課せられる。

④ 出題と採点は各試験機関ごとに、科目別委員会の下に各試験委員が行う。

### ④ 科目別の評定

① 普通レベルの各科目の試験は、9段階で評価され、グレード1～6までが合格であり、

② 上級レベルの試験は7段階で評価され、A～Eまでが合格で、一般にEは得点が40～49点である。

③ 特別試験は、秀、優、不合格の3段階である。

④ 平均合格率は普通レベルで約60%、上級レベルで約70%である。

### ⑤ 試験の時期

① 夏期と冬期の2回行われる。夏期試験は6月または7月、冬期は11～12月又は1月に実施される。冬期試験は、主として、夏期試験の不合格者あるいは病気等の事情により夏期試験を受験できなかった者を対象に行われるが、夏期試験に比して科目数が少ない。

② 冬期試験の科目別平均合格率は、普通レベル、上級レベルとも約50%である。

### ⑥ 出願、試験の実施、試験官

各地方の試験機関を受験者が任意に選択して出願することができる。ただし、一定数以上まとまって出願すると、その在学している学校が試験場として指定される。

⑥ 試験場となる学校の校長は、試験機関に対して、指示どおり、公正に試験を実施する責任を負い、教員が試験を実施する。試験機関は必要に応じ職員を派遣し、監督する。

⑦ 試験の出願期日と受験料は通常次のとおりである。

出願締切り	夏期試験	2月	
	冬期試験	9月	
受験料等	出願登録料	2.40ポンド	(1976)
	受験料	1科目につき	普通レベル 2.00ポンド
		〃	上級レベル 3.90ポンド

⑧ 受験生は志望大学・学部が要求する科目、レベルを参考にして出願科目を定める。

⑦ 試験結果の処理

試験の結果は、試験機関から、各学校長に対し、その学校に在学する受験者の科目別成績一覧表が送られ、学校長は、教員、受験者に通知する。

合格証書は各試験機関が交付するが、全国的に通用する。

⑧ 合格数

○1974年夏期試験（上級レベル）

総受験数 478,000科目人……………受験者数×科目数

総合格数 330,000科目人

合格率 69.1%

○1973～4年に上級レベル 2科目以上に合格し、大学へ進学した者：44千人

35. 科目別度数分布図

(KONP78) コクサイキョウ		キョウガク 15 <sup>0</sup> ヲク		カモクノヲ トノスウブノツブス					11/17/76	PAGE 1
カモクノイ ツブス	ツブス	ツブス 9819	ツブス 91	ツブス 65	ツブス 56	ツブス 47	ツブス 13	ツブス 56.17		
ツブス	ツブス	ツブス	ツブス	ツブス	ツブス	ツブス	ツブス	ツブス	ツブス	
			1	2	3	4	5			
			1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890			
		96 - 100								
2	0.02	91 - 95								
30	0.31	86 - 90								
129	1.31	81 - 85 *								
364	3.71	76 - 80 ***								
736	7.50	71 - 75 *****								
1079	10.99	66 - 70 *****								
1372	13.97	61 - 65 *****								
1459	14.86	56 - 60 *****								
1414	14.40	51 - 55 *****								
1204	12.26	46 - 50 *****								
975	9.93	41 - 45 *****								
607	6.18	36 - 40 *****								
292	2.97	31 - 35 **								
108	1.10	26 - 30 *								
37	0.38	21 - 25								
10	0.10	16 - 20								
1	0.01	11 - 15								
		6 - 10								
		0 - 5								

0E744  
87 I

50 744567890  
9660

9170  
100

911  
64

4270  
49

913  
36

9171  
0

7470  
50.55

02870

7470

7470

1 2 3 4 5  
12345678901234567890123456789012345678901234567890

121	1.25	96 - 100 *
208	2.15	91 - 95 **
263	2.72	86 - 90 **
330	3.42	81 - 85 ***
387	4.01	76 - 80 ****
426	4.41	71 - 75 ****
473	4.90	66 - 70 ****
653	6.76	61 - 65 *****
756	7.83	56 - 60 *****
835	8.64	51 - 55 *****
941	9.74	46 - 50 *****
989	10.24	41 - 45 *****
920	9.52	36 - 40 *****
724	7.49	31 - 35 *****
580	6.00	26 - 30 *****
423	4.38	21 - 25 ****
285	2.95	16 - 20 **
188	1.95	11 - 15 *
112	1.16	6 - 10 *
46	0.48	0 - 5



カエクバツ  
スウツク

シクニツク  
99

クニク  
100

クニ 41  
67

クニ 42  
48

クニ 43  
35

クニ 44  
5

クニ 45  
50.00

ニクニク

ヒリ

クニク

1 2 3 4 5  
1234567890123456789012345678901234567890

2	2.02	96 - 100 **
1	1.01	91 - 95 *
1	1.01	86 - 90 *
5	5.05	81 - 85 *****
8	8.08	76 - 80 *****
4	4.04	71 - 75 ****
3	3.03	66 - 70 ***
7	7.07	61 - 65 *****
10	10.10	56 - 60 *****
4	4.04	51 - 55 ****
8	8.08	46 - 50 *****
7	7.07	41 - 45 *****
13	13.13	36 - 40 *****
6	6.06	31 - 35 *****
7	7.07	26 - 30 *****
3	3.03	21 - 25 ***
6	6.06	16 - 20 *****
1	1.01	11 - 15 *
1	1.01	6 - 10 *
2	2.02	0 - 5 **

12月 14日	12月 14日	12月 14日	12月 14日	12月 14日	12月 14日	12月 14日	12月 14日
9310	100	75	61	49	10	61.55	

12月 14日	12月 14日	1	2	3	4	5
1234567890	1234567890	01234567890	01234567890	01234567890	01234567890	01234567890

100	1.07	96 - 100 *
329	3.53	91 - 95 ***
480	5.16	86 - 90 *****
636	6.83	81 - 85 *****
737	7.92	76 - 80 *****
820	8.81	71 - 75 *****
836	8.98	66 - 70 *****
898	9.65	61 - 65 *****
949	10.19	56 - 60 *****
897	9.63	51 - 55 *****
774	8.31	46 - 50 *****
666	7.15	41 - 45 *****
472	5.07	36 - 40 *****
347	3.73	31 - 35 ***
203	2.18	26 - 30 **
106	1.14	21 - 25 *
40	0.43	16 - 20
19	0.20	11 - 15
1	0.01	6 - 10
		0 - 5

הערה  
כאן

מ"מ  
6324

90

52

42

34

0

43.18

הערה

הערה

הערה

1 2 3 4 5  
1234567890123456789012345678901234567890

96 - 100

91 - 95

86 - 90

81 - 85

76 - 80 \*

71 - 75 \*

66 - 70 \*\*\*

61 - 65 \*\*\*

56 - 60 \*\*\*\*\*

51 - 55 \*\*\*\*\*

46 - 50 \*\*\*\*\*

41 - 45 \*\*\*\*\*

36 - 40 \*\*\*\*\*

31 - 35 \*\*\*\*\*

26 - 30 \*\*\*\*\*

21 - 25 \*\*\*\*

16 - 20 \*\*

11 - 15

6 - 10

0 - 5

- 10 0.16
- 26 0.41
- 75 1.19
- 82 1.30
- 251 3.97
- 227 3.59
- 536 8.48
- 544 8.60
- 897 14.18
- 697 11.02
- 1076 17.01
- 679 10.74
- 731 11.56
- 307 4.85
- 153 2.42
- 18 0.28
- 8 0.13
- 7 0.11

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

1974-1975

12345678901234567890123456789012345678901234567890

3	0.05	96 - 100
22	0.38	91 - 95
72	1.25	86 - 90
166	2.89	81 - 85 *
318	5.54	76 - 80 **
469	8.17	71 - 75 *****
604	10.52	66 - 70 *****
693	12.07	61 - 65 *****
745	12.97	56 - 60 *****
704	12.26	51 - 55 *****
683	11.89	46 - 50 *****
591	10.29	41 - 45 *****
355	6.18	36 - 40 *****
211	3.67	31 - 35 *****
78	1.36	26 - 30 ***
19	0.33	21 - 25 *
2	0.03	16 - 20
2	0.03	11 - 15
6	0.10	6 - 10
		0 - 5

(KONP78) 2025-1430

33070 13 95

カセクハフ トスウフクガ

11/17/76

PAGE 7

カセクハフ  
利 A

33070 1341

95

68

58

48

0

57.94

ニクスウ

ヒリフ

95

1

2

3

4

5

1234567890123456789012345678901234567890

2	0.15	96 - 100
25	1.86	91 - 95
75	5.59	86 - 90 *
64	4.77	81 - 85 *****
112	8.35	76 - 80 ****
124	9.25	71 - 75 *****
163	12.16	66 - 70 *****
185	13.80	61 - 65 *****
154	11.48	56 - 60 *****
165	12.30	51 - 55 *****
130	9.69	46 - 50 *****
77	5.74	41 - 45 *****
40	2.98	36 - 40 *****
14	1.04	31 - 35 **
6	0.45	26 - 30 *
1	0.07	21 - 25
2	0.15	16 - 20
2	0.15	11 - 15
		6 - 10
		0 - 5

加付  
B

30241430  
930

95

62

47

36

0

48.39

ニ

ヒ

930

1

2

3

4

5

12345678901234567890123456789012345678901234567890

2	0.22	96 - 100
6	0.65	91 - 95
16	1.72	86 - 90
30	3.23	81 - 85 *
56	6.02	76 - 80 ***
60	6.45	71 - 75 *****
76	8.17	66 - 70 *****
77	8.28	61 - 65 *****
79	8.49	56 - 60 *****
88	9.46	51 - 55 *****
116	12.47	46 - 50 *****
93	10.00	41 - 45 *****
87	9.35	36 - 40 *****
59	6.34	31 - 35 *****
44	4.73	26 - 30 *****
26	2.80	21 - 25 *****
11	1.18	16 - 20 **
2	0.22	11 - 15 *
2	0.22	6 - 10
2	0.22	0 - 5

8E9#1  
E194

5 237  
2937

910  
96

9 11  
67

920  
58

9 13  
49

9171  
0

947  
57.84

ニカスウ	ヒリ	9カ	ヒリ	1	2	3	4	5
				1234567890	1234567890	1234567890	1234567890	1234567890
1	0.03	96	-	100				
19	0.65	91	-	95				
32	1.09	86	-	90	*			
78	2.66	81	-	85	**			
132	4.49	76	-	80	****			
218	7.42	71	-	75	*****			
360	12.26	66	-	70	*****			
411	13.99	61	-	65	*****			
422	14.37	56	-	60	*****			
433	14.74	51	-	55	*****			
313	10.66	46	-	50	*****			
231	7.87	41	-	45	*****			
148	5.04	36	-	40	*****			
68	2.32	31	-	35	**			
45	1.53	26	-	30	*			
15	0.51	21	-	25				
7	0.24	16	-	20				
2	0.07	11	-	15				
		6	-	10				
2	0.07	0	-	5				

かてがひ  
りかす

5<sup>00</sup>292000  
2111

9100  
96

91  
69

9200  
60

93  
52

94  
0

95  
60.62

ニツク

ヒツク

ツク

ヒツク

1

2

3

4

5

1234567890123456789012345678901234567890

1	0.05	96 - 100
		91 - 95
29	1.37	86 - 90 *
73	3.46	81 - 85 ***
154	7.30	76 - 80 *****
204	9.66	71 - 75 *****
281	13.31	66 - 70 *****
312	14.78	61 - 65 *****
339	16.06	56 - 60 *****
282	13.36	51 - 55 *****
211	10.00	46 - 50 *****
128	6.06	41 - 45 *****
63	2.98	36 - 40 **
20	0.95	31 - 35
4	0.19	26 - 30
4	0.19	21 - 25
3	0.14	16 - 20
		11 - 15
		6 - 10
3	0.14	0 - 5



0E2#1  
7# 79

0 2 3 4 5 6 7 8 9  
4989

7100  
100

7# 11  
74

7200  
56

7# 13  
38

7171  
0

7170  
56.03

0E2#1 7# 79	0 2 3 4 5 6 7 8 9	7100 100	7# 11 74	7200 56	7# 13 38	7171 0	7170 56.03
155	3.11	96 - 100 ***					
213	4.27	91 - 95 ****					
247	4.95	86 - 90 *****					
287	5.75	81 - 85 *****					
305	6.11	76 - 80 *****					
292	5.85	71 - 75 *****					
337	6.75	66 - 70 *****					
318	6.37	61 - 65 *****					
362	7.26	56 - 60 *****					
339	6.79	51 - 55 *****					
340	6.81	46 - 50 *****					
378	7.58	41 - 45 *****					
357	7.16	36 - 40 *****					
292	5.85	31 - 35 *****					
255	5.11	26 - 30 *****					
197	3.95	21 - 25 ****					
132	2.65	16 - 20 **					
107	2.14	11 - 15 **					
50	1.00	6 - 10 *					
26	0.52	0 - 5					

מחיר הח"ק	מספר חשבון 7461	מספר 100	מ"י 61	מספר 45	מ"י 30	מספר 0	מחיר 45.55
--------------	--------------------	-------------	-----------	------------	-----------	-----------	---------------

מספר	מחיר	מספר	מחיר	מספר	מחיר	מספר	מחיר
1	2	3	4	5			
1234567890123456789	0123456789	C1234567890123456789	01234567890123456789	01234567890123456789			

7	0.09	96 - 100
67	0.90	91 - 95
79	1.06	86 - 90 *
170	2.28	81 - 85 **
252	3.38	76 - 80 ***
373	5.00	71 - 75 *****
459	6.15	66 - 70 *****
471	6.31	61 - 65 *****
504	6.76	56 - 60 *****
584	7.83	51 - 55 *****
624	8.36	46 - 50 *****
650	8.71	41 - 45 *****
679	9.10	36 - 40 *****
602	8.07	31 - 35 *****
567	7.60	26 - 30 *****
516	6.92	21 - 25 *****
466	6.25	16 - 20 *****
251	3.36	11 - 15 ***
99	1.33	6 - 10 *
41	0.55	0 - 5

מספר  
הצעת

מספר הצעת  
4277

מספר  
94

מספר  
53

מספר  
43

מספר  
34

מספר  
0

מספר  
43.96

מספר

מספר

מספר

מספר

1

2

3

4

5

12345678901234567890123456789012345678901234567890

3	0.07	96 - 100
10	0.23	91 - 95
18	0.42	86 - 90
41	0.96	81 - 85
71	1.66	76 - 80
133	3.11	71 - 75 *
224	5.24	66 - 70 ***
323	7.55	61 - 65 *****
451	10.54	56 - 60 *****
551	12.88	51 - 55 *****
600	14.03	46 - 50 *****
614	14.36	41 - 45 *****
543	12.70	36 - 40 *****
415	9.70	31 - 35 *****
202	4.72	26 - 30 *****
65	1.52	21 - 25 ****
9	0.21	16 - 20 *
2	0.05	11 - 15
2	0.05	6 - 10
		0 - 5

1978-1979

1978-1979

1978-1979

1978-1979

1978-1979

1978-1979

1978-1979

46.26

1978-1979

1978-1979

1978-1979

1978-1979

1978-1979

1978-1979

1978-1979

1978-1979

1978-1979

12345678901234567890123456789012345678901234567890

1	0.06	96 - 100
4	0.23	91 - 95
10	0.58	86 - 90
18	1.04	81 - 85 *
37	2.14	76 - 80 **
31	1.80	71 - 75 *
85	4.93	66 - 70 ****
107	6.20	61 - 65 *****
148	8.58	56 - 60 *****
206	11.94	51 - 55 *****
213	12.35	46 - 50 *****
222	12.87	41 - 45 *****
199	11.54	36 - 40 *****
190	11.01	31 - 35 *****
129	7.48	26 - 30 *****
80	4.64	21 - 25 ****
30	1.74	16 - 20 *
11	0.64	11 - 15
1	0.06	6 - 10
3	0.17	0 - 5

(KDNPT8) 2279437

43079 19 57

0 5 9 7 4 8 9 7 2 8

11/17/76

PAGE 15

02741  
4778

2279437  
90

747  
65

7 11  
40

4279  
32

7 13  
28

7171  
15

747  
34.42

2279

747

747

1 2 3 4 5  
1234567890123456789012345678901234567890

96 - 100  
91 - 95  
86 - 90  
81 - 85  
76 - 80  
71 - 75  
66 - 70  
61 - 65 \*\*  
56 - 60 \*\*\*  
51 - 55 \*\*\*\*\*  
46 - 50 \*\*\*  
41 - 45 \*\*\*\*\*  
36 - 40 \*\*\*\*\*  
31 - 35 \*\*\*\*\*  
26 - 30 \*\*\*\*\*  
21 - 25 \*\*\*\*\*  
16 - 20 \*\*\*\*\*  
11 - 15 \*  
6 - 10  
0 - 5

2 2.22  
3 3.33  
7 7.78  
3 3.33  
6 6.67  
14 15.56  
16 17.78  
20 22.22  
13 14.44  
5 5.56  
1 1.11

36. 科目別正答率一覽

S.51.11.24

科目名	正答率	29%以下	30~59%	60%以上
国 語	6.9%		34.2%	58.9%
数 学 一 般	30.3%		41.1%	28.6%
数 学 I	13.8%		30.6%	55.6%
倫 理・社 会	17.4%		23.9%	58.7%
政 治・經 済	10.5%		42.1%	47.4%
日 本 史	18.0%		66.0%	16.0%
世 界 史	17.9%		38.3%	42.8%
地 理 A	12.5%		42.5%	45.0%
地 理 B	25.8%		37.1%	37.1%
基 礎 理 科	32.4%		39.0%	28.6%
物 理	5.3%		52.6%	42.1%
化 学	10.0%		60.0%	30.0%
生 物	15.5%		41.4%	43.1%
地 学	21.4%		53.6%	25.0%
英 語			52.6%	47.4%

37. 解答別件数表 (例)

(KONP76) コクホイキヨ

キヨウサク 194 シケン

カイトウ ヲ マ ケン スウ ヒヨウ

11/14/76

PAGE 24

解答=43 部 A

1341 ケン

ナンバ	ヒヤク	ケンスウ	ヒラフ
01-01-01	0001	44	3.2
	0002	108	8.0
	0003	27	2.0
	0004	1076	80.2
	0005	86	6.4
02-01	0006	216	16.1
	0007	1059	78.9
	0008	19	1.4
	0009	45	3.3
03-01	0010	135	10.0
	0011	747	55.7
	0012	399	29.7
	0013	55	4.1
04-01	0014	224	16.7
	0015	615	45.8
	0016	203	15.1
	0017	221	16.4
	0018	65	4.8
05-01	0019	104	7.7
	0020	312	23.2
	0021	253	18.8
	0022	385	28.7
	0023	165	12.3
	0024	111	8.2
02-01-01	0025	9	0.6
	0026	1203	89.7
	0027	99	7.3
	0028	28	2.0
	0029	0	0.0
02-01	0030	406	30.2
	0031	265	19.7
	0032	156	11.6
	0033	332	24.7
	0034	161	12.0
03-01	0035	100	7.4
	0036	7	0.5
	0037	99	7.3
	0038	358	26.6
	0039	772	57.5
04-01	0040	208	15.5
	0041	67	4.9
	0042	484	36.0
	0043	475	35.4
	0044	98	7.3
05-01	0045	8	0.5
	0046	1	0.0
	0047	12	0.8
	0048	6	0.4
	0049	1307	97.4
06-01	0050	9	0.6

ナンバ	ヒヤク	ケンスウ	ヒラフ
02-06-01	0051	92	6.8
	0052	119	8.8
	0053	191	14.2
	0054	745	55.5
	0055	60	4.4
	0056	44	3.2
	0057	23	1.7
	0058	34	2.5
	0059	12	0.8
07-01	0060	313	23.3
	0061	362	26.9
	0062	148	11.0
	0063	171	12.7
	0064	23	1.7
	0065	28	2.0
	0066	134	9.9
	0067	71	5.2
	0068	15	1.1
	0069	69	5.1
08-01	0070	0	0.0
	0071	59	4.3
	0072	30	2.2
	0073	103	7.6
	0074	30	2.2
	0075	590	43.9
	0076	468	34.8
	0077	15	1.1
	0078	28	2.0
	0079	8	0.5
09-01	0080	53	3.9
	0081	50	3.7
	0082	211	15.7
	0083	76	5.6
	0084	34	2.5
	0085	25	1.8
	0086	29	2.1
	0087	414	30.8
	0088	15	1.1
	0089	419	31.2
10-01	0090	965	71.9
	0091	41	3.0
	0092	49	3.6
	0093	52	3.8
	0094	29	2.1
	0095	11	0.8
	0096	27	2.0
	0097	68	5.0
	0098	33	2.4
	0099	52	3.8
03-01-01	0100	70	5.2

ナンバ	ヒヤク	ケンスウ	ヒラフ
03-01-01	0101	63	4.6
	0102	649	48.3
	0103	184	13.7
	0104	370	27.5
02-01	0105	113	8.4
	0106	673	50.1
	0107	306	22.8
	0108	128	9.5
	0109	118	8.7
03-01	0110	262	19.5
	0111	222	16.5
	0112	87	6.4
	0113	764	56.9
	0114	1	0.0
04-01	0115	823	61.3
	0116	92	6.8
	0117	147	10.9
	0118	94	7.0
	0119	181	13.4
05-01	0120	213	15.8
	0121	137	10.2
	0122	511	38.1
	0123	32	2.3
	0124	443	33.0
06-01	0125	7	0.5
	0126	43	3.2
	0127	1228	91.5
	0128	58	4.3
07-01	0129	1301	97.0
	0130	20	1.4
	0131	11	0.8
	0132	7	0.5
08-01	0133	121	9.0
	0134	627	46.7
	0135	333	24.8
	0136	261	19.4
09-01	0137	395	29.4
	0138	323	24.0
	0139	394	29.3
	0140	225	16.7
10-01	0141	333	24.8
	0142	98	7.3
	0143	635	47.3
	0144	273	20.3
04-01-01	0145	59	4.3
	0146	83	6.1
	0147	1158	86.3
	0148	35	2.6
02-01	0149	989	73.7
	0150	65	4.8

38. 選抜科目状況表 (得点順)

(KUNP84)		コクゴイキヨウ		キヨウツク 1シ・シケン		ヒンタク カモク シキヨウキヨウ ヒヨク (コウケン シキブ)						12/23/76	PAGE: 1				
NO.	コクゴ	スウ I	スウ ハク	エイゴ	ニホクシ	ヒカイシ	チリA	チリB	ヒイケイ	リソシヤ	フツリ	カカク	ヒイ フツ	チカク	キリカ	ニコスウ	エイキク
1	**		**	**	**					**	**	**				1	801.00
2	**		**	**					**	**		**		**		1	775.00
3	**		**	**	**		**						**	**		1	742.00
4	**		**	**		**	**				**	**				3	711.67
5	**		**	**		**				**	**			**		1	672.00
6	**		**	**	**	**					**	**	**			1	644.00
7	**	**		**			**			**	**		**			4	634.25
8	**	**		**		**				**	**	**				423	612.29
9	**	**		**		**	**				**	**				225	607.40
10	**	**		**					**	**	**			**		7	592.29
11	**		**	**		**				**	**	**				6	590.67
12	**	**		**		**		**			**	**				193	588.84
13	**	**		**			**		**		**	**				133	585.33
14	**	**		**		**			**		**	**				533	582.70
15	**		**	**		**			**		**	**	**			1	582.00
16	**	**		**		**		**						**		1	582.00
17	**	**		**	**					**	**	**				374	577.73
18	**	**		**	**	**					**	**				1012	571.11
19	**	**		**			**			**	**	**				75	571.08
20	**	**		**		**	**						**	**		51	563.57
21	**	**		**				**	**		**	**	**			3	563.00
22	**	**		**	**	**					**	**		**		38	561.58
23	**	**		**		**	**				**	**	**			18	556.56
24	**	**		**			**			**	**			**		4	552.00
25	**	**		**	**			**			**	**	**			13	544.85



38. 選抜科目状況表 (人数順)

(KDNPB4) コクダ*イキヨク		キヨウツク 1シ* シケン			モンダク カモク シ*ヨウキヨウ ヒヨク ( ニンズ*ウ シ*ユク)								12/23/76	PAGE: 1			
NO	コクダ	スク	スク パ*ン	エイコ*	ニホコシ	モカイシ	チリA	チリB	セイケイ	シヨクシヤ	フ*ツリ	カカ*フ	セイ フ*ツ	チカ*ク	キリカ	ニコス*ウ	ハイケン
1	##	##		##	##	##						##	##			1204	530,25
2	##	##		##	##	##					##	##				1012	571,11
3	##	##		##	##				##		##	##				601	538,64
4	##	##		##		##			##		##	##				533	582,70
5	##	##		##	##	##							##	##		441	513,01
6	##	##		##		##				##	##	##				423	612,29
7	##	##		##	##					##	##	##				374	577,73
8	##	##		##	##				##			##	##			336	458,02
9	##	##		##		##	##				##	##				225	607,40
10	##	##		##	##					##		##	##			218	478,59
11	##	##		##	##		##				##	##				214	544,45
12	##	##		##					##	##	##	##				206	534,43
13	##	##		##		##		##			##	##				194	588,94
14	##	##		##	##	##					##			##		170	520,22
15	##	##		##		##			##			##	##	##		170	507,33
16	##	##		##	##			##			##	##				168	528,49
17	##	##		##	##	##						##		##		153	522,47
18	##	##		##	##				##				##	##		149	459,61
19	##	##		##	##		##					##	##			136	485,12
20	##	##		##		##				##		##	##			135	528,38
21	##	##		##			##		##		##	##				133	585,33
22	##	##		##		##	##					##	##			116	538,68
23	##	##		##	##					##			##	##		108	488,89
24	##	##		##	##			##				##	##			91	485,82
25	##	##		##		##				##			##	##		32	494,06

NO.	コクサ	スウ	スウ ハシ	イイコ	ニホシ	セカイシ	チリA	チリB	セイケイ	ヒツシヤ	フツリ	カネツ	ヒツ ツツ	チカク	キヨリカ	ニンズウ	ハイキ
26	**	**		**	**		**						**	**		78	476.83
27	**	**		**				**	**		**	**				75	527.79
28	**	**		**			**			**	**	**				75	571.08
29	**	**		**		**		**			**	**	**			73	529.44
30	**	**		**		**			**				**	**		71	490.65
31	**	**		**	**			**					**	**		59	460.42
32	**	**		**	**				**			**		**		57	460.65
33	**	**		**					**	**		**	**			54	475.74
34	**	**		**	**				**		**		**			52	479.62
35	**	**		**		**	**						**	**		51	563.57
36	**	**		**			**		**			**	**			38	520.87
37	**	**		**	**	**					**			**		38	561.58
38	**	**		**		**			**		**		**			37	523.84
39	**	**		**		**			**		**	**	**	**		34	493.24
40	**	**		**		**		**					**	**		34	503.68
41	**	**		**	**		**					**	**	**		34	492.56
42	**	**		**				**		**	**	**	**			31	540.23
43	**	**		**		**				**	**		**			30	525.23
44	**	**		**	**					**	**	**	**			29	497.83
45	**	**		**	**				**		**			**		28	494.32
46	**	**		**					**	**			**	**		24	464.38
47	**	**		**	**		**				**	**	**			24	519.46
48	**	**		**	**					**		**		**		23	489.43
49	**	**		**			**	**					**	**		22	466.50
50	**	**		**				**	**	**		**		**		21	475.90

NO.	ユクノ	スウ	スウ ハシ	イコキ	ニョウシ	ヒカイシ	チリA	チリB	ヒケイ	リツシヤ	フツリ	カカク	ヒ ツ	チカク	キツリカ	ニョウシ	イキ
51	**	**		**				**	**			**	**			20	426.15
52	**	**		**		**		**				**		**		19	495.89
53	**	**		**		**				**		**		**		18	522.56
54	**	**		**		**	**					**		**		18	522.22
55	**	**		**		**	**				**		**			18	556.56
56	**	**		**	**	**									**	18	440.11
57	**	**		**					**	**	**		**			17	477.65
58	**	**		**			**			**		**	**			15	447.80
59	**	**		**	**					**	**			**		14	458.57
60	**	**		**	**			**			**		**			13	544.85
61	**	**		**				**	**				**	**		12	433.50
62	**	**		**			**			**		**	**	**		12	536.50
63	**	**		**				**		**		**	**			11	484.09
64	**	**		**		**			**		**	**		**		10	514.00
65	**	**		**		**		**			**	**	**			10	533.70
66	**	**		**	**			**				**		**		10	444.30
67	**	**		**		**		**	**			**		**		9	504.78
68	**		**	**	**	**				**	**	**	**			8	489.63
69	**	**		**				**		**			**	**		8	447.63
70	**	**		**			**		**		**	**	**			8	517.13
71	**	**		**	**			**			**	**		**		8	476.25
72	**		**	**	**					**					**	7	459.29
73	**	**		**					**	**	**			**		7	592.29
74	**	**		**		**				**	**	**		**		7	513.57
75	**	**		**	**				**					**	**	7	414.71

NO.	コクコ*	スウ I	スウ ハ*ン	イイコ*	ニホシ	セカイシ	チリA	チリB	セイケイ	リンシ*ト	フ*ツリ	カカ*ク	セイ フ*ツ	チカ*ク	キツリカ	ニコス*ウ	ハイキツ
76	**		**	**		**				**	**	**				6	590.67
77	**		**	**		**			**		**	**				6	471.83
78	**		**	**	**				**		**	**				6	466.83
79	**		**	**	**	**									**	6	520.00
80	**	**		**		**				**					**	6	450.33
81	**	**		**	**		**				**			**		6	489.00
82	**		**	**		**		**			**	**				5	496.60
83	**		**	**	**		**							**		5	299.60
84	**	**		**					**	**				**		5	400.80
85	**	**		**				**	**		**			**		5	461.00
86	**	**		**			**		**		**			**		5	445.20
87	**	**		**			**		**		**	**		**		5	438.80
88	**	**		**		**			**					**		5	427.20
89	**	**		**		**	**				**			**		5	543.60
90	**	**		**				**	**		**			**		4	478.50
91	**	**		**			**			**	**			**		4	431.25
92	**	**		**			**			**	**		**			4	634.25
93	**	**		**			**			**	**			**		4	552.00
94	**	**		**		**	**							**		4	456.25
95	**		**	**					**	**				**		3	479.67
96	**		**	**		**			**					**		3	520.00
97	**		**	**		**	**			**	**					3	711.67
98	**		**	**	**			**						**		3	402.33
99	**		**	**	**			**		**	**					3	369.33
100	**	**		**			**		**	**	**			**		3	404.67

(KUNPB4) 2024年10月

10月10日

10月10日 (10月10日)

12/23/76

PAGE. 5

NO.	品名	規格	単位	数量	単価	金額	備考	数量	単価	金額	備考	数量	単価	金額	備考
101	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	3	563.00	...	...
102	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	3	423.67	...	...
103	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	3	502.33	...	...
104	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	2	377.50	...	...
105	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	2	489.50	...	...
106	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	2	402.00	...	...
107	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	2	433.50	...	...
108	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	2	510.50	...	...
109	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	2	537.50	...	...
110	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	2	385.00	...	...
111	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	2	386.00	...	...
112	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	381.00	...	...
113	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	775.00	...	...
114	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	413.00	...	...
115	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	534.00	...	...
116	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	366.00	...	...
117	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	427.00	...	...
118	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	473.00	...	...
119	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	672.00	...	...
120	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	582.00	...	...
121	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	450.00	...	...
122	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	536.00	...	...
123	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	301.00	...	...
124	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	801.00	...	...
125	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	368.00	...	...

(KDNP84) 12/23/76

12/23/76

12/23/76

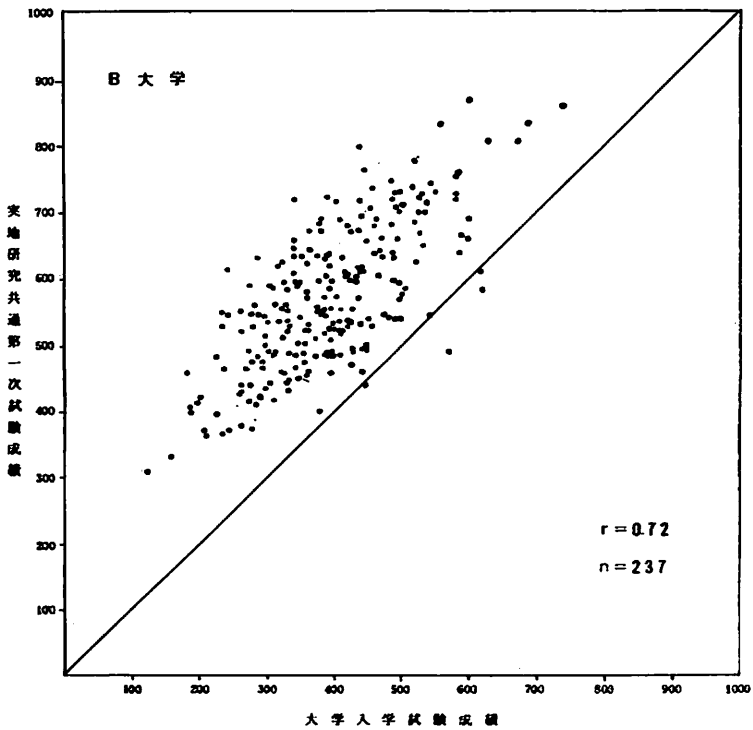
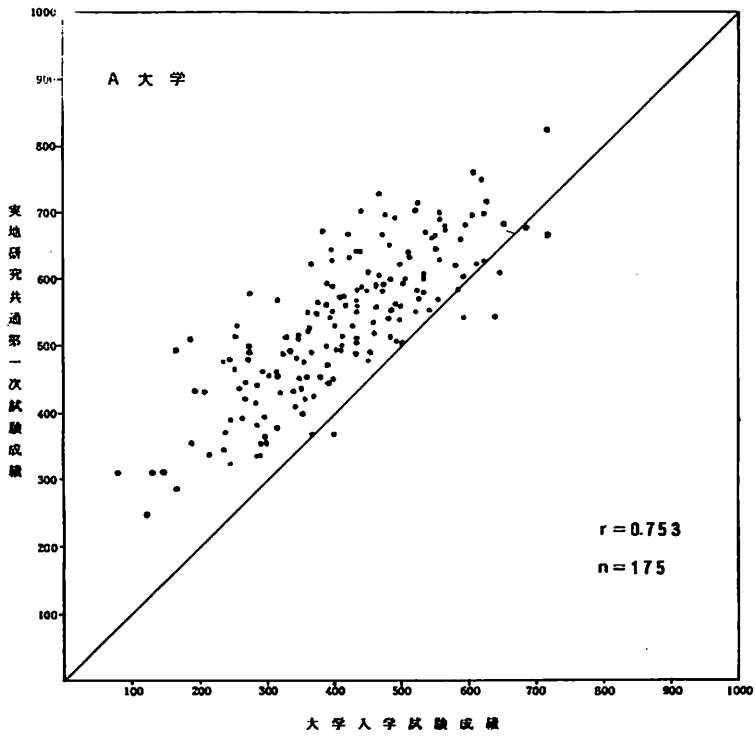
12/23/76

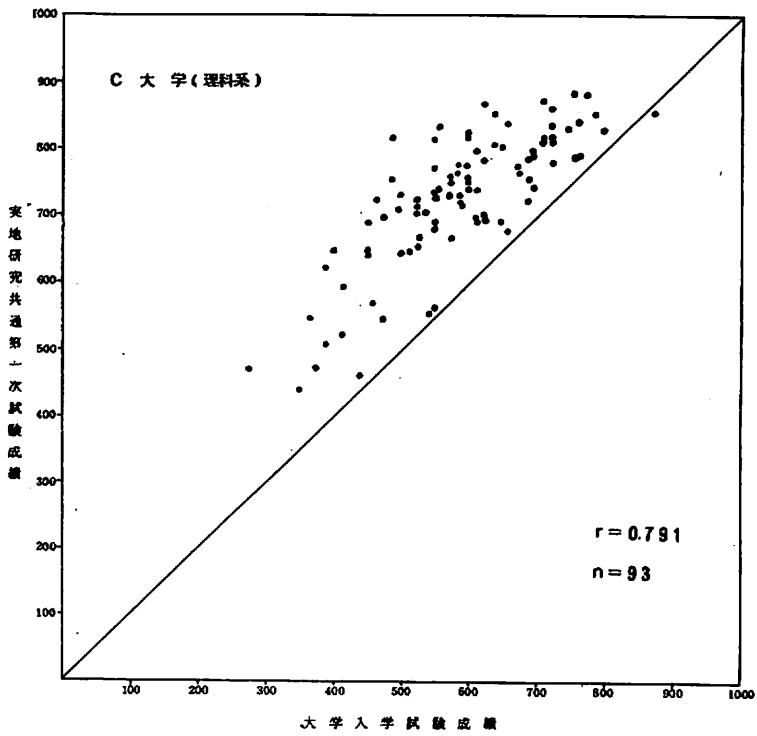
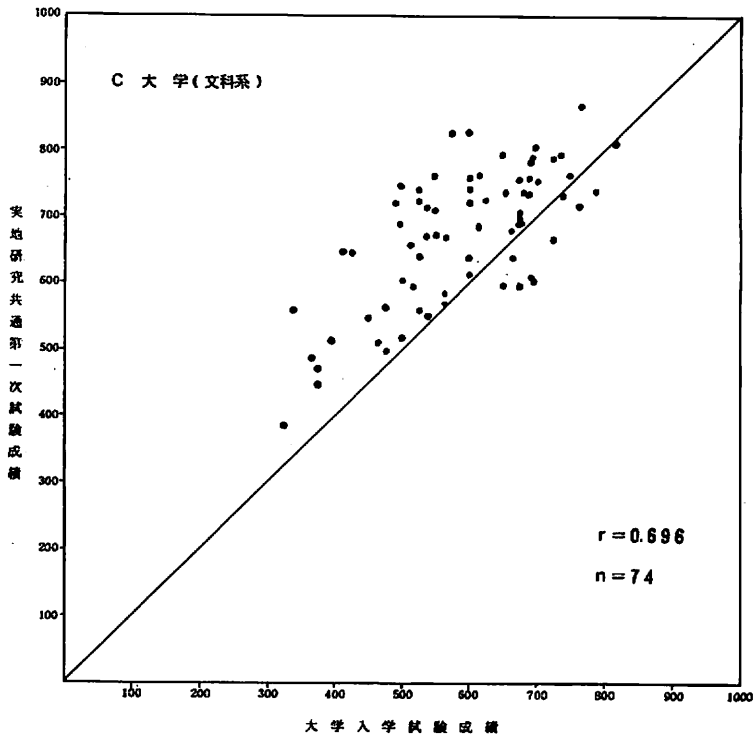
PAGE: 6

NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
126	**		**	**	**			**				**	**			1	514.00
127	**		**	**	**	**						**	**			1	742.00
128	**		**	**	**	**			**			**				1	644.00
129	**	**		**				**	**		**		**			1	454.00
130	**	**		**			**		**					**		1	307.00
131	**	**		**		**		**						**		1	582.00
12/23/76	9166	9073	93	9166	5953	5438	1277	879	2785	2000	4894	7338	4215	1705	90	9166	534.88

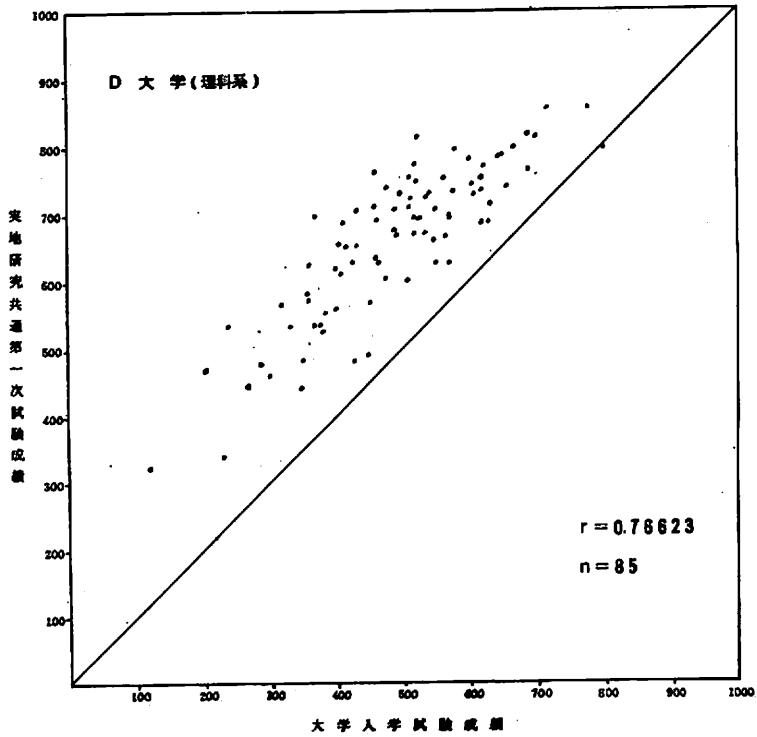
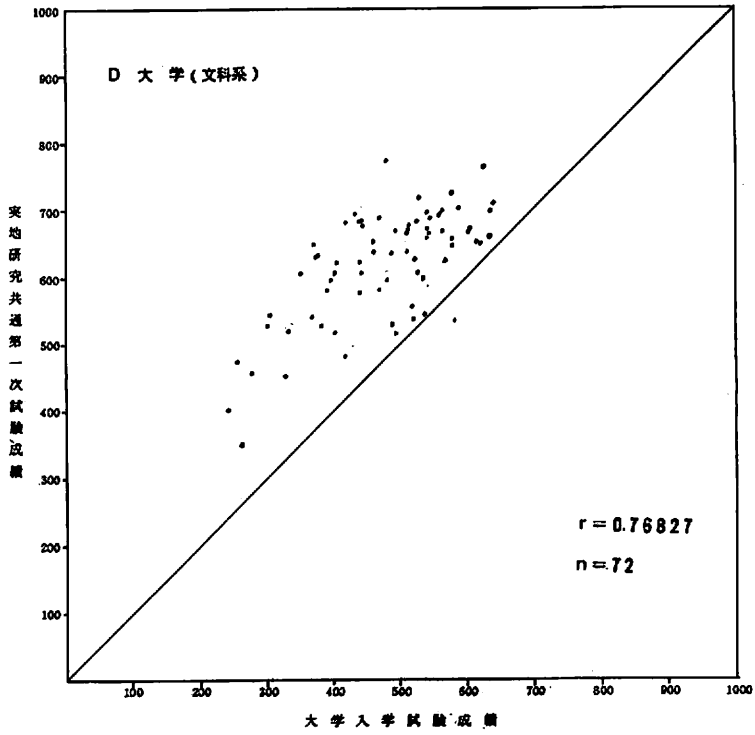
【 参 考 】

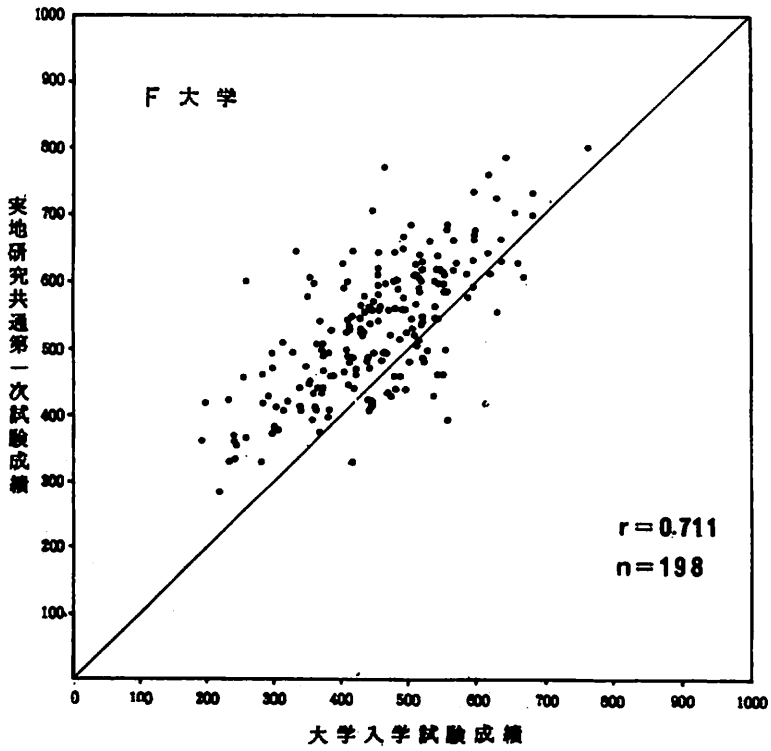
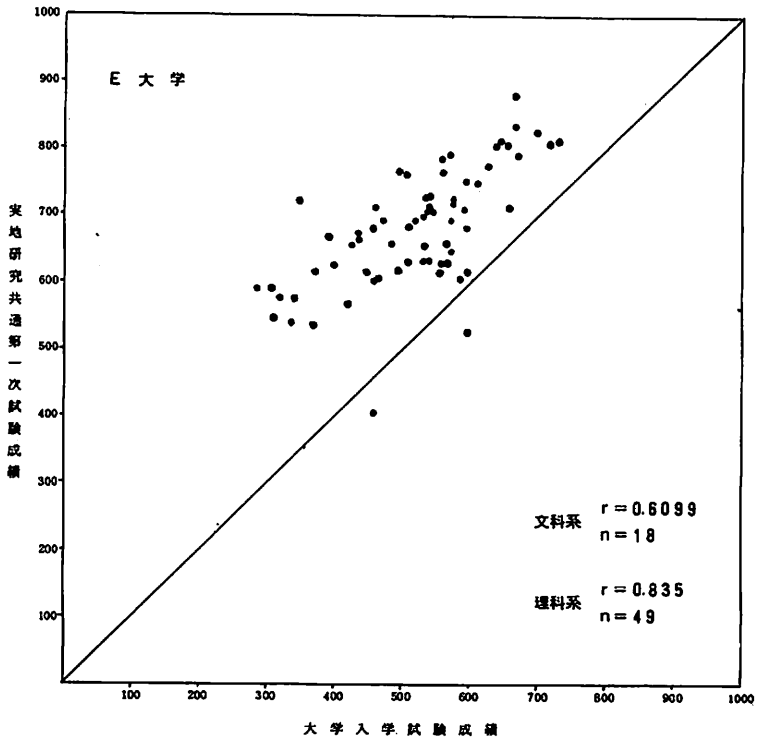
39. 昭和50年度国立大学共通第一次試験（実地研究）  
と昭和51年度大学入学試験との成績の相関図

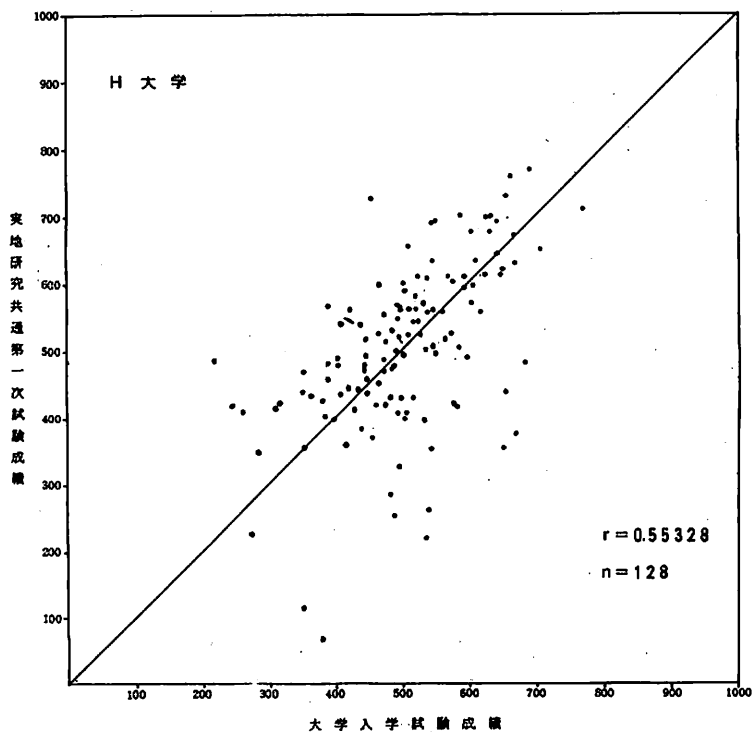
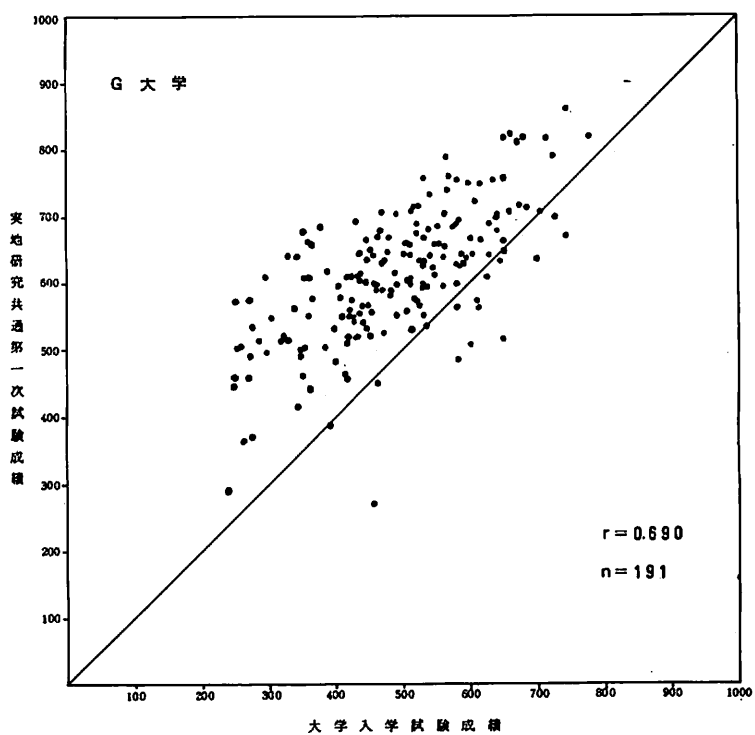












40. 米国におけるテスト結果の一覧

米国大学試験委員会 (CEE B) の進学適性テストの平均点

Table A SAT Score Averages for College-Bound Seniors, 1966-67 — 1975-76*						
	Verbal			Mathematical		
	Male	Female	Total	Male	Female	Total
1966-67	463	468	466	514	467	492
1967-68	464	466	466	512	470	492
1968-69	459	466	463	513	470	493
1969-70	459	461	460	509	465	488
1970-71	454	457	455	507	466	488
1971-72	454	452	453	505	461	484
1972-73	446	443	445	502	460	481
1973-74	447	442	444	501	459	480
1974-75	437	431	434	495	449	472
1975-76	433	430	431	497	446	472

\*The averages for 1966-67 through 1970-71 are estimates of the averages that would have been reported for college-bound seniors of those years if such reports had been produced.

米国大学試験委員会 (CEE B) の学力テストの平均点

Table B Achievement Test Score Averages, 1972-1976 (Numbers in thousands)										
	1972		1973		1974		1975		1976	
	N	AV	N	AV	N	AV	N	AV	N	AV
<i>Average for All Achievement Tests</i>	335	526	294	527	247	533	228	531	228	538
English Composition	313	516	275	517	228	517	212	515	213	532
Mathematics Level I	240	541	211	537	172	545	158	545	158	546
American History and Social Studies	105	492	87	498	71	498	64	494	64	493
Biology	51	535	51	532	46	545	46	544	46	543
French	52	539	47	544	38	560	34	553	31	553
Chemistry	48	568	43	572	37	581	33	569	34	567
Mathematics Level II	n/a		n/a		n/a		29	660	32	665
Spanish	34	530	33	539	28	560	26	544	26	547
Literature	n/a		n/a		n/a		21	522	22	525
Physics	n/a		n/a		n/a		12	601	16	592
German	n/a		n/a		n/a		7	547	6	555
European History and World Cultures	n/a		n/a		n/a		5	521	3	531
Latin	n/a		n/a		n/a		2	514	2	524
Hebrew	n/a		n/a		n/a		1	577	1	579
Russian	n/a		n/a		n/a		0.5	540	1	559

米国大学試験委員会 (CEE) の進学適性テスト (1975~76) の得点分布

SCHOLASTIC APTITUDE TEST (SAT) SCORES

V E R B A L					M A T H							
MALE		FEMALE		TOTAL		MALE		FEMALE		TOTAL		
NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	
1,265	0	1,199	0	2,464	0	750-800	9,829	2	1,720	0	11,549	1
5,118	1	4,706	1	9,824	1	700-749	19,936	4	6,026	1	25,962	3
11,861	2	11,351	2	23,212	2	650-699	33,059	7	14,326	3	47,385	5
23,728	5	22,736	5	46,464	5	600-649	49,491	10	29,011	6	78,502	8
37,351	8	36,434	7	73,785	7	550-599	60,470	12	45,492	9	105,962	11
62,572	13	62,742	12	125,314	13	500-549	77,743	16	70,967	14	148,710	15
74,022	15	74,933	15	148,955	15	450-499	72,449	15	80,999	16	153,448	15
85,302	17	87,263	17	172,565	17	400-449	59,297	12	77,722	15	137,019	14
84,103	17	87,898	17	172,001	17	350-399	51,160	10	75,638	15	126,798	13
57,576	12	60,221	12	117,797	12	300-349	38,274	8	62,657	12	100,931	10
33,857	7	36,185	7	70,042	7	250-299	18,596	4	32,753	6	51,349	5
17,871	4	19,515	4	37,386	4	200-249	4,315	1	7,846	2	12,161	1
494,626		505,183		999,809		NUMBER	494,619		505,157		999,776	
433		430		431		MEAN	497		446		472	
111		110		110		STD DEV	123		111		120	

SAT-VERBAL SUBSCORES

-----READING COMPREHENSION-----					-----VOCABULARY-----							
MALE		FEMALE		TOTAL		MALE		FEMALE		TOTAL		
NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	
1,433	0	1,281	0	2,714	0	75-80	3,032	1	2,892	1	5,924	1
3,303	1	3,028	1	6,331	1	70-74	6,166	1	5,782	1	11,948	1
14,267	3	13,064	3	27,331	3	65-69	14,237	3	13,962	3	28,199	3
24,572	5	23,922	5	48,494	5	60-64	24,999	5	23,913	5	48,912	5
39,706	8	39,841	8	79,547	8	55-59	43,592	9	42,133	8	85,725	9
53,992	11	56,066	11	110,058	11	50-54	63,259	13	60,837	12	124,096	12
73,908	15	76,737	15	150,645	15	45-49	74,962	15	72,695	14	147,657	15
82,581	17	86,277	17	168,858	17	40-44	86,261	17	88,912	18	175,173	18
75,602	15	79,010	16	154,612	15	35-39	70,107	14	73,734	15	143,841	14
73,461	15	75,971	15	149,432	15	30-34	45,788	9	49,185	10	94,973	10
35,878	7	35,307	7	71,185	7	25-29	29,953	6	33,399	7	63,352	6
15,052	3	13,654	3	28,706	3	20-24	31,414	6	36,717	7	68,131	7
493,755		504,158		997,913		NUMBER	493,770		504,161		997,931	
43.2		43.1		43.2		MEAN	43.7		43.1		43.4	
11.2		10.9		11.1		STD DEV	11.9		12.0		12.0	

TEST OF STANDARD WRITTEN ENGLISH (TSWE) SCORES\*

SCORE	MALE		FEMALE		TOTAL	
	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT
60+	20,445	4	28,546	6	48,991	5
55-59	50,583	10	64,635	13	115,218	12
50-54	69,994	14	82,884	16	152,878	15
45-49	78,625	16	85,124	17	163,749	16
40-44	78,625	16	78,607	16	157,232	16
35-39	60,172	14	62,331	12	130,503	13
30-34	54,317	11	45,569	9	99,886	10
25-29	34,871	7	27,908	6	62,779	6
20-24	38,151	8	28,563	6	66,714	7
NUMBER	493,783		504,167		997,950	
MEAN	42.1		44.0		43.1	
STD DEV	10.9		10.7		10.8	

\*THE TEST OF STANDARD WRITTEN ENGLISH IS IN EXPERIMENTAL USE FOR PURPOSES OF PLACEMENT

米国大学試験委員会 (CEE) の学力テスト (1975~76) の得点分布

ACHIEVEMENT TEST SCORES

AVERAGE OF SCORES		ENGLISH COMPOSITION		SCORE		MATHEMATICS LEVEL 1		AMERICAN HISTORY	
NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT
2,477	1	5,235	2	750-800	3,997	3	1,079	2	
9,095	4	11,193	5	700-749	8,188	5	1,699	3	
19,170	8	19,430	9	650-699	15,405	10	3,227	5	
31,315	14	28,286	13	600-649	23,911	15	5,231	8	
41,241	18	32,035	15	550-599	25,665	16	7,613	12	
44,042	19	34,527	16	500-549	30,095	19	10,022	16	
38,444	17	31,851	15	450-499	24,442	15	12,035	19	
25,910	11	26,133	12	400-449	16,032	10	11,335	18	
12,245	5	15,051	7	350-399	8,078	5	7,741	12	
3,648	2	6,847	3	300-349	2,268	1	3,543	6	
524	0	1,987	1	250-299	239	0	585	1	
116	0	221	0	200-249	7	0	29	0	
228,227		212,796		NUMBER	158,327		64,139		
538		532		MEAN	546		493		
96		111		STD DEV	101		106		
		507		SAT-V AVG	495		505		
		554		SAT-M AVG	552		539		

BIOLOGY		CHEMISTRY		SCORE		MATHEMATICS LEVEL 2		FRENCH	
NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT
1,661	4	1,787	5	750-800	7,526	23	1,842	6	
2,986	6	2,641	8	700-749	5,990	19	2,037	7	
4,724	10	3,975	12	650-699	6,549	20	2,805	9	
6,120	13	5,116	15	600-649	5,177	16	3,914	13	
6,852	15	5,530	16	550-599	3,437	11	4,478	14	
7,454	16	5,796	17	500-549	1,377	4	5,277	17	
6,585	14	5,077	15	450-499	849	3	5,187	17	
4,862	11	3,062	9	400-449	610	2	3,852	12	
3,209	7	1,111	3	350-399	389	1	1,556	5	
1,290	3	193	1	300-349	205	1	136	0	
281	1	6	0	250-299	35	0	3	0	
17	0	0	0	200-249	9	0	0	0	
46,041		34,294		NUMBER	32,153		31,087		
543		567		MEAN	665		553		
113		104		STD DEV	100		110		
510		531		SAT-V AVG	554		541		
543		616		SAT-M AVG	652		565		

SPANISH		LITERATURE		SCORE		PHYSICS		GERMAN	
NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT	NUMBER	PCT
2,388	9	360	2	750-800	1,272	8	625	10	
1,691	6	1,078	5	700-749	1,574	10	355	6	
2,003	8	2,163	10	650-699	2,202	14	502	8	
2,547	10	2,645	12	600-649	2,573	16	779	12	
3,132	12	3,157	15	550-599	2,443	16	704	12	
3,655	14	3,499	16	500-549	2,544	16	969	15	
4,065	16	3,070	14	450-499	1,818	12	995	16	
4,259	16	2,519	12	400-449	963	6	819	13	
2,166	8	1,785	8	350-399	235	2	437	7	
111	0	977	5	300-349	19	0	46	1	
2	0	238	1	250-299	1	0	1	0	
0	0	32	0	200-249	0	0	0	0	
26,019		21,523		NUMBER	15,644		6,312		
547		525		MEAN	592		555		
123		113		STD DEV	103		121		
500		523		SAT-V AVG	535		545		
534		511		SAT-M AVG	644		585		

ACHIEVEMENT TEST SCORES

EUROPEAN HISTORY		LATIN		SCORE	HEBREW		RUSSIAN	
NUMBER	PCT	NUMBER	PCT		NUMBER	PCT	NUMBER	PCT
96	3	24	1	750-800	21	3	80	17
206	6	78	5	700-749	57	8	31	6
288	9	130	8	650-699	119	16	32	7
349	10	176	10	600-649	144	20	39	8
532	16	260	15	550-599	139	19	52	11
541	16	334	20	500-549	101	14	57	12
508	15	299	18	450-499	79	11	59	12
491	15	246	14	400-449	51	7	65	14
242	7	123	7	350-399	10	1	39	8
94	3	26	2	300-349	8	1	21	4
20	1	2	0	250-299	3	0	3	1
0	0	0	0	200-249	0	0	0	0
3,367		1,698		NUMBER	732		478	
531		524		MEAN	579		559	
111		100		STD DEV	97		145	
561		573		SAT-V AVG	545		556	
558		595		SAT-M AVG	567		586	

いずれも米国大学試験委員会 (CEEB) ナショナルレポート1975~76から引用

41. 米国大学テスト協会 (ACT) の共通入試テストの申込用紙

MRC FORM NO. 5126

ACT ASSESSMENT 1976-77 National Registration Folder

PAGE 1

STATE CODE

- Ala. 01
- Alaska 02
- Ariz. 03
- Ark. 04
- Calif. 06
- Colo. 08
- Conn. 03
- Del. 08
- D.C. 05
- Fla. 10
- Ga. 11
- Hawaii 12
- Idaho 13
- Ill. 14
- Ind. 15
- Iowa 16
- Kans. 17
- Ky. 18
- La. 19
- Maine 20
- Md. 21
- Mass. 22
- Mech. 23
- Minn. 24
- Miss. 25
- Mo. 26
- Mont. 27
- Nebr. 28
- Ne. 29
- N.H. 30
- N.J. 31
- N.M. 32
- N.Y. 33
- N.C. 34
- N.Dak. 35
- Ohio 36
- Okla. 37
- Oreg. 38
- Pa. 39
- R.I. 40
- S.C. 41
- S.Dak. 42
- Tenn. 43
- Tex. 44
- Utah 45
- Vt. 46
- Va. 47
- Wash. 48
- W.Va. 49
- Wis. 50
- Wyo. 51
- Canada 53
- Ali 58
- Other 59

**NAME AND MAILING ADDRESS**

Last Name First Name MI (Middle Initial)

House Number and Street

City State Zip Code

**STREET ADDRESS**

House No. and St., "PO Box" and No., or "RR" and No.

CITY

**NAME**

Last Name First Name MI

**THIS FOLDER IS OBSOLETE  
AFTER JUNE 30, 1977.**

**USE SOFT LEAD  
PENCIL ONLY**

**DO NOT FOLD OR  
STAPLE THIS FOLDER.**

STATE CODE	ZIP CODE	TELEPHONE	SEX (M or F)	SOCIAL SECURITY NUMBER	DATE OF BIRTH	PRESENT GRADE CLASSIFICATION	YEAR OF HS GRADUATION OR EQUIVALENT	HIGH SCHOOL CODE	LAST HS SENIORITY GRADE IN EACH SUBJECT AREA BEFORE SENIOR YEAR			
Area Code	Number	Area Code			Month Day Year			(See Your Coursebook)	Eng	Math	Sci	His
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Male <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	HS Junior Grade III <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Female <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	HS Senior Grade IX <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	High School Graduate <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Current Student <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Other <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Made by The American College Testing Association, Inc., 4800 University Avenue, Iowa City, IA 52242. TURN FOLDER TO PAGE 4 BLOCK 4



米国大学テスト協会 (ACT) の共通入試テストの申込用紙

PAGE 2

The ACT Interest Inventory and the Student Profile Section are important parts of the ACT Assessment. The items in each deal with you—your educational interests, goals, plans, and accomplishments.

You should complete the Interest Inventory and the Student Profile Section as carefully and accurately as you can. Much of the information on the Student Profile Reports sent to you and to the colleges you select is based on your responses to these two sections.

It is important that you respond to each question in the Interest Inventory and the Student Profile Section. However, if you do not wish to answer a particular question, you may skip that question.

You should complete all four pages of this folder before you submit it to ACT.

USE A SOFT LEAD PENCIL ONLY

INTEREST INVENTORY

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90

TURN FOLDER TO PAGE 3



PAGE 3 USE A SOFT LEAD PENCIL ONLY

STUDENT PROFILE SECTION

ADMISSIONS ENROLLMENT INFORMATION					EDUCATIONAL PLANS, INTERESTS, AND NEEDS													SPECIAL EDUCATIONAL NEEDS, INTERESTS, AND GOALS										COLLEGE EXTRACURRICULAR PLANS																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

COLLEGE EXTRACURRICULAR PLANS (Continued)					FINANCIAL AID			BACKGROUND INFORMATION					FACTORS INFLUENCING COLLEGE CHOICE										HIGH SCHOOL INFORMATION																								
49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93			
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

HIGH SCHOOL INFORMATION (Continued)				HIGH SCHOOL EXTRACURRICULAR ACTIVITIES															OUT-OF-CLASS ACCOMPLISHMENTS					RELEASE OF STUDENT DATA																								
94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

OUT-OF-CLASS ACCOMPLISHMENTS (Continued)										EVALUATION OF HIGH SCHOOL EXPERIENCE																																						
143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

I certify that I have completed this folder and that the information contained in it is true to the best of my knowledge.

Signature \_\_\_\_\_ Date \_\_\_\_\_

米国大学テスト協会 (ACT) の共通入試申込用紙

PAGE 4  
 USE A SCOTT PAPER COPY

YOUR HOME COUNTY															IS THE ADDRESS OF YOUR PARENTS OR LEGAL GUARDIAN THE SAME AS YOU RECORDED ON PAGE 1?	NAME OF PARENT OR LEGAL GUARDIAN														
															Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>	Last Name														
																First Initial														
																Middle Initial														

SOCIAL SECURITY NUMBER (See Booklet on Page 1) Repeated for Computer Matching										TEST DATE		TEST CENTER CODES		FOR OFFICE USE ONLY Do not write in this area.			
										1st Choice 2nd Choice							
										October 1976				A O R C P			
										November 1976				3 N O			
										February 1977				Y O H U			
										April 1977				Y O H U			
										June 1977				Z O B T B			

**COLLEGE, SCHOLARSHIP, AND AGENCY CODE CHOICES**

Enter the agreed code number for each of your college, scholarship, or agency choices in the boxes below. Take carefully track the corresponding oval below each box containing a number. For the basic test fee of \$7.50, you may send reports to 1, 2, or 3 colleges or agencies. If you indicate 4th, 5th, or 6th choices at this time, the additional fee is \$1.00 for each additional report. Additional reports requested after registration cost \$2.00 each.

1st Choice	2nd Choice	3rd Choice	4th Choice	5th Choice	6th Choice

**FEES**

\$ 7.50 ←

For a 4th choice, enter \$1.00

For a 5th choice, enter \$1.00

For a 6th choice, enter \$1.00

The ACT College Planning/Search Book (220 pages, \$5.00) will help you answer "What do I want in a college?" and "Which colleges have what I am looking for?" (See Taking the ACT Assessment for more information.) Blacken the appropriate oval.

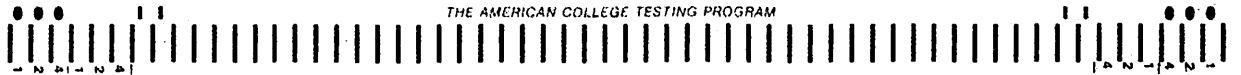
\$ (Enter \$5.00)  Yes, I want to order this book.

No, I do not want to order this book.

← **TOTAL FEE**

Add the fees. Enclose your total payment with this folder. Make your check or money order payable to: ACT REGISTRATION. DO NOT SEND CASH.

OPEN FOLDER AND CONTINUE REGISTRATION ON PAGE 2



米国大学テスト協会 (ACT) の一般テスト用紙 (表)

PRINTED BY MRC IOWA CITY, IOWA W-2299 FORM NO. 3456 3-WLC 1974

**GENERAL ANSWER SHEET TYPE A**  
FRONT PAGE (SIDE NO. 1)

**TEST-MARKING DIRECTIONS:** Use a No. 2 pencil. Fill in response-oval completely. Mark only one oval per question. If you change your mind, erase your first mark completely, then make new mark. Examples

X           Y

TEST A		TEST B	
1	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	51	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	52	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
3	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	53	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
4	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	54	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
5	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	55	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
6	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	56	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
7	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	57	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
8	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	58	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
9	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	59	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
10	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	60	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
11	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	61	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
12	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	62	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
13	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	63	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
14	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	64	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
15	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	65	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
16	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	66	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
17	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	67	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
18	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	68	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
19	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	69	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
20	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	70	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
21	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	71	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
22	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	72	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
23	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	73	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
24	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	74	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
25	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	75	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
26	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	76	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
27	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	77	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
28	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	78	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
29	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	79	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
30	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	80	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
31	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	81	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
32	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	82	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
33	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	83	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
34	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	84	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
35	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	85	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
36	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	86	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
37	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	87	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
38	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	88	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
39	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	89	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
40	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	90	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
41	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	91	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
42	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	92	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
43	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	93	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
44	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	94	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
45	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	95	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
46	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	96	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
47	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	97	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
48	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	98	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
49	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	99	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
50	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	100	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

**NAME GRID**

First Name

Last Name

**GRID-MARKING EXAMPLE**

NUMERIC GRID

SEX

DATE OF BIRTH

Mo. Day Yl.

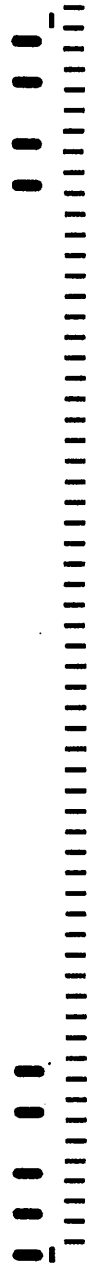
PRINT NAME →

米国大学テスト協会 (ACT) の一般テスト用紙 (裏)

<b>GENERAL ANSWER SHEET TYPE A</b> REAR PAGE (SIDE NO. 2)

TEST C	TEST D	TEST E	TEST F
101 ○○○○○○	151 ○○○○○○	201 ○○○○○○	251 ○○○○○○
102 ○○○○○○	152 ○○○○○○	202 ○○○○○○	252 ○○○○○○
103 ○○○○○○	153 ○○○○○○	203 ○○○○○○	253 ○○○○○○
104 ○○○○○○	154 ○○○○○○	204 ○○○○○○	254 ○○○○○○
105 ○○○○○○	155 ○○○○○○	205 ○○○○○○	255 ○○○○○○
106 ○○○○○○	156 ○○○○○○	206 ○○○○○○	256 ○○○○○○
107 ○○○○○○	157 ○○○○○○	207 ○○○○○○	257 ○○○○○○
108 ○○○○○○	158 ○○○○○○	208 ○○○○○○	258 ○○○○○○
109 ○○○○○○	159 ○○○○○○	209 ○○○○○○	259 ○○○○○○
110 ○○○○○○	160 ○○○○○○	210 ○○○○○○	260 ○○○○○○
111 ○○○○○○	161 ○○○○○○	211 ○○○○○○	261 ○○○○○○
112 ○○○○○○	162 ○○○○○○	212 ○○○○○○	262 ○○○○○○
113 ○○○○○○	163 ○○○○○○	213 ○○○○○○	263 ○○○○○○
114 ○○○○○○	164 ○○○○○○	214 ○○○○○○	264 ○○○○○○
115 ○○○○○○	165 ○○○○○○	215 ○○○○○○	265 ○○○○○○
116 ○○○○○○	166 ○○○○○○	216 ○○○○○○	266 ○○○○○○
117 ○○○○○○	167 ○○○○○○	217 ○○○○○○	267 ○○○○○○
118 ○○○○○○	168 ○○○○○○	218 ○○○○○○	268 ○○○○○○
119 ○○○○○○	169 ○○○○○○	219 ○○○○○○	269 ○○○○○○
120 ○○○○○○	170 ○○○○○○	220 ○○○○○○	270 ○○○○○○
121 ○○○○○○	171 ○○○○○○	221 ○○○○○○	271 ○○○○○○
122 ○○○○○○	172 ○○○○○○	222 ○○○○○○	272 ○○○○○○
123 ○○○○○○	173 ○○○○○○	223 ○○○○○○	273 ○○○○○○
124 ○○○○○○	174 ○○○○○○	224 ○○○○○○	274 ○○○○○○
125 ○○○○○○	175 ○○○○○○	225 ○○○○○○	275 ○○○○○○
126 ○○○○○○	176 ○○○○○○	226 ○○○○○○	276 ○○○○○○
127 ○○○○○○	177 ○○○○○○	227 ○○○○○○	277 ○○○○○○
128 ○○○○○○	178 ○○○○○○	228 ○○○○○○	278 ○○○○○○
129 ○○○○○○	179 ○○○○○○	229 ○○○○○○	279 ○○○○○○
130 ○○○○○○	180 ○○○○○○	230 ○○○○○○	280 ○○○○○○
131 ○○○○○○	181 ○○○○○○	231 ○○○○○○	281 ○○○○○○
132 ○○○○○○	182 ○○○○○○	232 ○○○○○○	282 ○○○○○○
133 ○○○○○○	183 ○○○○○○	233 ○○○○○○	283 ○○○○○○
134 ○○○○○○	184 ○○○○○○	234 ○○○○○○	284 ○○○○○○
135 ○○○○○○	185 ○○○○○○	235 ○○○○○○	285 ○○○○○○
136 ○○○○○○	186 ○○○○○○	236 ○○○○○○	286 ○○○○○○
137 ○○○○○○	187 ○○○○○○	237 ○○○○○○	287 ○○○○○○
138 ○○○○○○	188 ○○○○○○	238 ○○○○○○	288 ○○○○○○
139 ○○○○○○	189 ○○○○○○	239 ○○○○○○	289 ○○○○○○
140 ○○○○○○	190 ○○○○○○	240 ○○○○○○	290 ○○○○○○
141 ○○○○○○	191 ○○○○○○	241 ○○○○○○	291 ○○○○○○
142 ○○○○○○	192 ○○○○○○	242 ○○○○○○	292 ○○○○○○
143 ○○○○○○	193 ○○○○○○	243 ○○○○○○	293 ○○○○○○
144 ○○○○○○	194 ○○○○○○	244 ○○○○○○	294 ○○○○○○
145 ○○○○○○	195 ○○○○○○	245 ○○○○○○	295 ○○○○○○
146 ○○○○○○	196 ○○○○○○	246 ○○○○○○	296 ○○○○○○
147 ○○○○○○	197 ○○○○○○	247 ○○○○○○	297 ○○○○○○
148 ○○○○○○	198 ○○○○○○	248 ○○○○○○	298 ○○○○○○
149 ○○○○○○	199 ○○○○○○	249 ○○○○○○	299 ○○○○○○
150 ○○○○○○	200 ○○○○○○	250 ○○○○○○	300 ○○○○○○

CODE 99



米国大学テスト協会 (ACT) の共通入試テストの成績等報告 (表)

TRACY ARTHUR C 7852 W 46TH ST WHEAT RIDGE CO 80033	MALE 08/22/58	SOC. SEC. NO.: 392-11-1976 COUNTY: JEFFERSON PHONE NUMBER: 303 468-7982	TYPE OF TESTING: NATL DATE TESTED: 10/76 ED. LEVEL WHEN TESTED: SENIOR	1976-77 	COLLEGE COPY STUDENT PROFILE REPORT
U.S. ATTENDED: 067-890 WHEAT RIDGE SR HS 9505 W 32ND AVE WHEAT RIDGE COLORADO 80033					

SCORES AND PREDICTIVE DATA	SUBJECT AREA	H.S. GRADE	ACT SCORES (1-36)	ACT NORMS (MALES)		OVERALL GPA PREDICTIONS						SPECIFIC COURSE PREDICTIONS					
				LOCAL	NATIONAL	NAME OF GROUP	FRESHMAN YEAR	SEC. YEAR	JR. YEAR	SR. YEAR	PROB. GPA	NAME OF COURSE	FRESHMAN YEAR	SEC. YEAR	JR. YEAR	SR. YEAR	PROB. GPA
AND PREDICTIVE DATA	ENGLISH	A	25	83	94	EDUCATION	75/6	S	91	89	FRESHMAN ENGLISH	75/6	1	ALL FRE	89	72	
	MATHEMATICS	C	19	38	57	BUS ADMINISTRATION	75/6	S	94	92	COLLEGE ALGEBRA	75/6	1	ALL FRE	15	18	
	SOCIAL STUDIES	A	26	73	85	LIBERAL ARTS	75/6	S	74	81	HISTORY	75/6	2	LIBERAL	86	82	
	NATURAL SCIENCES	B	22	42	59	ENGINEERING	75/6	S	41	32	CHEMISTRY	75/6	3	ENGINEER	59	68	
	COMPOSITE SCORE	B	23	59	74	ALL FRESHMAN	74/5	S	75	80	PSYCHOLOGY	74/5	4	ALL FRE	79	89	

DASH (-) INDICATES INFORMATION NOT PROVIDED. RES. (RESEARCH) PLAN B = BASIC, S = STANDARD. \*TRUNCATED FIELD FOR COMPLETE NAME SEE YOUR PREDICTIONS SHEET.

ADMISSION/EMPLOYMENT DATA										HIGH SCHOOL INFORMATION					
COLLEGE CODE	CHOICE	ENTRANCE DATE	FULL TIME	TYPE OF STUDENT	U.S. CITIZEN	RESIDENT OF ADJAC. STATE	PHYSICAL HANDICAP	VETERAN	COLLEGE CREDIT	HOUSING PLAN	TR. H.S. GRAD. OR EQUIV.	SIZE OF SENIOR CLASS	TYPE OF SCHOOL	PERCENT SAME RACE AS STUDENT	TYPE OF PROGRAM STUDIED
0521	1ST	FALL 77	YES	DAY	YES	YES	--	NO	NO	RESID HALL	1977	200-399	PUBLIC	90%	COLL PREP

COLLEGE SELECTION ITEMS BY RANK ORDER							FIELD OF STUDY	OTHER FACTOR
TYPE	STUDENT BODY COMP.	LOCATION	COST	SIZE	FIELD OF STUDY		OTHER FACTOR	
FOURTH	SIXTH	FIFTH	SECOND	THIRD	FIRST	SEVENTH		
PUB 4-YR	COED	COLORADO	UND 1,000	5-10,000				

EDUCATIONAL AND VOCATIONAL PLANS				SELF-ESTIMATE OF COLLEGE G.P.A.
EDUCATIONAL MAJOR	HOW CERTAIN	DEGREE OBJECTIVE	SELF-ESTIMATE OF COLLEGE G.P.A.	
POLITICAL SCIENCE	FAIRLY SURE	PROF LEVEL	3.0-3.4	
FIRST VOCATIONAL CHOICE	HOW CERTAIN	SECOND VOCATIONAL CHOICE		
LAW	VERY SURE	INTERNATIONAL RELATIONS		

SPECIAL EDUCATIONAL NEEDS AND INTERESTS

INDICATED NEED FOR HELP IN:			INDICATED INTEREST IN:			ADVANCED PLACEMENT IN:		
READING OR WRITING ENG.	HEARING	VISION	CREATIVITY	LEARNING	LEARNING	LEARNING	LEARNING	LEARNING
N	N	N	N	N	N	N	N	N

PLANS TO SEEK FINANCIAL AID: <input checked="" type="checkbox"/> YES	NEEDS HELP TO FIND WORK: <input checked="" type="checkbox"/> YES	HOURS/WEEK: 11-20
--	--	-------------------

STANDARD SCORES (20-80)	BASIC INTEREST AREA	INTEREST INVENTORY								
		5%	10%	25%	50%	75%	90%	95%	99%	
54	SCIENCE	62				X				
57	CREATIVE ARTS	76						X		
46	SOCIAL SERVICE	74						X		
53	BUSINESS CONTACT	25			X					
54	BUSINESS DETAIL	66						X		
50	TECHNICAL	52							X	

MAP OF COLLEGE MAJORS—COORDINATES: 53 46 WORLD-OF-WORK MAP REGION 12

H.S. EXTRACURRICULAR ACTIVITIES AND COLLEGE EXTRACURRICULAR PLANS									
SUBJECT AREA	INTRAC.	INTR.	INTR.	INTR.	INTR.	INTR.	INTR.	INTR.	INTR.
YES	4	4	3	3	1	1	0	0	1
NO									
EXCELLENT									

OUT-OF-CLASS ACCOMPLISHMENTS									
LEADER	WFLA	SPEECH	API	WFLA	WFLA	WFLA	WFLA	WFLA	WFLA
HI	N	HI	N	HI	N	AV	HI	HI	VH

BACKGROUND INFORMATION (OPTIONAL)	
ETHNIC BACKGROUND	CAUCASIAN/WHITE
RELIGIOUS PREFERENCE	PROTESTANT
ENG. MOST FREQ. SPOKEN IN HOME	YES

ACT ASSESSMENT STUDENT PROFILE REPORT 1976-77

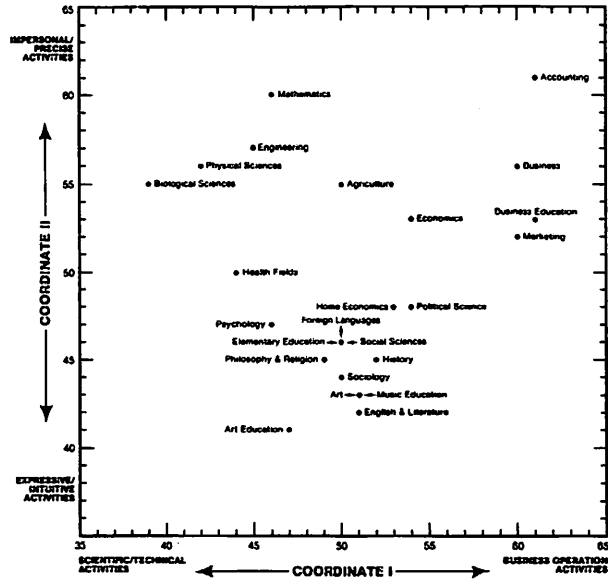
© 1976 by THE AMERICAN COLLEGE TESTING PROGRAM. ALL RIGHTS RESERVED. PRINTED IN U.S.A. P.O. BOX 168 IOWA CITY IOWA 52240 PHONE (319) 356-3711

SIDE 2

CAREER PLANNING AIDS

The Map of College Majors and the World-of-Work Map will help you identify college majors and occupations you may want to learn more about. The booklet, *Planning for College*, shows you in detail how to use these maps. You should read it carefully.

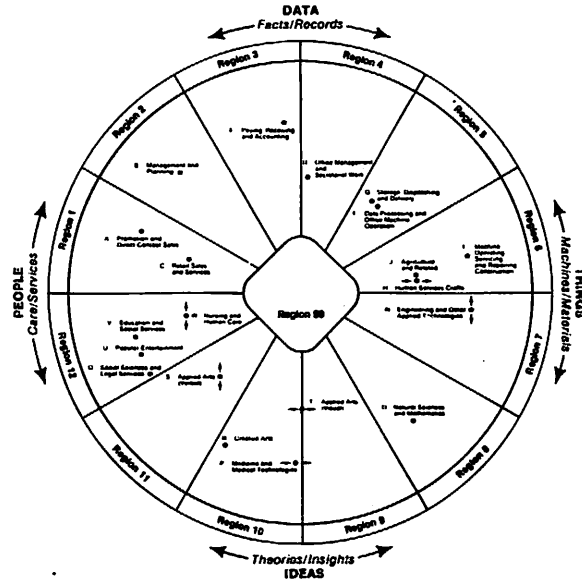
MAP OF COLLEGE MAJORS



HOW TO PLOT YOUR SCORES ON THE MAP OF COLLEGE MAJORS

1. Copy coordinate I \_\_\_\_\_ and coordinate II \_\_\_\_\_ from the Interest Inventory section on the reverse side.
2. Locate your score on coordinate I and draw a vertical line from that point to the corresponding point at the top edge of the map. Then locate your score on coordinate II and draw a horizontal line from that point to the corresponding point at the right edge of the map.
3. Make an 'X' where the two lines cross. This point shows the location of your interests as compared to those of students in a wide variety of educational majors. The closer you are to a major or group of majors, the more similar your interests are to the interests of successful and satisfied college seniors in that major.

WORLD-OF-WORK MAP



HOW TO USE THE WORLD-OF-WORK MAP

1. Copy your World-of-Work Map Region \_\_\_\_\_ from the Interest Inventory section on the reverse side.
2. Use your region number to locate your region on the World-of-Work Map. Look at the job families in your region and the adjacent regions.
3. Turn to the Job Family Chart in *Planning for College* for a list of jobs in each job family. Your booklet also suggests several ways you can find out more about these jobs.

米国大学入試委員会 (CEE B) の共通入試テスト申込用紙 (表)

**GENERAL DIRECTIONS:** This form is machine processed; therefore, the following four steps are necessary to process and report your information accurately.

1. Print the requested information in the boxes for each item.
2. Blacken the circle corresponding to the letter or number you entered in each box.
3. Check the accuracy of the circles you have blackened.
4. Erase any errors completely.

*This form will be returned to you if you do not complete items 1, 2 correctly or do not use a No. 2 pencil or do not enclose the proper fee.*

1. NAME										2. YOUR MAILING ADDRESS										3. SEX							
Enter your full name, including your middle initial, if you have one. Omit spaces, hyphens, apostrophes, and Jr or II.										Fit address into boxes provided.										Indicate a space in address by leaving a blank box.		See the accompanying lists for abbreviations or if your address contains a fraction.					
Last Name - first 12 letters					First Name - first 8 letters (MI)					Street Address					City					State		U.S. Zip Code					
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**COLLEGE BOARD ADMISSIONS TESTING PROGRAM**  
**REGISTRATION FORM 1975-1976**  
**SIDE 1**

**3. DATE OF BIRTH**

Month	Day	Year
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**4. SEX**

Male

Female

**5. TEST CENTER NUMBERS**

To indicate where you want to take the test, enter at least one test center number and blacken the corresponding circles. The list of test centers and their numbers is contained in *Test Centers and Abbreviations Lists* enclosed in your registration form envelope.

Also enter the city and state where you want to take the test if different from your mailing address.

First Choice	Second Choice
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

City \_\_\_\_\_

State \_\_\_\_\_

**6. TEST AND TEST DATE**

Blacken the circle of the test you plan to take and the date on which you plan to take it. You may register for either the SAT or Achievement Tests (not both) on any of the test dates (except October) listed below. If you plan to register for additional tests on additional test dates, submit a separate registration form and fee for each.

**Test You Plan To Take (Blacken only one circle.)**

Scholastic Aptitude Test (SAT)

Achievement Tests

**Test Date (Blacken only one circle.)**

October 11, 1975-SAT only.       January 24, 1976  
 In Calif. and Texas only.

November 1, 1975                       April 3, 1976

December 6, 1975                       June 5, 1976

**7. FEE ENCLOSED**

Enter the amount of your enclosed check or money order (see Item 13).

\$



FORM NO. 4370

SIDE 2

**8. SOCIAL SECURITY NUMBER**  
Number of availability

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

**10. YOUR HIGH SCHOOL CODE**

To send a copy of your report to your present school, enter the code number from the College Board forms in your school and blacken the corresponding circles.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

**9. REPORTS TO COLLEGES AND SCHOLARSHIP SPONSORS**  
 To have reports sent to colleges and scholarship sponsors, enter their code numbers from the *Student Bulletin* and blacken the corresponding circles. Three reports are free if requested on this form. Additional reports are \$2 each.

Free Reports										Additional Reports									

**11. PRESENT GRADE LEVEL**  
 If not in school, blacken the circle beside "other."

10th grade       1st year college  
 11th grade       2nd year college  
 12th grade       other

**12. THE COLLEGE HANDBOOK**  
 Do you wish to order for \$9.95 the 1975 edition described on the inside back cover of the *Student Bulletin*?

Yes      No  
     

**14. STUDENT DESCRIPTIVE QUESTIONNAIRE**  
 If you want to add descriptive information to your reports, use this area to answer the questionnaire in the *Student Bulletin*.

Responses A, B or C are ONLY for candidates who have previously submitted descriptive information.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

**13. FEES AND REMITTANCE**

Scholastic Aptitude Test ..... \$6.50 \$ \_\_\_\_\_

One, two, or three Achievement Tests taken on one test date ..... \$11.00 \$ \_\_\_\_\_

Late registration fee ..... \$4.00 \$ \_\_\_\_\_

Additional reports ..... at \$2.00 each \$ \_\_\_\_\_  
(See item 9.)

The College Handbook (See item 12) \$9.95 \$ \_\_\_\_\_

Enter total here and in Item 7. (Blacken the corresponding circles.)

\$																				
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Make checks payable to ADMISSIONS TESTING PROGRAM (ATP). DO NOT SEND CASH OR STAMPS.

DO NOT WRITE IN THIS AREA -ETS USE ONLY

**15. SIGNATURE**

I agree to the conditions in the *Student Bulletin* concerning the administration of the tests and the reporting of scores and descriptive information.

(sign)

**16. YOUR MAILING ADDRESS** Print complete address below.

Number and Street      Apartment (if any)

City

State      ZIP Code



● ● ●  
**COLLEGE BOARD**  
**SCHOLASTIC APTITUDE TEST**  
 AND TEST OF STANDARD WRITTEN ENGLISH  
**SIDE 1**

USE A NO. 2 PENCIL ONLY FOR COMPLETING THIS ANSWER SHEET. BE SURE EACH MARK IS DARK AND COMPLETELY FILLS THE INTENDED SPACE. COMPLETELY ERASE ANY ERRORS AND STRAY MARKS.

1.

YOUR NAME: \_\_\_\_\_  
(PRINT) LAST FIRST MI

SIGNATURE: \_\_\_\_\_ DATE:   /  /  

HOME ADDRESS: \_\_\_\_\_  
(PRINT) NUMBER AND STREET

\_\_\_\_\_ CITY STATE ZIP CODE

CENTER: \_\_\_\_\_  
(PRINT) CITY STATE NUMBER

IMPORTANT: PLEASE FILL IN THESE BOXES EXACTLY AS SHOWN ON THE BACK COVER OF YOUR TEST BOOK.

2. TEST FORM

\_\_\_\_\_

3. TEST CODE

0	0	0	A	0
1	1	1	B	1
2	2	2	C	2
3	3	3	D	3
4	4	4	E	4
5	5	5	F	5
6	6	6		6
7	7	7		7
8	8	8		8
9	9	9		9

4. REGISTRATION NUMBER  
(COPY FROM YOUR ADMISSION TICKET)

0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9

5. YOUR NAME

FIRST 4 LETTERS OF LAST NAME				FIRST INITIAL	MIDDLE INITIAL
A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B
C	C	C	C	C	C
D	D	D	D	D	D
E	E	E	E	E	E
F	F	F	F	F	F
G	G	G	G	G	G
H	H	H	H	H	H
I	I	I	I	I	I
J	J	J	J	J	J
K	K	K	K	K	K
L	L	L	L	L	L
M	M	M	M	M	M
N	N	N	N	N	N
O	O	O	O	O	O
P	P	P	P	P	P
Q	Q	Q	Q	Q	Q
R	R	R	R	R	R
S	S	S	S	S	S
T	T	T	T	T	T
U	U	U	U	U	U
V	V	V	V	V	V
W	W	W	W	W	W
X	X	X	X	X	X
Y	Y	Y	Y	Y	Y
Z	Z	Z	Z	Z	Z

6. DATE OF BIRTH

MONTH	DAY	YEAR	
<input type="radio"/> JAN.	0	0	0
<input type="radio"/> FEB.	1	1	1
<input type="radio"/> MAR.	2	2	2
<input type="radio"/> APR.	3	3	3
<input type="radio"/> MAY		4	4
<input type="radio"/> JUNE		5	5
<input type="radio"/> JULY		6	6
<input type="radio"/> AUG.		7	7
<input type="radio"/> SEPT.		8	8
<input type="radio"/> OCT.		9	9
<input type="radio"/> NOV.			
<input type="radio"/> DEC.			

7. SEX

MALE

FEMALE

8. TEST BOOK SERIAL NUMBER

\_\_\_\_\_

Copyright © 1975 by Educational Testing Service.  
 All rights reserved. Princeton, N. J. 08540

110V65P1950



**COLLEGE BOARD  
ACHIEVEMENT TESTS**

**SIDE 1**

USE A NO. 2 PENCIL ONLY FOR COMPLETING THIS ANSWER SHEET. BE SURE EACH MARK IS DARK AND COMPLETELY FILLS THE INTENDED SPACE. COMPLETELY ERASE ANY ERRORS AND STRAY MARKS.

1. YOUR NAME: \_\_\_\_\_  
(PRINT) LAST FIRST MI

SIGNATURE: \_\_\_\_\_ DATE: / /

HOME ADDRESS: \_\_\_\_\_  
(PRINT) NUMBER AND STREET

\_\_\_\_\_ CITY STATE ZIP CODE

CENTER: \_\_\_\_\_  
(PRINT) CITY STATE NUMBER

IMPORTANT: PLEASE FILL IN THESE BOXES EXACTLY AS SHOWN ON THE BACK COVER OF YOUR TEST BOOK

2. TEST FORM

\_\_\_\_\_

3. FORM CODE

0	0	0
1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9

4. REGISTRATION NUMBER  
(COPY FROM YOUR ADMISSION TICKET)

0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9

5. YOUR NAME

FIRST 4 LETTERS OF LAST NAME			FIRST INITIAL	MIDDLE INITIAL
A	A	A	A	A
B	B	B	B	B
C	C	C	C	C
D	D	D	D	D
E	E	E	E	E
F	F	F	F	F
G	G	G	G	G
H	H	H	H	H
I	I	I	I	I
J	J	J	J	J
K	K	K	K	K
L	L	L	L	L
M	M	M	M	M
N	N	N	N	N
O	O	O	O	O
P	P	P	P	P
Q	Q	Q	Q	Q
R	R	R	R	R
S	S	S	S	S
T	T	T	T	T
U	U	U	U	U
V	V	V	V	V
W	W	W	W	W
X	X	X	X	X
Y	Y	Y	Y	Y
Z	Z	Z	Z	Z

6. DATE OF BIRTH

MONTH	DAY	YEAR
<input type="radio"/> JAN	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/> FEB	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/> MAR	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/> APR	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/> MAY	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/> JUNE	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/> JULY	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/> AUG	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/> SEPT	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/> OCT	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/> NOV	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/> DEC	<input type="text"/>	<input type="text"/>

7. SEX

MALE

FEMALE

8. TEST BOOK SERIAL NUMBER

\_\_\_\_\_

Copyright © 1975 by Educational Testing Service  
 All rights reserved. Princeton, NJ 08540

110VV6SP925



メキシコ国立自治大学共通入試テスト解答用紙



UNIVERSIDAD NACIONAL AUTONOMA DE MEXICO
Centro Universitario de Exámenes y Certificación de Conocimientos
HOJA DE RESPUESTAS

ENFERMERIA

NO UTILICE ABREVIATURAS

NUM. DE COMPROBANTE: \_\_\_\_\_

NOMBRE: \_\_\_\_\_
APELIDO PATERNO MATERNO NOMBRES I

FAVOR DE NO
MARCAR SOBRE
ZONAS
SOMBREADAS

Table with 10 columns for marking answers (A, B, C, D, E) and 10 rows for student identification.

ASEGURESE DE MARCAR BIEN CON LAPIZ SUS RESPUESTAS
BORRE COMPLETAMENTE CUALQUIER RESPUESTA QUE QUIERA CAMBIAR

- 1 A B C D E 31 A B C D E 61 A B C D E 91 A B C D E
2 A B C D E 32 A B C D E 62 A B C D E 92 A B C D E
3 A B C D E 33 A B C D E 63 A B C D E 93 A B C D E
4 A B C D E 34 A B C D E 64 A B C D E 94 A B C D E
5 A B C D E 35 A B C D E 65 A B C D E 95 A B C D E
6 A B C D E 36 A B C D E 66 A B C D E 96 A B C D E
7 A B C D E 37 A B C D E 67 A B C D E 97 A B C D E
8 A B C D E 38 A B C D E 68 A B C D E 98 A B C D E
9 A B C D E 39 A B C D E 69 A B C D E 99 A B C D E
10 A B C D E 40 A B C D E 70 A B C D E 100 A B C D E
11 A B C D E 41 A B C D E 71 A B C D E 101 A B C D E
12 A B C D E 42 A B C D E 72 A B C D E 102 A B C D E
13 A B C D E 43 A B C D E 73 A B C D E 103 A B C D E
14 A B C D E 44 A B C D E 74 A B C D E 104 A B C D E
15 A B C D E 45 A B C D E 75 A B C D E 105 A B C D E
16 A B C D E 46 A B C D E 76 A B C D E 106 A B C D E
17 A B C D E 47 A B C D E 77 A B C D E 107 A B C D E
18 A B C D E 48 A B C D E 78 A B C D E 108 A B C D E
19 A B C D E 49 A B C D E 79 A B C D E 109 A B C D E
20 A B C D E 50 A B C D E 80 A B C D E 110 A B C D E
21 A B C D E 51 A B C D E 81 A B C D E 111 A B C D E
22 A B C D E 52 A B C D E 82 A B C D E 112 A B C D E
23 A B C D E 53 A B C D E 83 A B C D E 113 A B C D E
24 A B C D E 54 A B C D E 84 A B C D E 114 A B C D E
25 A B C D E 55 A B C D E 85 A B C D E 115 A B C D E
26 A B C D E 56 A B C D E 86 A B C D E 116 A B C D E
27 A B C D E 57 A B C D E 87 A B C D E 117 A B C D E
28 A B C D E 58 A B C D E 88 A B C D E 118 A B C D E
29 A B C D E 59 A B C D E 89 A B C D E 119 A B C D E
30 A B C D E 60 A B C D E 90 A B C D E 120 A B C D E

ESTE EXAMEN NO SERA VALIDO SIN LA FIRMA DEL ESTUDIANTE.

FIRMA DEL ESTUDIANTE

Vertical text on the left margin: P, 7, 4, 2, 1, P, 7, 4, 2, 1, P, 7, 4, 2, 1, N, O, I, N, V, A, D, A, E, S, T, A, Z, O, N, A, P, 7, 4, 2, 1, P, 7, 4, 2, 1